が着々として實現せられたから、この時に最近世は產聲を擧げたものとも考へられる。或は廢藩置縣後と雖、封建の遺物たる士族の勢力は衰へず、新政に對する反動も盛であつたが、明治十年の西南の役によつて新政府の實力も試驗濟となり、新政の實が眞に擧つて、眞に最近世の幕が開いたのだとも見られる。併し王政復古の發令といひ、廢藩置縣といひ、又西南の役といひ、唯王政實施上の一段階又はそれに伴ふ動搖たるに過ぎず、その方向は大政奉還の際に定まつて居ると見られるから、やはり大政奉還說に從ふべきであらう。

かくの如く古代を大化の改新、上代を鎌倉開府、中世を關ヶ原役、近世を大政奉還で限ることは、最普通であり、最平凡陳腐である感を免れないが、徒に新奇を求めて却つて眞を失ふは自分の取らぬ所である。この區分は過渡期の中變動の最高潮に達した時を以てしたもので、これが最合理的であると信ずる。變動の現れかけた時とすれば自然これより早くなり、其全く完結した時とすれば當然これより降る譯である。過渡期も大體相似た形を呈するものであるから、上代に先だつ推古朝は、中世の前驅たる源平時代、近世の胎生期たる織豐時代、及び最近世の開幕劇たる幕末時代と相應ずるものであり、變動の終止期を見ても上代に於ける大寶律令の撰修は中世の承久の亂であり、近世の大坂陣であり、最近世の廢藩置縣又は西南の變に比すべきである。然し變動の發生又は終止を以て區劃するのは、過渡期を前後の何れかへ全部入れることとなり、過渡期の性質を沒却するもので、自分の取らぬ所である。

これ等の古代・上代・中世・近世・最近世等も、固より更に細分せらるべく、上代・中世といふよりは、奈良朝・平安朝・鎌倉時代・吉野朝（南北朝）・室町時代・安土桃山時代等が却つて一般的でもある。それ等の區分に就いても私見を披瀝したいが、今は煩を避けて結論を擧げるに留めよう。

古代　建國より大化改新（大化元年、一三〇五年）まで、約七百年間

上代　奈良前期　大化改新より奈良奠都（和銅元年、一三六八年）まで、六十四年間

奈良本期　奈良奠都より光仁天皇御讓位（天應元年、一四四一年）まで、七十四年間

平安初期　桓武天皇御卽位より菅公の配流（延喜元年、一五六一年）まで、百二十一年間

平安中期　菅公の配流より後冷泉天皇の崩御（治曆四年、一七二八年）まで、百六十八年間

平安末期　後三條天皇御踐祚より平家の滅亡（文治元年、一八四五年）まで、百十七年間

中世　鎌倉初期　平家の滅亡から承久の亂（承久三年、一八八一年）まで、三十七年間

鎌倉中期　承久の亂より元寇（弘安四年、一九四一年）まで、六十一年間

鎌倉末期　元寇より北條氏の滅亡（元弘三年、一九九三年）まで、五十三年間

建武中興及び南北朝期　後醍醐天皇の御歸京より南北兩朝の合一（元中九年、二〇五二年）まで、六十年間

室町本朝　南北兩朝の合一より應仁の亂（應仁元年、二一二七年）まで、七十六年間

室町末期（戰國）　應仁の亂より信長の上洛（永祿十一年、二二二八年）まで、百二年間

安土大坂（織田豐臣）期　信長の上洛より關ヶ原の役（慶長五年、二二六〇年）まで、三十三年間

近世　江戸初期　關ヶ原の役より家繼の薨去（享保元年、二三七六年）まで、百十七年間

江戸中期　吉宗の就職よりペリイの渡來（嘉永六年、二五一三年）まで、百三十八年間

江戸末期　ペリイの渡來より大政奉還（慶應三年、二五二七年）まで、十五年間

最近世　大政奉還より現在まで

第三　時代の特色

時代別と時代色

時代の區分はその時代が如何なる時代であるか、卽その時代の特色を理解することによつて初めてその意義が生ずる。若し區分したのみでその間に何等對立した特色を見出さないならば、區分すべき必要もなく、區分の意義をなさない。然らば今古代・上代・中世・近世等の區分を試みたとすれば、その時代相を明にすることは同時になされなければならぬ。併しその時代相は固より極めて複雑であり、一時代の中にもその初は前の時代の過渡期を含み、終は次の時代の過渡期に入ると共に、或は時間の上に、或は空間の上に種々の絕えざる變化が起つて居るからこれを綜合して且簡單に特色づけることは容易でない。それもその對象を政治とか、藝術とか、宗教とかに限定した場合は比較的容易であつて、古代は氏族政治の時代、上代は公家政治或は律令政治の時代、中世及び近世は武家政治或は幕府政治の時代といふ如きその一例であるが、これが一般社會現象を包括する總體的、普遍的特色を以て區別するとなると一層困難たるを免れない。自分は今大膽にも此最困難なる問題に打突つて行かうと思ふ。勿論これは一家言であつて、一つの思付にすぎないが、國史の研究の進步は今後かゝる方面の論議が、必ず專門史家の間に盛んになるべきを信じ、そのための一つの捨石として敢て博雅の叱正を請ふ次第である。

古代と實行力

自分の見る所では、我國の古代史を彩る基となる色は實行力であらうと思ふ。卽理智に鈍らされず情趣に軟化されない強い實行力の最よく發揮された時代である。而してそれはとりも直さず我國民本來の特性に外ならなかつた。其所には未だ藝術の花も開かず、學問の果も結ばない。否まだ何等の思辨も組織も發達せず、言擧げせぬが我當時の國振であつたのである。されば社會の組織も最原始的であると共に最自然である血族關係がその紐帶であつた。史家の氏族制度といひ、社會學者の族制社會

と名づけるものがこれである。國家もこの最自然であり、最實際的であり、理性を超越したる社會形態たる家の擴大したものであり、氏はその中間のものであつた。されば政治上に於ては全國民の大宗家と考へられた天皇が文武政教の大權を握られ、氏上の主なるものが政治に當つたのである。天皇が天神地祇を祀られ、氏上が氏神を祀る如く、祭政は一つであり、祭祀の重んぜられたことは言ふまでもないが、その對象たるカミなる觀念は極めて幼稚であり、淺薄であり、曖昧であつた。卽信仰の內容は發達して居なかつたが、それを實行する態度は極めて純眞であり、緊張味に富んで居た所に時代の色は鮮に現はれて居る。對外關係に於ても大八洲の中に於ける蝦夷や熊襲の討平は言ふまでもなく、朝鮮半島の一部をさへ從へたことは最驚異すべきで、明治以前に於てかくの如き對外發展は全く見るを得なかつた。これ亦當時の實行力の旺盛の結果と言ひ得よう。

上代は美の時代、藝術の時代と自分は信ずる。此時代は政治の制度としては律令時代であり、社會上には公家階級の全盛時代であり、宗教上には佛教の大發展を見た時代であり、對外的には唐の影響を受けた時代であり、その何れもこの時代の主なる色彩の一つたることは事實である。而してこの時代を敢て美の時代、藝術の時代とする所以は有ゆる現象が藝術的に現はれて來て居るためである。佛教の如き奈良朝程國家的に保護せられたことなく、最澄・空海二師の天台・眞言の開立が我佛教史上の

一大偉觀たるは事實であるが、その佛教信仰も美的に藝術的に現はれた。南都六宗の傳來や、行基菩薩等の教化よりも、最多く奈良佛教を價値づけるものは、實に殿堂伽藍であり、佛像佛具であつた。不幸にして當代の一流の伽藍は今日存しないけれど唐招提寺金堂や、法隆寺の夢殿や、さてはその前驅たる法隆寺の金堂・五重塔・中門等の雄大莊重な諸建築、又法隆寺金堂の壁畫の雄麗さ、藥師寺の藥師三尊の雄偉さ、三月堂諸佛像の豐麗さ、正倉院に存する多數の驚くべき精緻華麗な諸佛具は何物にも代へ難い世界の寶である。平安期に入つては顯密二宗の教學に深遠なものが存することは爭はれないにしても、其社會に弘通したのは加持祈禱の形式の進んで居たためであり、平安朝殊にその絕頂に上り切つた藤原時代の佛教の如きは誠に貴族生活の爛熟期に適はしい優美の極である。「極樂淨土の此世に現れにける」と言はれた法成寺は今日礎石さへも止めず、紫檀黑檀を磨いた金堂も想見する由もないが、我々は僅に殘つた平等院の鳳凰堂について猶十分にこの時代相を窺ふことが出來る。その建築の變化と統一の齊らす優美な快味、堂內の莊嚴の華麗精緻で且高雅な洗練された趣味、優美な金衣の輕く半身を掩ふた慈愛に滿ちた彌陀像、總てが全く藝術化された佛教信仰の結晶であると共に佛殿の日本化の完成を示して居る。佛殿佛像のみならず、經文の如きも奈良朝に既に繪因果經の如く彩畫を加へたものを見たが、今や或は極彩色の見返繪があり、或は全面に薄墨の下繪があり、上下に

は金泥の模樣があり、甚しきは全面に墨版彩色の下繪を施した扇面寫經さへ出來た。法成寺西北院の落慶供養の如き十二三の美しき雛僧に紅粉を施し、紅紫色とりぐの衣をきせ不斷の念佛を唱へさせ、これに詣でたものも、聲は伽陵瀕迦の如く、姿は地藏菩薩の如く、三日二夜も夢の如く過ぎたと名殘を惜んで居る位である。自分はその信仰の淺薄を咎むるよりも、先づ其藝術的表現に限なき愛着を感せしめられる。學問の如き顯密の二敎の深遠なるもあり、大學の外貴族の私學も少くなかつたに相違ないが、本來形式本位の密敎は固より、敎理を主とする天台すら盛に密敎を加へ、寺門派の祖智證大師をして圓劣密勝と判せしめた程で、その弘通したのは全く祈禱の形式の整つたためであつた。大學の漢學も盛であつたとはいへ、その博士も詩文を主とする文章博士が最高位であり、榮達した士も菅公を初め殆皆同じく紀傳道出身であつたのでも、その傾向を察することが出來る。政治法制の如きも大寶養老の律令は我古代法制中最整備したものであり、その如何にも形式の整つた所、形式本位の所に法制そのものの美化が見られる。これは唐風輸入のためには相違ないが、同じ傾向の現はれと言ひ得やう。」青丹よし平城の都や、それにつゞく平安京が如何に整つた美しい都城であつたかは、多言を要しない所であらう。今日如何に都市計劃に專心しても、固より昔を今になすよしもない。藤原時代に入つては政治そのものが一種の遊戲であつて、臨時恒例の儀式や、詩歌管絃の御遊が、その主

要部分であり、それ等の儀式に通じ、詩歌管絃の技に長じたものが、當代第一の才ある人であつたのである。されば文藝の隆盛の如き固より前後にその比を見ない所で、奈良朝の萬葉集と藤原時代の古今・源語はその代表者である。萬葉以前に萬葉なく、源語・古今以前に源語・古今なきは言ふまでもないが、實に萬葉以後にも亦萬葉なく、源語・古今以後にも源語・古今を見ることが出來ない有樣である。後世の物語が殆皆源語を宗とし、歌道に於ては古今に則らないものは萬葉に奔るが何よりの證據であらう。

中世の時代の主流は宗敎であると申したい。この時代は政治上幕府政治の時代であり、社會上は武家が中堅となつた時代であり、藝術に於ても鎌倉時代の繪卷物・彫刻・宋風建築・軍記物、室町時代の漢畫・能樂・連歌等、幾多の他の時代に見られぬ特異性を有つたものを出して居る。然るにこれ等を捨て、宗敎を主流と見るのは大に說明を要する。鎌倉時代に於ては法然の淨土宗、親鸞の淨土眞宗、日蓮の法華宗の開立と榮西・道元等の禪宗の移入等相次いで起り、百花燎亂、方に日本佛敎の黃金時代を現出したが、これ等に共通した特色は從來の形式主義を捨てゝ眞の宗敎の生命たる信仰本位となつたことである。親鸞の所謂信心爲本は、この傾の最雄辯な代言と見るべきである。この結果は從來僧侶の第一の仕事であつた儀式は布敎に代り、佛敎が眞に國民の精神中に生きた力として働く基礎が造

られた。かくて佛教は初めて人心の奥底に浸み込むことゝなり、社會百般の現象がこれを以て彩られることゝなつた。武人は本來宗教と全く相反する如く見えて、實は最因緣の深いものである。彼等が常に戰場を往來して死生の間に出入することは、生死出離の念を萌さしむる機緣たるものであるが、戰爭そのものが、一般社會人心にも激しい盛衰興亡を眼前に見せしめられて人生の無常を感じ、宗教に向はしめる傾向を持つて居る。歐洲大戰以後世界的の宗教熱の勃興の如き著しい例であるが、源平合戰の後に鎌倉時代の新佛教が起り、戰國の間に淨土眞宗、法華宗の大發展や、新來の吉利支丹の急激な弘通を見たのもこのためである。されゞばこの時代程代表的武人卽政治家の眞に宗教に熱烈な信仰を捧げたことはない。北條時賴の如き大覺禪師道隆を招請して鎌倉に建長寺を建てたのみならず、其臨終には袈裟衣をつけ、繩床に座禪し、「業鏡高懸、三十七年、一槌打破、大道坦然」の偈を唱へて瞑目し、吾妻鏡にも「本自權化再來也」と言はれて居る。護國の精神の具體化したとも見られる時宗の如きも元寇の際、宋から屈請した佛光國師祖元に參禪して心氣を養ひ、敵國降伏のためには血を以て經文を寫し、一字一劃化して神兵となると言はれて居ると共に、敵味方の戰死傷亡者のためには一千體の地藏を造つて供養して居る。足利尊氏の如きも敵味方の戰死者の亡魂を弔ふために、國々に安國寺利生塔を立て、一切經を書寫せしめて自署して居る外、光明天皇擁立の翌々日、「とく遁世致したく

候」とて、「今生の果報に代へて後生助けさせ給へ」と清水寺へ自筆の願文を納めて居る位である。かゝる時代であるから未曾有の大國難である元寇の擊退も、將士の努力よりも神佛の冥護が喧傳せられ、北畠親房の神皇正統記の第一句の如く、「我大日本は神國なり」との思想を盛ならしめた。

更に文學の如き、狂言綺語の戲も讚佛乘の因たる點に價値を見出さんとする有樣で、紫式部の如きも源氏物語によしなき事を書いた罪で地獄へ墮ちて居るから、これを讀む毎に念佛を唱へ、地獄の苦艱を免れさすべしとまで言はれた。「祇園精舍の鐘の聲、諸行無常の響あり、沙羅雙樹の花の色生者必滅の理を示す」の句に初まり、大原の奥に行ひ澄まして居らるゝ建禮門院を上皇の訪はせらるゝ大原御幸に終はる平家物語は、一編無韻の詩であると共に、佛教の無常觀を以て貫かれて居る。太平記の如きも建武中興の瓦解を天狗の所業とし、正成の亡魂が此世に迷ふとする等同一傾向である。蓮胤入道の方丈記が西の一方を開いて彌陀の來迎を仰ぎ、兼好法師の徒然草が佛教の教訓を主とするは勿論、謠曲の如きも實は觀阿彌・世阿彌・音阿彌等能役者の手になつたに拘らず僧徒の作であらうと久しく考へられて居た程佛臭いものである。和歌の如き鎌倉初期の西行・慈圓、末期の兼好・頓阿等代表的歌人に緇衣の徒多く、これと共に一般に佛教思想が著しいのみならず、歌に對する態度まで宗教的になつて來て居る。新古今の選者たる定家の崇拜が甚しくなり、「歌道に於て定家を難ぜんものは冥加

あるべからず、罰を蒙るべきなり」と言はれたのは佛敎の謗法の罪そのまゝである。足利時代に古今傳授とて祕傳が初まつたのも、その形式が佛敎の影響であるのみならず、かゝることを初めた心理も歌道を神聖視する所にある。

中世僧侶の活動

されば僧侶の社會上の働も最著しく、豪宕勇健な漢畫も、近世に入つて大發展を見る宋學も、彼等によつて輸入せられ、純支那風の異國趣味の詩文五山文學も彼等によつて培はれた花に外ならぬ。外交も五山の僧侶の手によつてなされ、敎育も文字通の寺子屋で、同じく僧侶獨占の姿であつたのである。

近世の學問

近世は中世と同じく武家時代・幕府時代であるが、彼が殆ど戰亂に終始したと反對に、世界史上にも類稀な平和な時代であつただけに、大にその面目を異にして居る。この平和の因由としては、外に對して所謂鎖國があり、內に於ては嚴重な階級制度があるが、その結果としては著しい文化の進步、經濟生活の發展及び平民階級の擡頭がある。是等も近世の特色に相違ないが、自分は就中學問の發達を以て最大特質としたい。當時の學問の本流は儒敎であつて、其他のものはその影響を受けて發達したに外ならぬ。儒敎の渡來は古代にあり、其後全く廢絕したことは一度もないが、それが學問として重きをなし、更に進んで一般國民思想にまで著しき影響を與へたのは、近世に入つてからである。朱

子學・陽明學・古學・折衷學等、其學派は四分五裂を見たが、或は哲學・倫理學の探究に、或は經書の義解に、或は實踐窮行に一代に重きを成した大儒碩學の輩出は、我國に於ける空前にして實に絕後である。而して儒學の盛運はやがて他の學問の鼓舞刺激となり、史學・地理學は勿論醫學・本草學・天文曆數等何れも異常な發展を見、從來唯支那の糟粕を嘗めて居たに過ぎなかつた是等の學問は、玆に初めて完全に獨立して、純然たる日本の學問の成立を見たのである。加之儒學と全く緣故なく、時には當面の敵であつた國學・蘭學さへも、實は儒學の刺激によつて起つたものであり、蘭學を通じて西洋の自然科學も一通りは傳へられた。されば近世の學界は方に春風春雨一時に到り、百花妍を競ふの盛觀を呈したのである。

されば幕府の諸法度に於ても第一の規定は必ず學問の奬勵であり、幕府も大名も學者の登用、學校の開設は勿論、古書の蒐集・出版にも力を盡したこと一方でなかつた。政治上更に注意すべきは實際政治に學者の意見が行はれたことが多く、甚しきは政權を學者の手に歸せしめたことさへ屢、あることと、政治の內容が從來の如く單に治安の維持や、收稅をのみ本務とせず、人民の開發に力を盡くす樣になつたことで、共に學問隆盛の好影響と見るべきであらう。佛敎は固より弘く行はれ、新佛敎の普及期を成したとは言へ、その宗敎的生命は漸く稀薄となり、その思想界の勢力の衰替は前後に見な

時代の特色

い程であつた。從來佛教に包括せられて居た我神道が儒學の興隆により儒教化せられ、更に國學の發達によつて、本來の姿に復されるに至つたのもこのためである。文藝美術の發展は固より輕視するを許さず、殊に平民階級の發展と印刷術の進歩により、弘く一般社會に普及されたことは、特に注意すべきであるが、その質に於て果して上代の作品を凌ぐものが何れだけあつたか疑しい。西鶴・近松に傑作は多いにしても、遂に源語の高雅と結構を見る由なく、芭蕉の俳諧に特異の長所はあるが、萬葉の自由に比しては趣味の狹隘を免れない。更に注意すべきは文學そのものに學問の影響の著しいことで、國學者の擬古歌文は固より馬琴の讀本にも、蕪村の俳諧にも、蜀山人の狂歌にも明にこれを見られる。源氏物語さへこれを儒教的に解せんとせられるに至つた。美術の如き建築・彫刻の衰微は目も當てられず、唯繪畫に於て僅に氣を吐いて居るとは言へ、氣品の高逸に於ては、上代は固より中世にも及ばないもの、比々皆然るを見る。かくの如く見來れば近世は學問中心の時代といふも必ずしも過言ではあるまい。

約言すれば、古代は意志の時代・實行の時代であり、上代は感情の時代・藝術の時代であり、中世は信仰の時代・宗教の時代であり、近世は理性の時代・學問の時代である。

——大正十五年五月稿——

附錄第二　國史文獻目錄

凡例

茲に掲げた國史文獻目錄は、左の標準を以て選んだものである。

一 明治元年以後の編著で、單行本として刊行せられたものに限る。但多少の例外がないでもない。

二 範圍の廣いものを取り、部分的なものを省いた。例へばある一個人、一流派、又は一地方に關するものは特例の外取らない。

三 比較的學術的價値乏しきものは捨てた。

四 歐文書及び飜譯書は特例の外擧げない。

五 史書以外の古典の註釋は省いた。

六 史料の刊行せられたもの、類聚せられたもの、古文書、日記、叢書の四種に限つた。

この目錄の最下欄の對照は、本書の章を示すものである。但史料、雜纂、通史等は多くこれを省いた。

この目錄の作製は前記の趣旨により、家藏書目から拔萃し、それを二三の書目により增補したもの

である。されば重要なるものの脫する無きを保し難いが、本書の讀者に對し、多少研究の栞となれば、著者の望は足りる。廣く國史に關する史料、史書、論文を網羅した書目の作製は、別に專書を編むべきである。

目次

第一　國史研究法……一
一、國史學……一
二、國史研究法……一
三、補助學科……一
第二　通史……二
一、一般史……二
二、政治史……三
三、法制史……四
四、經濟史……六
五、社會史……九
六、文化史……九
七、學術史……九
八、思想史……一〇
九、宗教史……一一
十、藝術史……一三
十一、風俗史……一四
第三　古代史……一五
一、一般史……一五
二、政治史……一六
三、法制史……一六
四、文化史……一六
五、藝術史……一七
第四　上代史……一七
一、一般史……一七
二、政治史……一八
三、法制史……一九
四、經濟史……一九
五、文化史……一九
六、學術史……一九
七、宗教史……二〇
八、藝術史……二〇
第五　中世史……二一
一、一般史……二一
二、政治史……二三
三、經濟史……二五
四、文化史……二六

五、學術史……二六
六、思想史……二七
七、藝術史……二七
八、宗教史……二八
第六　近世史……二九
一、一般史……二九
二、政治史……三〇
三、法制史……三〇
四、經濟史……三八
五、社會史……三九
六、文化史……四〇
七、學術史……四〇
八、宗教史……四二
九、藝術史……四三
十、風俗史……四六
第七　雜纂……四七
一、辭書……四七
二、索引……四九
三、年表……四九
四、圖譜……五〇
五、論文……五一
六、雜誌……五三
第八　史料……五四
一、類聚史料……五四
二、古文書……五五
三、日記……五六
四、叢書　イ、總部……五九
ロ、專部……六一
ハ、家集……六四

目次　終

第一　國史研究法

	書名	冊	著者	發行年次	備考	對照
一、國史學	史學理論	一	内田銀藏	大十一		
	史學とは何ぞや	一	橘惠勝	十一		
	歷史學概論	一	丹波正義	十二		
	日本文明史	一	森蝶堂	明三十五		
	國史之教育	一	喜田貞吉	四十三		
	國史總論	一	内田銀藏	大十		
	日本史學提要	一	三宅米吉	明十九	日本近世史と合冊	一
二、國史研究法	國史學の栞	一	小中村清矩	三十三		一、四
	史學研究法	一	坪井九馬三	三十六		
	國史の研究	一	黑板勝美	四十一	大正十五年改訂增補	
	國史研究法	一	大類伸	大六、七	大正七年增訂分冊	
三、補助學科	古文書類纂	一	星野恒	明二十七	國史講習錄	十一・十四・二十
	古文書學講義	一	久米邦武		早稻田大學史學科講義錄	十一・十四・二十
	古文書學概說	一	伊木壽一	大六、七	國史講習錄	十一・十四・二十

書名	著者	發行年次	冊	備考	對照
日本考古學	八木奘三郎	明三十七	一	再版	一、四
考古學	高橋健自	大二	一		一、四
日本考古學	柴田常惠	六、七	一	國史講習錄	一、四
大日本金石史	木崎愛吉	十	四		
通論考古學	濱田耕作	十一	一		
日本原人の研究	清野謙次	十四	一		
日本石器時代の住民	小金井良精	明三十七	一		
人類學研究	小金井良精	大十五	一		
我が國民國語の曙	坪井九馬三	昭二	一		
比較神話學	高木敏雄	明三十七	一		二
日本傳說集	高木敏雄	大三			
日本神話傳說の研究	高木敏雄	十五			

第二　通史

書名	著者	發行年次	冊	備考	對照
日本開化小史	田口卯吉	明十	六		
國史眼	久米邦武	明二十三	一		
二千五百年史	竹越與三郎	二十九	一		
大日本通史上	萩野由之	三十二	一	平安朝まで	
大日本歷史	有賀長雄	四十—四十一	二		
國史の研究	黑板勝美	四十一	一		
倒敍日本史	吉田東伍	大二	十一		
地理的日本歷史	吉田東伍	三	一		
大日本歷史集成	青木武助	四	三		
大日本時代史	早稻大學出版部	四—五	十二		
國史講習錄	國史講習會	六—七	十七		
日本史講話	萩野由之	九	二		
大日本全史	大森金五郎	十—十一	三		
國民の日本史	坪内雄藏監修	十一—十二	十二		
綜合日本史大系	内外書籍株式會社	十五—續刊中	十二		
帝都	喜田貞吉	四	一		
簡易武家興亡觀	中村孝也	八	一		
海の歷史	吉田東伍	明三十四	一		

三、法制史

日本帝國海上權力史講義	一	小笠原長生	明三十七	
外交志稿	二	外務省	十七	
條約彙纂	一	谷口安定	二十二	五十一・五十二
南島沿革史論	一	幣原坦	三十二	
海外交通史話	一	辻善之助	大六 上大十五、下昭二	
日支交通史	二	木宮泰彥		
日鮮通交史	一	釜山甲寅會		
日本海上史論	一	日本歷史地理學會	明四十四	
日本法制史	一	池邊義象	四十五	
日本公法法制史	一	中田薰	大十四	
日本私法法制史	一	中田薰	十五	
官職制度沿革史	一	小中村清矩	明三十四	
官制沿革略史	一	小中村清矩		
日本制度通	三	萩野由之 小中村義象	明二十二—二十三	
官職要解	一	和田英松	三十六	
日本古代法典	一	萩野由之外二名	二十五	三十六年再版
日本古代法釋義	一	有賀長雄	二十六	四十一年增訂出版

日本法制史書目解題	二	池邊義象	明三十六	
法制論纂	一	國學院	三十七	
法制論纂續編	一	國學院		
法制史の研究	一	三浦周行	大八	
續法制史の研究	一	三浦周行	十四	
法制史論集	一	中田薰	十五	第一卷親族法相續法
舊典類纂皇位繼承篇	六	横山由清 黑川眞頼	明十一	
憲法志料	三十七	木村正辭	十	
舊典類纂田制篇	十一	横山由清	十	
大日本不動產法沿革史	一	横井時冬	二十一	大十五年再刊
日本田制史	一	横山由清	大十五	
日本農政史	一	矢野友一	四	
社寺領性質の研究	一	三上參次 辻善之助 芝葛盛	三	
刑法志略	一	横山由清	明八	
大日本獄制沿革史	一	小原重武	二十二	
私刑類纂	一	宮武外骨	大十一	
日本兵制沿革史	五	陸軍文庫	明十二	

四、經濟史

日本兵制史	一	日本歷史地理學會	大十五
祖先祭祀と日本法律	一	穗積陳重著 穗積嚴夫譯	六
隱居論	一	穗積陳重	四
諱に關する疑	一	穗積陳重	八
日本古來財產相續法	一	丸山正彥	明二十一
法制史料 古文書類纂	一	瀧川政次郎	昭二
日本經濟史論	一	福田德三著 坂西由藏譯	明四十
日本經濟史	八	竹越與三郎	大九
日本經濟史概論	一	佐野學	十二
日本經濟史原論	一	本庄榮治郎	十
日本經濟史經濟學史	一	本庄榮治郎	十三
經濟史文獻二	一	福田德三	十四
芸窻雜載	一	橫井時冬	明三十七
日本經濟史の研究	二	內田銀藏	大十
日本經濟史研究	一	社會科學特輯	十五
經濟史研究 增訂改版	一	本庄榮治郎	九
經濟史考	一	本庄榮治郎	大十四

歷史地理增刊

原イギリス文

大十五年實名敬避俗研究と改題再刊

經濟學全集第三集自譯所收

前書一部の獨立せるもの昭和二年續篇刊

經濟學全集第三集

經濟史論考	一	黑正巖	大十二
大日本貨幣史	三十二	吉田賢輔	明九
大日本貨幣史參考	七	吉田賢輔	十
日本貨幣史	一	米本少藏	
日本貨幣史	一	塚本豐次郎	大十二
日本古代通貨考	一	瀧本誠一	十三
兩替商沿革史	一	濱田健次郎	明二十一
日本貨幣古今集覽圖	一	兩替事務所	三十六
重訂鑄貨圖錄	二	塚本岩三郎	三十一
大日本貨幣精圖	一	佐野英山	九
大日本商業史	一	得能良介選 大藏省印刷局	十一
日本商業史	一	菅沼貞風	三十五
橫井時冬	三十一	橫井時冬	三十六
商人鏡	二	三版	
日本商人史	一	日本歷史地理學會	大十四
日本支那通商史	一	淺井虎夫	明三十九
日本の殖民的發展	一	松岡均平	大五
日本工業史	二	橫井時冬	明三十一

大十四年再刊八冊

附金座考

昭和二年再刊

歷史地理增刊

工藝鏡	二	明二七	横井時冬
大日本農史	三	二十四	田中芳男、織田完之、溝口傳三、黑川眞頼
大日本農政類編	一	三十五	農商務省
日本農政史	一	大四	矢野友一
大典記念帝國農業史要	一	四	左子清道
日本農民史	一	十三	日本歷史地理學會
時代と農政	一	明四十三	柳田國男
米相場考	一	二十三	南部助之丞
日本米食史	一		岡崎精一郎
灘酒沿革誌・續灘酒沿革誌	一	四十一	神戸稅務監督局
大日本帝國驛遞志稿	一	十五	青江秀
日本交通史論	一	大五	日本歷史地理學會
海上運送史論	一	十四	住田正一
日本海運史資料	一	明三七	柴謙太郎
日本近世造船史	一	四十三	造船協會
日本財政史論	一	四十二	渡部萬藏
日本財政史	一	二十三	萩野由之

歷史地理增刊　四十五　四十七・四十五

明治文化全集所收　四十六

遞信省管船局發行　四十六

五、社會史

日本財政史	一	大五	本庄榮治郎
大日本租稅志	三十	明十五	野中準
國史上の社會問題	一	大九	三浦周行
日本社會史	一	十三	本庄榮治郎
日本社會史序論	一	十一	佐野學
日本社會問題史觀	一	十五	渡邊幾治郎
日本家族制度史研究	一	十四	砂川寬榮

六、文化史

法制史より日本農民の生活（律令時代）	二	上大十五下昭二	瀧川政次郎
日本文明史	一	大	大町芳衛
日本文明史話	一	明三十六	吉田東伍
日本文明史	一	大四	大川周明
日本文化史	十二	十	大鐙閣
國民文化史概論	三	十一	中村孝也
日本文化史研究	一	十四	內藤虎次郎
東圖遺稿（國學史・日本評論史）	一	明四十四	藤岡作太郎

七、學術史

日本博物學年表	一	二十四	白井光太郎
大日本數學史	一	二十九	遠藤利貞

大正七年增修版　四十四・四十　四十四・四十八

和算書目錄	一	帝國學士院	大十五	
日本醫學史	一	富士川游	明三十七	
皇國醫事年表	一	富士川游	三十五	
日本疾病史	一	富士川游	四十五	
本邦外科史	一	岡崎桂一郎	大三	
日本浴療史	一	緒方正清	五	
日本儒學史	一	久保得二	明三十七	
日本儒學年表	一	斯文會	大十一	
日本古刻書史	一	朝倉龜三	明四十二	
修訂日本教育史	一	佐藤誠實	三十六	
日本教育史	一	文部省	四十三	
本邦教育史概說	一	吉田熊次	大十一	
外來語の研究	一	前田太郎	十一	
國文學研究史	一	野村八良	十五	
日本武士道	一一	重野安繹	明四十二	
大日本倫理思想發達史（文學に現はれたる我が國民思想の研究）	二	岩橋遵成	大四	
	四	津田左右吉	五—六	

再版

				四十四・四十八
				十三・二十八・四十四
				三十六・三十八・四十二・四十四・四十八・五十・二十三

國民道德史論	一	河野省三	大六	
我が國に於ける國體觀念の發達	一	深作安文	九	
國體論史	一	內務省神社局	十	
國體新論	一	黑板勝美	十四	
日本國民思想史	一	清原貞雄	十四	
武士道史十講	一	清原貞雄	昭二	
日本宗教史	一一	土屋詮教	明四十	
日本宗教史	一一	比屋根安定	大十四	
神祇史	一一	宮地直一	明四十三	
神祇史綱要	一一	宮地直一	大八	
神道沿革史論	一一	清原貞雄	八	
神祇史の研究	一一	宮地直一	十四	
神祇と國史	一一	宮地直一	十五	
古神道大義	三	克彥元		
大日本佛教史卷一	一一	村上專精外二名	明三十	
日本佛教史綱	二	村上專精	三十二—三十三	
日本佛教史の研究	一	辻善之助	大八	

續上大正三年、下同四年刊

大正十四年再版

十、藝術史

佛教と國民思想	一	鷲尾順敬	大十一
唯心史觀	一	赤堀又次郎	十二
日本佛教文化史の研究	一	橋川正	十三
淨土佛教史論	一	醍醐惠端	十三
淨土教史	一	齋藤唯心	昭二
日本佛教と社會事業	一	橋川正	大十四
日本文學小史	一	三上參次 高津鍬三郎	明三十五
國文學史十講	一	芳賀矢一	三十二
日本文學史	一	芝野六助譯	四十一
國文學歷代選	一	芳賀矢一	四十一
國文學史講話	一	藤岡作太郎	四十一
新國文學史	一	五十嵐力	四十五
國文學史概論	一	芳賀矢一	大二
日本文學新史	一	尾上八郎	三
國民文學史	一	鈴木暢幸	九
概觀日本文學史潮	一	鈴木敏也	十五
日本歌學史	一	佐々木信綱	明四十三
日本短歌史	一	山內素行	大二
和歌史の研究	一	佐々木信綱	四
小說史稿	一	關根正直	明二十三
大日本美術史	一	小杉榲邨	二十八
日本帝國美術略史（稿本）	一	帝國博物館	三十四
日本美術史講話	二	黑田朋信	大三
日本美術史	一	藤懸靜也	六十七
東亞美術史綱	二	有賀長雄譯	十
日本美術史	一	黑田朋信	十二
日本美術史	一	岡倉覺三	十二
佛教藝術の研究	一	平子鐸嶺	三
佛教之美術及歷史	一	小野玄妙	六
扶桑畫人傳	五	古筆了仲	明七
古畫備考	四	朝岡興禎編 田口謹訂	四十五
日本繪畫史	一	橫井時冬	三十四
日本繪畫史	一	笹川臨風	大十二
日本古建築史（飛鳥奈良鎌倉）	二	服部勝吉	十五

五版

英人アストン著

大正十二年增訂

大正五年再版

國史講習錄

米人フエノロサ著

再版

日本建築史要	一	天沼俊一	昭二		
國寶及特別保護建造物（解說）	三帙	內務省	明四十三		
國寶全集	三	工藝美術聚英刊行會	大十—十二—十四	續刊中	
日本古建築精華	二	岩井武俊	九		
歌舞音樂略史	二	小中村清矩	明三十六	三版	
日本歌謠史	一	高野辰之 大西林五郎	大十五		
日本陶工傳	三	藤井理伯			
日本染色史	二	泉俊秀	大十五	下未刊	
日本陶瓷史	一	今岡作太郎	西		
日本風俗史	二	藤平鏗次郎	明二十八		
日本風俗全史卷一（容儀服飾編上）	一	出馬務	大十		
日本風俗史講座	十八	江馬務	大十三	續刊中	
日本服飾史	一	雄山閣編輯部	昭二—昭三		
服制の研究	一	櫻井秀	大十三		
日本服飾史論	一	高橋健自	昭二		

裝束甲冑圖解	一	關根正直	明三十		
宮殿調度圖解	一	關根正直	三十三		
有職故實	一	林太郎	四十		
典禮史要	一	櫻井秀	大四		
女官通解	一	淺井虎夫	明三十九		
日本民俗志	一	中山太郎	大十五		
日本民家史	一	藤田元春	昭二		
賭博史	一	廢姓外骨	大十二		
日本風俗圖繪	十二	黑川眞道	三、四		
日本燈火史	一	內阪素夫	大十六	燈器の變遷及其發達改題	

第三　古代史

大日本時代史古代	二	久米邦武	大四		
日本古代史	一	堀田璋左右	六、七		
國史綜覽稿	十	重野安繹、河田熙、植松彰	明三十九	國史講習錄 二十二	二

神代史の新らしい研究	一	津田左右吉	大二	一	二、政治史
神代史研究	一	松本芳夫	九	二	
神代史の研究 古事記及日本書紀の新研究	一	津田左右吉	十三	二	
聖徳太子傳	一	境野哲	明三七	八	
上宮太子實錄	一	久米邦武	三八	八	
聖徳太子御傳	一	聖徳太子一千三百年御忌奉讃會	大十二	八	
聖徳太子論纂	一	平安考古會	十	八	
日韓古史斷	一	吉田東伍	明二六	五	三、法制史
氏族考	一	栗田寛	二九	四	
日本古代氏族制度	一	太田亮	大六	四	
諱に關する疑	一	穗積陳重	八	四	
古代の研究	一	田口卯吉	明三五	四	四、文化史
日本文化史古代	一	安藤正次	大十一	四	
言語の研究と古代の文化	一	金澤庄三郎	二	四	
人類學上より見たる我が上代の文化 卷一	一	鳥居龍藏	十四	四	
古墳と上代文化	一	高橋健自	十二	四	

大正十五年「實名敬避俗研究」に改題

陵	一	日本歷史地理學會	大二	四、十二	一、一般史
皇陵史稿	一	後藤秀穗		四、十二、二、三、二十	
神器考證	一	栗田寛	明三十一	七、二十九、三十	
鏡と剣と玉	一	高橋健自	四十四	四	五、藝術史
古鏡の研究	一	富岡謙藏	大九	四	
銅鐸之研究	二	梅原末治	昭二	四	
銅鉾銅剣之研究	一	高橋健自	大十五	三、四	
日本原始繪畫	一	高橋健自	昭二	四	
法隆寺建築論	一	伊東忠太		八	
法隆寺論抄	一	聖徳太子奉讃會	昭二	四、八、十三	
上代日本染織史	一	明石國助	大十		

資料編

第四　上代史

書名	册	著者	發行年次	備考	對照
大日本時代史奈良	一	久米邦武	大四		十二、十三

二、政治史

綜合日本史大系奈良朝	一	西岡虎之助	大十五	一、十三
奈良時代史論	一	日本歷史地理學會	三	八、十二、十三
國史八面觀	二	久米邦武	四、六	
大日本時代史平安	一	池田晃淵	四	
平安朝史	一	川上多助	六、七	
綜合日本史大系平安朝後期	一	櫻井秀	十五	
裏面より見たる日本歷史	一	久米邦武	明四十四	十四、十五、十八、二十四—二十二
日本中世史第一卷	一	原勝郎	三十九	國史講習錄
武家時代の研究（第一）	一	大森金五郎	昭二	十九—二十二
平城坊目遺考	三	金澤昇平	明二十三	十四、十五
平城坊目考	三	丸屋勘兵衛著金澤昇平校	二十三	十七—二十二
平城京及大內裏考	一	關野貞	三十六	十七、二十、二十一
平城宮阯	一	上田三平	大十五	十二
和氣公紀事	一	湯本文彥	明三十二	十二
平安通志	二十	湯本文彥等	二十八	十二
史海日本之部	六	經濟雜誌社	二十四、二十九	十四
右大臣吉備公傳纂釋	一	重野安繹	三十五	十二

三、法制史

管公論纂	一		明三十五	
秀鄉事蹟考	一	中準	七	
義經傳	一	黑板勝美	大三	
令義解講義	一	小中村清矩	明三十六	
令集解	二		大元	
大寶令新解	一	窪美昌保	五	

四、經濟史

檢非違使を中心としたる平安時代の警察狀態	一	谷森饒男	十	
驛路通	一	大槻如電	明四十四	
農業共產制史論	一	黑正巖	大十五	

五、文化史

日本文化史奈良朝	一	西村爲之助	十一	
日本文化史平安朝初期	一	太田亮	十一	
日本文化史平安朝中期	一	西岡虎之助	十一	
日本文化史平安朝末期	一	竹岡勝也	十一	

六、學術史

平安朝の文化	一	史學地理學同攷會	大九	
日本書紀傳	七	鈴木重胤	明四十三、四十五	
日本書紀通釋	五	飯田武郷	三十五、三十六	
古事記考	一	井上賴圀	四十二	

國書刊行會刊

				十五、十六
				十七
				二十一、二十三
				十一、十六
				十一、十六
			西	十六
				十一
				十一
				十三
				十六
				十九
				二十二
				十六、十九、二十二
				十三
				十三
				十三

古風土記逸文考證	二	栗田寛	三十六	十三	
新撰姓氏錄考證	十二	栗田寛	三十三	十六	
日本古典研究	一	植木直一郎	昭二	十三	
榮華物語詳解	十七	和田英松、佐藤球	明三十二、四	二十二	
今鏡詳註	二	關根正直	三十	二十二	
大鏡詳解	一	落合直文	三十五	二十二	
攷證今昔物語集	二	小中村義象	三十五	二十二	
傳教大師（本朝部）傳	一	三浦周行	大三、十	二十二	
曼荼羅通解	一	權田雷斧	十五	十六	
曼荼羅研究	一	梅尾祥雲	昭二	十六	
上代國文學研究	一	武田祐吉	大十	十三	
國文學全史（平安朝）	一	藤岡作太郎	明三十八	十六、十九、二十二	
校本萬葉集	一	佐々木信綱		十三	
萬葉集の新研究	一	久松潛一	大十五	十三	
古京遺文	一	狩谷望之編		十三	
南京遺文	二	佐々木信綱	十	十三	
西行法師傳	一	梅澤和軒	明三十八	二十二	

佛教美術と上代文化　正倉院志　一　津田敬武　大十二　十三

第五　中世史

書名	冊	著者	發行年次	備考	對照
大日本時代史（鎌倉）	一	三浦周行	大五		二十三―二十八
鎌倉時代史	一	龍肅	七		二十三―二十八
鎌倉時代史	一	日下寛		早稻田大學史學科講義錄	二十三、二十四
鎌倉時代の研究	一	史學地理學同攻會	十四		二十三―二十八
かまくら	一	大森金五郎	明四十		二十三、二十四、二十七
大日本時代史（南北朝）	一	久米邦武	大五		二十九、三十
南北朝史	一	牧野純一	六―七	國史講習錄	二十九、三十
南北朝時代史	一	田中義成	十一		二十九、三十、三十一
綜合日本史大系（南北朝）	一	魚澄惣五郎	昭二		二十九、三十、三十一、三十三
南朝の研究	一	中村直勝	二		二十九、三十
大日本時代史（室町）	一	渡邊世祐	大四		三十一、三十二、三十四

室町時代史	一	大六—七	國史講習錄 三十一、三十二、三十四
足利時代史	一	十二	三十一、三十二
室町時代の研究	一	十二	三十一、三十二、三十三
關東中心 足利時代之研究	一	十五	三十一—三十九
日本近世史（社會分裂國家統一）	二	五	三十四—三十九
戰國時代史論	一	大十三	三十四、三十五、三十七
織田時代史	一	五	三十五
大日本時代史（安土桃山）	一	六—七	三十五—三十七
安土桃山時代史論	一	十四	國史講習錄 三十五—三十七
豐臣時代史	一	十四	三十七—三十九
安土桃山時代史論	一	四	三十五—三十九
近世日本國民史（織田豐臣）	十	七—十一	三十四—三十九
源賴朝	一	幸田露伴	二十一、二十三
源賴朝	一	山路愛山 明四十三	二十一、二十三
伏敵篇	二	山田安榮 二十四	二十六
武藏武士	一	渡邊世祐 大二	二十一、二十三、二十四
弘安文祿征戰偉蹟	一	八代國治 明三十八	二十六、三十九

元寇史蹟の新研究	一	大四	史蹟現地講演會
長慶天皇御卽位の研究	一	十	八代國治
征西將軍宮	一	三十	藤田明
足利尊氏	一	四	藤田明
楠氏研究	一	明四十二	山路愛山
新田氏郷土史論	一	大四	藤田精一
新田氏研究		四	日本歷史地理學會
細川賴之補傳	三		藤田精一
戰國時代本願寺	一	明二十四	細川潤次郎
大內氏實錄	五	三十一	中村德五郎
後北條氏民政史論	一	大八	近藤清石
桶狹間戰記	一	大五	牧野純一
日本戰史桶狹間役	二	明二十四	川住銍三郎
文明東漸史	一	三十六	參謀本部
日歐交通起源史	一	三十	藤田茂吉
西力東侵史	一	三十	菅菊太郎
南蠻	一	三十五	齋藤阿具
新			村出

南蠻廣記　一
續南蠻廣記　一　新村出　大十四
南國史話　一　川島元次郎　十五
對外史料　美術大觀　一　永山時英　七
對外史料寶鑑　一　永山時英　十五
城郭之研究　一　大類伸　四
戰爭と城塞　一　大類伸　三
織田信長　一　小川多一郎　明四十四
日本戰史姉川役　一　參謀本部　三十六
日本戰史三方ヶ原役　二　參謀本部　三十五
日本戰史長篠役　二　參謀本部　三十六
日本戰史中國役　二　參謀本部　三十七
上杉謙信公履歷　一　上杉茂吉　二十四
上杉謙信傳　一　布施秀治　大六
日本戰史山崎役　二　參謀本部　明三十九
日本戰史柳ヶ瀨役　二　參謀本部　四十
小牧陣始末記　一　神谷存心　二十二
日本戰史小牧役　二　參謀本部　四十一

再版

三十六、三十九、四十二
三十六、四十二
三十九、四十二
三十六、三十九、四十二
三十六、三十九、四十二
三十五、三十八
三十五、三十八
三十五、三十六
三十五
三十五
三十五
三十四、三十五
三十四、三十五
三十四、三十五
三十七
三十七

日本戰史九州役　二　參謀本部　明四十四
小田原征討史　一　中村德五郎　三十一
日本戰史小田原役　一　參謀本部　大三
豐太閤征外新史　五　木下直弘　明二十六
豐太閤征韓秘錄　一　松本愛重　二十七
鮮人の記せる豐太閤征韓戰記　一　朝鮮研究會　四十五
文祿慶長の役　一　池内宏　大三
朝鮮役　一　參謀本部　十三
豐太閤（前後編）　二　山路愛山　明四十二
豐太閤　一　尾池宣鄉　四十五
豐太閤とその家族　一　渡邊世祐　大八
加藤清正　一　山路愛山　明四十二
黑田如水　一　福本日南　四十四
黑田如水傳　一　金子堅太郎　大五
小早川隆景傳　一　宍戸璣　明三十
石田三成　一　渡邊世祐　四十
莊園　一　栗田寬　二十一
莊園制度の大要　一　吉田東伍

三十七
三十七
三十七
三十九
三十九
三十九
三十九
三十五、三十七—三十九
三十五、三十七—三十九
三十八
三十七、三十九、四十
三十七、三十九、四十
三十七、三十九、四十
三十五、三十九
三十七、四十
三十七、二十四
七、二十四、三十四

四、文化史

一	室町時代の田租	玉泉大梁	大四		三十一
一	日本古代商業史	島田壯介譯	明二十一		三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百、百一、百二、百三、百四、百五、百六、百七、百八、百九、百十、百十一、百十二、百十三、百十四、百十五、百十六、百十七、百十八、百十九、百二十、百二十一、百二十二、百二十三、百二十四、百二十五、百二十六、百二十七、百二十八、百二十九、百三十、百三十一、百三十二、百三十三、百三十四、百三十五、百三十六、百三十七、百三十八、百三十九、百四十、百四十一、百四十二、百四十三、百四十四、百四十五、百四十六、百四十七、百四十八、百四十九、百五十、百五十一、百五十二、百五十三、百五十四、百五十五、百五十六、百五十七、百五十八、百五十九、百六十、百六十一、百六十二、百六十三、百六十四、百六十五、百六十六、百六十七、百六十八、百六十九、百七十、百七十一、百七十二、百七十三、百七十四、百七十五、百七十六、百七十七、百七十八、百七十九、百八十、百八十一、百八十二、百八十三、百八十四、百八十五、百八十六、百八十七、百八十八、百八十九、百九十、百九十一、百九十二、百九十三、百九十四、百九十五、百九十六、百九十七、百九十八、百九十九、二百、二百一、二百二、二百三、二百四、二百五、二百六、二百七、二百八、二百九、二百十、二百十一、二百十二、二百十三、二百十四、二百十五、二百十六、二百十七、二百十八、二百十九、二百二十、二百二十一、二百二十二、二百二十三、二百二十四、二百二十五、二百二十六、二百二十七、二百二十八、二百二十九、二百三十、二百三十一、二百三十二、二百三十三、二百三十四、二百三十五、二百三十六、二百三十七、二百三十八、二百三十九、二百四十、二百四十一、二百四十二、二百四十三、二百四十四、二百四十五、二百四十六、二百四十七、二百四十八、二百四十九、二百五十、二百五十一、二百五十二、二百五十三、二百五十四、二百五十五、二百五十六、二百五十七、二百五十八、二百五十九、二百六十、二百六十一、二百六十二、二百六十三、二百六十四、二百六十五、二百六十六、二百六十七、二百六十八、二百六十九、二百七十、二百七十一、二百七十二、二百七十三、二百七十四、二百七十五、二百七十六、二百七十七、二百七十八、二百七十九、二百八十、二百八十一、二百八十二、二百八十三、二百八十四、二百八十五、二百八十六、二百八十七、二百八十八、二百八十九、二百九十、二百九十一、二百九十二、二百九十三、二百九十四、二百九十五、二百九十六、二百九十七、二百九十八、二百九十九、三百、三百一、三百二、三百三、三百四、三百五、三百六、三百七、三百八、三百九、三百十、三百十一、三百十二、三百十三、三百十四、三百十五、三百十六、三百十七、三百十八、三百十九、三百二十、三百二十一、三百二十二、三百二十三、三百二十四、三百二十五、三百二十六、三百二十七、三百二十八、三百二十九、三百三十、三百三十一、三百三十二、三百三十三、三百三十四、三百三十五、三百三十六、三百三十七、三百三十八、三百三十九、三百四十、三百四十一、三百四十二、三百四十三、三百四十四、三百四十五、三百四十六、三百四十七、三百四十八、三百四十九、三百五十、三百五十一、三百五十二、三百五十三、三百五十四、三百五十五、三百五十六、三百五十七、三百五十八、三百五十九、三百六十、三百六十一、三百六十二、三百六十三、三百六十四、三百六十五、三百六十六、三百六十七、三百六十八、三百六十九、三百七十、三百七十一、三百七十二、三百七十三、三百七十四、三百七十五、三百七十六、三百七十七、三百七十八、三百七十九、三百八十、三百八十一、三百八十二、三百八十三、三百八十四、三百八十五、三百八十六、三百八十七、三百八十八、三百八十九、三百九十、三百九十一、三百九十二、三百九十三、三百九十四、三百九十五、三百九十六、三百九十七、三百九十八、三百九十九、四百、四百一、四百二、四百三、四百四、四百五、四百六、四百七、四百八、四百九、四百十、四百十一、四百十二、四百十三、四百十四、四百十五、四百十六、四百十七、四百十八、四百十九、四百二十、四百二十一、四百二十二、四百二十三、四百二十四、四百二十五、四百二十六、四百二十七、四百二十八、四百二十九、四百三十、四百三十一、四百三十二、四百三十三、四百三十四、四百三十五、四百三十六、四百三十七、四百三十八、四百三十九、四百四十、四百四十一、四百四十二、四百四十三、四百四十四、四百四十五、四百四十六、四百四十七、四百四十八、四百四十九、四百五十、四百五十一、四百五十二、四百五十三、四百五十四、四百五十五、四百五十六、四百五十七、四百五十八、四百五十九、四百六十、四百六十一、四百六十二、四百六十三、四百六十四、四百六十五、四百六十六、四百六十七、四百六十八、四百六十九、四百七十、四百七十一、四百七十二、四百七十三、四百七十四、四百七十五、四百七十六、四百七十七、四百七十八、四百七十九、四百八十、四百八十一、四百八十二、四百八十三、四百八十四、四百八十五、四百八十六、四百八十七、四百八十八、四百八十九、四百九十、四百九十一、四百九十二、四百九十三、四百九十四、四百九十五、四百九十六、四百九十七、四百九十八、四百九十九、五百、五百一、五百二、五百三、五百四、五百五、五百六、五百七、五百八、五百九、五百十、五百十一、五百十二、五百十三、五百十四、五百十五、五百十六、五百十七、五百十八、五百十九、五百二十、五百二十一、五百二十二、五百二十三、五百二十四、五百二十五、五百二十六、五百二十七、五百二十八、五百二十九、五百三十、五百三十一、五百三十二、五百三十三、五百三十四、五百三十五、五百三十六、五百三十七、五百三十八、五百三十九、五百四十、五百四十一、五百四十二、五百四十三、五百四十四、五百四十五、五百四十六、五百四十七、五百四十八、五百四十九、五百五十、五百五十一、五百五十二、五百五十三、五百五十四、五百五十五、五百五十六、五百五十七、五百五十八、五百五十九、五百六十、五百六十一、五百六十二、五百六十三、五百六十四、五百六十五、五百六十六、五百六十七、五百六十八、五百六十九、五百七十、五百七十一、五百七十二、五百七十三、五百七十四、五百七十五、五百七十六、五百七十七、五百七十八、五百七十九、五百八十、五百八十一、五百八十二、五百八十三、五百八十四、五百八十五、五百八十六、五百八十七、五百八十八、五百八十九、五百九十、五百九十一、五百九十二、五百九十三、五百九十四、五百九十五、五百九十六、五百九十七、五百九十八、五百九十九、六百、六百一、六百二、六百三、六百四、六百五、六百六、六百七、六百八、六百九、六百十、六百十一、六百十二、六百十三、六百十四、六百十五、六百十六、六百十七、六百十八、六百十九、六百二十、六百二十一、六百二十二、六百二十三、六百二十四、六百二十五、六百二十六、六百二十七、六百二十八、六百二十九、六百三十、六百三十一、六百三十二、六百三十三、六百三十四、六百三十五、六百三十六、六百三十七、六百三十八、六百三十九、六百四十、六百四十一、六百四十二、六百四十三、六百四十四、六百四十五、六百四十六、六百四十七、六百四十八、六百四十九、六百五十、六百五十一、六百五十二、六百五十三、六百五十四、六百五十五、六百五十六、六百五十七、六百五十八、六百五十九、六百六十、六百六十一、六百六十二、六百六十三、六百六十四、六百六十五、六百六十六、六百六十七、六百六十八、六百六十九、六百七十、六百七十一、六百七十二、六百七十三、六百七十四、六百七十五、六百七十六、六百七十七、六百七十八、六百七十九、六百八十、六百八十一、六百八十二、六百八十三、六百八十四、六百八十五、六百八十六、六百八十七、六百八十八、六百八十九、六百九十、六百九十一、六百九十二、六百九十三、六百九十四、六百九十五、六百九十六、六百九十七、六百九十八、六百九十九、七百、七百一、七百二、七百三、七百四、七百五、七百六、七百七、七百八、七百九、七百十、七百十一、七百十二、七百十三、七百十四、七百十五、七百十六、七百十七、七百十八、七百十九、七百二十、七百二十一、七百二十二、七百二十三、七百二十四、七百二十五、七百二十六、七百二十七、七百二十八、七百二十九、七百三十、七百三十一、七百三十二、七百三十三、七百三十四、七百三十五、七百三十六、七百三十七、七百三十八、七百三十九、七百四十、七百四十一、七百四十二、七百四十三、七百四十四、七百四十五、七百四十六、七百四十七、七百四十八、七百四十九、七百五十、七百五十一、七百五十二、七百五十三、七百五十四、七百五十五、七百五十六、七百五十七、七百五十八、七百五十九、七百六十、七百六十一、七百六十二、七百六十三、七百六十四、七百六十五、七百六十六、七百六十七、七百六十八、七百六十九、七百七十、七百七十一、七百七十二、七百七十三、七百七十四、七百七十五、七百七十六、七百七十七、七百七十八、七百七十九、七百八十、七百八十一、七百八十二、七百八十三、七百八十四、七百八十五、七百八十六、七百八十七、七百八十八、七百八十九、七百九十、七百九十一、七百九十二、七百九十三、七百九十四、七百九十五、七百九十六、七百九十七、七百九十八、七百九十九、八百、八百一、八百二、八百三、八百四、八百五、八百六、八百七、八百八、八百九、八百十、八百十一、八百十二、八百十三、八百十四、八百十五、八百十六、八百十七、八百十八、八百十九、八百二十、八百二十一、八百二十二、八百二十三、八百二十四、八百二十五、八百二十六、八百二十七、八百二十八、八百二十九、八百三十、八百三十一、八百三十二、八百三十三、八百三十四、八百三十五、八百三十六、八百三十七、八百三十八、八百三十九、八百四十、八百四十一、八百四十二、八百四十三、八百四十四、八百四十五、八百四十六、八百四十七、八百四十八、八百四十九、八百五十、八百五十一、八百五十二、八百五十三、八百五十四、八百五十五、八百五十六、八百五十七、八百五十八、八百五十九、八百六十、八百六十一、八百六十二、八百六十三、八百六十四、八百六十五、八百六十六、八百六十七、八百六十八、八百六十九、八百七十、八百七十一、八百七十二、八百七十三、八百七十四、八百七十五、八百七十六、八百七十七、八百七十八、八百七十九、八百八十、八百八十一、八百八十二、八百八十三、八百八十四、八百八十五、八百八十六、八百八十七、八百八十八、八百八十九、八百九十、八百九十一、八百九十二、八百九十三、八百九十四、八百九十五、八百九十六、八百九十七、八百九十八、八百九十九、九百、九百一、九百二、九百三、九百四、九百五、九百六、九百七、九百八、九百九、九百十、九百十一、九百十二、九百十三、九百十四、九百十五、九百十六、九百十七、九百十八、九百十九、九百二十、九百二十一、九百二十二、九百二十三、九百二十四、九百二十五、九百二十六、九百二十七、九百二十八、九百二十九、九百三十、九百三十一、九百三十二、九百三十三、九百三十四、九百三十五、九百三十六、九百三十七、九百三十八、九百三十九、九百四十、九百四十一、九百四十二、九百四十三、九百四十四、九百四十五、九百四十六、九百四十七、九百四十八、九百四十九、九百五十、九百五十一、九百五十二、九百五十三、九百五十四、九百五十五、九百五十六、九百五十七、九百五十八、九百五十九、九百六十、九百六十一、九百六十二、九百六十三、九百六十四、九百六十五、九百六十六、九百六十七、九百六十八、九百六十九、九百七十、九百七十一、九百七十二、九百七十三、九百七十四、九百七十五、九百七十六、九百七十七、九百七十八、九百七十九、九百八十、九百八十一、九百八十二、九百八十三、九百八十四、九百八十五、九百八十六、九百八十七、九百八十八、九百八十九、九百九十、九百九十一、九百九十二、九百九十三、九百九十四、九百九十五、九百九十六、九百九十七、九百九十八、九百九十九、千、千一、千二、千三、千四、千五、千六、千七、千八、千九、千十、千十一、千十二、千十三、千十四、千十五、千十六、千十七、千十八、千十九、千二十、千二十一、千二十二、千二十三、千二十四、千二十五、千二十六、千二十七、千二十八、千二十九、千三十、千三十一、千三十二、千三十三、千三十四、千三十五、千三十六、千三十七、千三十八、千三十九、千四十、千四十一、千四十二、千四十三、千四十四、千四十五、千四十六、千四十七、千四十八、千四十九、千五十、千五十一、千五十二、千五十三、千五十四、千五十五、千五十六、千五十七、千五十八、千五十九、千六十、千六十一、千六十二、千六十三、千六十四、千六十五、千六十六、千六十七、千六十八、千六十九、千七十、千七十一、千七十二、千七十三、千七十四、千七十五、千七十六、千七十七、千七十八、千七十九、千八十、千八十一、千八十二、千八十三、千八十四、千八十五、千八十六、千八十七、千八十八、千八十九、千九十、千九十一、千九十二、千九十三、千九十四、千九十五、千九十六、千九十七、千九十八、千九十九、二千、二千一、二千二、二千三、二千四、二千五、二千六、二千七、二千八、二千九、二千十、二千十一、二千十二、二千十三、二千十四、二千十五、二千十六、二千十七、二千十八、二千十九、二千二十、二千二十一、二千二十二、二千二十三、二千二十四、二千二十五、二千二十六、二千二十七、二千二十八、二千二十九、二千三十、二千三十一、二千三十二、二千三十三、二千三十四、二千三十五、二千三十六、二千三十七、二千三十八、二千三十九、二千四十、二千四十一、二千四十二、二千四十三、二千四十四、二千四十五、二千四十六、二千四十七、二千四十八、二千四十九、二千五十、二千五十一、二千五十二、二千五十三、二千五十四、二千五十五、二千五十六、二千五十七、二千五十八、二千五十九、二千六十、二千六十一、二千六十二、二千六十三、二千六十四、二千六十五、二千六十六、二千六十七、二千六十八、二千六十九、二千七十、二千七十一、二千七十二、二千七十三、二千七十四、二千七十五、二千七十六、二千七十七、二千七十八、二千七十九、二千八十、二千八十一、二千八十二、二千八十三、二千八十四、二千八十五、二千八十六、二千八十七、二千八十八、二千八十九、二千九十、二千九十一、二千九十二、二千九十三、二千九十四、二千九十五、二千九十六、二千九十七、二千九十八、二千九十九、三千、三千一、三千二、三千三、三千四、三千五、三千六、三千七、三千八、三千九、三千十、三千十一、三千十二、三千十三、三千十四、三千十五、三千十六、三千十七、三千十八、三千十九、三千二十、三千二十一、三千二十二、三千二十三、三千二十四、三千二十五、三千二十六、三千二十七、三千二十八、三千二十九、三千三十、三千三十一、三千三十二、三千三十三、三千三十四、三千三十五、三千三十六、三千三十七、三千三十八、三千三十九、三千四十、三千四十一、三千四十二、三千四十三、三千四十四、三千四十五、三千四十六、三千四十七、三千四十八、三千四十九、三千五十、三千五十一、三千五十二、三千五十三、三千五十四、三千五十五、三千五十六、三千五十七、三千五十八、三千五十九、三千六十、三千六十一、三千六十二、三千六十三、三千六十四、三千六十五、三千六十六、三千六十七、三千六十八、三千六十九、三千七十、三千七十一、三千七十二、三千七十三、三千七十四、三千七十五、三千七十六、三千七十七、三千七十八、三千七十九、三千八十、三千八十一、三千八十二、三千八十三、三千八十四、三千八十五、三千八十六、三千八十七、三千八十八、三千八十九、三千九十、三千九十一、三千九十二、三千九十三、三千九十四、三千九十五、三千九十六、三千九十七、三千九十八、三千九十九、四千、四千一、四千二、四千三、四千四、四千五、四千六、四千七、四千八、四千九、四千十、四千十一、四千十二、四千十三、四千十四、四千十五、四千十六、四千十七、四千十八、四千十九、四千二十、四千二十一、四千二十二、四千二十三、四千二十四、四千二十五、四千二十六、四千二十七、四千二十八、四千二十九、四千三十、四千三十一、四千三十二、四千三十三、四千三十四、四千三十五、四千三十六、四千三十七、四千三十八、四千三十九、四千四十、四千四十一、四千四十二、四千四十三、四千四十四、四千四十五、四千四十六、四千四十七、四千四十八、四千四十九、四千五十、四千五十一、四千五十二、四千五十三、四千五十四、四千五十五、四千五十六、四千五十七、四千五十八、四千五十九、四千六十、四千六十一、四千六十二、四千六十三、四千六十四、四千六十五、四千六十六、四千六十七、四千六十八、四千六十九、四千七十、四千七十一、四千七十二、四千七十三、四千七十四、四千七十五、四千七十六、四千七十七、四千七十八、四千七十九、四千八十、四千八十一、四千八十二、四千八十三、四千八十四、四千八十五、四千八十六、四千八十七、四千八十八、四千八十九、四千九十、四千九十一、四千九十二、四千九十三、四千九十四、四千九十五、四千九十六、四千九十七、四千九十八、四千九十九、五千、五千一、五千二、五千三、五千四、五千五、五千六、五千七、五千八、五千九、五千十、五千十一、五千十二、五千十三、五千十四、五千十五、五千十六、五千十七、五千十八、五千十九、五千二十、五千二十一、五千二十二、五千二十三、五千二十四、五千二十五、五千二十六、五千二十七、五千二十八、五千二十九、五千三十、五千三十一、五千三十二、五千三十三、五千三十四、五千三十五、五千三十六、五千三十七、五千三十八、五千三十九、五千四十、五千四十一、五千四十二、五千四十三、五千四十四、五千四十五、五千四十六、五千四十七、五千四十八、五千四十九、五千五十、五千五十一、五千五十二、五千五十三、五千五十四、五千五十五、五千五十六、五千五十七、五千五十八、五千五十九、五千六十、五千六十一、五千六十二、五千六十三、五千六十四、五千六十五、五千六十六、五千六十七、五千六十八、五千六十九、五千七十、五千七十一、五千七十二、五千七十三、五千七十四、五千七十五、五千七十六、五千七十七、五千七十八、五千七十九、五千八十、五千八十一、五千八十二、五千八十三、五千八十四、五千八十五、五千八十六、五千八十七、五千八十八、五千八十九、五千九十、五千九十一、五千九十二、五千九十三、五千九十四、五千九十五、五千九十六、五千九十七、五千九十八、五千九十九、六千、六千一、六千二、六千三、六千四、六千五、六千六、六千七、六千八、六千九、六千十、六千十一、六千十二、六千十三、六千十四、六千十五、六千十六、六千十七、六千十八、六千十九、六千二十、六千二十一、六千二十二、六千二十三、六千二十四、六千二十五、六千二十六、六千二十七、六千二十八、六千二十九、六千三十、六千三十一、六千三十二、六千三十三、六千三十四、六千三十五、六千三十六、六千三十七、六千三十八、六千三十九、六千四十、六千四十一、六千四十二、六千四十三、六千四十四、六千四十五、六千四十六、六千四十七、六千四十八、六千四十九、六千五十、六千五十一、六千五十二、六千五十三、六千五十四、六千五十五、六千五十六、六千五十七、六千五十八、六千五十九、六千六十、六千六十一、六千六十二、六千六十三、六千六十四、六千六十五、六千六十六、六千六十七、六千六十八、六千六十九、六千七十、六千七十一、六千七十二、六千七十三、六千七十四、六千七十五、六千七十六、六千七十七、六千七十八、六千七十九、六千八十、六千八十一、六千八十二、六千八十三、六千八十四、六千八十五、六千八十六、六千八十七、六千八十八、六千八十九、六千九十、六千九十一、六千九十二、六千九十三、六千九十四、六千九十五、六千九十六、六千九十七、六千九十八、六千九十九、七千、七千一、七千二、七千三、七千四、七千五、七千六、七千七、七千八、七千九、七千十、七千十一、七千十二、七千十三、七千十四、七千十五、七千十六、七千十七、七千十八、七千十九、七千二十、七千二十一、七千二十二、七千二十三、七千二十四、七千二十五、七千二十六、七千二十七、七千二十八、七千二十九、七千三十、七千三十一、七千三十二、七千三十三、七千三十四、七千三十五、七千三十六、七千三十七、七千三十八、七千三十九、七千四十、七千四十一、七千四十二、七千四十三、七千四十四、七千四十五、七千四十六、七千四十七、七千四十八、七千四十九、七千五十、七千五十一、七千五十二、七千五十三、七千五十四、七千五十五、七千五十六、七千五十七、七千五十八、七千五十九、七千六十、七千六十一、七千六十二、七千六十三、七千六十四、七千六十五、七千六十六、七千六十七、七千六十八、七千六十九、七千七十、七千七十一、七千七十二、七千七十三、七千七十四、七千七十五、七千七十六、七千七十七、七千七十八、七千七十九、七千八十、七千八十一、七千八十二、七千八十三、七千八十四、七千八十五、七千八十六、七千八十七、七千八十八、七千八十九、七千九十、七千九十一、七千九十二、七千九十三、七千九十四、七千九十五、七千九十六、七千九十七、七千九十八、七千九十九、八千、八千一、八千二、八千三、八千四、八千五、八千六、八千七、八千八、八千九、八千十、八千十一、八千十二、八千十三、八千十四、八千十五、八千十六、八千十七、八千十八、八千十九、八千二十、八千二十一、八千二十二、八千二十三、八千二十四、八千二十五、八千二十六、八千二十七、八千二十八、八千二十九、八千三十、八千三十一、八千三十二、八千三十三、八千三十四、八千三十五、八千三十六、八千三十七、八千三十八、八千三十九、八千四十、八千四十一、八千四十二、八千四十三、八千四十四、八千四十五、八千四十六、八千四十七、八千四十八、八千四十九、八千五十、八千五十一、八千五十二、八千五十三、八千五十四、八千五十五、八千五十六、八千五十七、八千五十八、八千五十九、八千六十、八千六十一、八千六十二、八千六十三、八千六十四、八千六十五、八千六十六、八千六十七、八千六十八、八千六十九、八千七十、八千七十一、八千七十二、八千七十三、八千七十四、八千七十五、八千七十六、八千七十七、八千七十八、八千七十九、八千八十、八千八十一、八千八十二、八千八十三、八千八十四、八千八十五、八千八十六、八千八十七、八千八十八、八千八十九、八千九十、八千九十一、八千九十二、八千九十三、八千九十四、八千九十五、八千九十六、八千九十七、八千九十八、八千九十九、九千、九千一、九千二、九千三、九千四、九千五、九千六、九千七、九千八、九千九、九千十、九千十一、九千十二、九千十三、九千十四、九千十五、九千十六、九千十七、九千十八、九千十九、九千二十、九千二十一、九千二十二、九千二十三、九千二十四、九千二十五、九千二十六、九千二十七、九千二十八、九千二十九、九千三十、九千三十一、九千三十二、九千三十三、九千三十四、九千三十五、九千三十六、九千三十七、九千三十八、九千三十九、九千四十、九千四十一、九千四十二、九千四十三、九千四十四、九千四十五、九千四十六、九千四十七、九千四十八、九千四十九、九千五十、九千五十一、九千五十二、九千五十三、九千五十四、九千五十五、九千五十六、九千五十七、九千五十八、九千五十九、九千六十、九千六十一、九千六十二、九千六十三、九千六十四、九千六十五、九千六十六、九千六十七、九千六十八、九千六十九、九千七十、九千七十一、九千七十二、九千七十三、九千七十四、九千七十五、九千七十六、九千七十七、九千七十八、九千七十九、九千八十、九千八十一、九千八十二、九千八十三、九千八十四、九千八十五、九千八十六、九千八十七、九千八十八、九千八十九、九千九十、九千九十一、九千九十二、九千九十三、九千九十四、九千九十五、九千九十六、九千九十七、九千九十八、九千九十九、一萬、一萬一、一萬二、一萬三、一萬四、一萬五、一萬六、一萬七、一萬八、一萬九、一萬十、一萬十一、一萬十二、一萬十三、一萬十四、一萬十五、一萬十六、一萬十七、一萬十八、一萬十九、一萬二十、一萬二十一、一萬二十二、一萬二十三、一萬二十四、一萬二十五、一萬二十六、一萬二十七、一萬二十八、一萬二十九、一萬三十、一萬三十一、一萬三十二、一萬三十三、一萬三十四、一萬三十五、一萬三十六、一萬三十七、一萬三十八、一萬三十九、一萬四十、一萬四十一、一萬四十二、一萬四十三、一萬四十四、一萬四十五、一萬四十六、一萬四十七、一萬四十八、一萬四十九、一萬五十、一萬五十一、一萬五十二、一萬五十三、一萬五十四、一萬五十五、一萬五十六、一萬五十七、一萬五十八、一萬五十九、一萬六十、一萬六十一、一萬六十二、一萬六十三、一萬六十四、一萬六十五、一萬六十六、一萬六十七、一萬六十八、一萬六十九、一萬七十、一萬七十一、一萬七十二、一萬七十三、一萬七十四、一萬七十五、一萬七十六、一萬七十七、一萬七十八、一萬七十九、一萬八十、一萬八十一、一萬八十二、一萬八十三、一萬八十四、一萬八十五、一萬八十六、一萬八十七、一萬八十八、一萬八十九、一萬九十、一萬九十一、一萬九十二、一萬九十三、一萬九十四、一萬九十五、一萬九十六、一萬九十七、一萬九十八、一萬九十九、二萬、二萬一、二萬二、二萬三、二萬四、二萬五、二萬六、二萬七、二萬八、二萬九、二萬十、二萬十一、二萬十二、二萬十三、二萬十四、二萬十五、二萬十六、二萬十七、二萬十八、二萬十九、二萬二十、二萬二十一、二萬二十二、二萬二十三、二萬二十四、二萬二十五、二萬二十六、二萬二十七、二萬二十八、二萬二十九、二萬三十、二萬三十一、二萬三十二、二萬三十三、二萬三十四、二萬三十五、二萬三十六、二萬三十七、二萬三十八、二萬三十九、二萬四十、二萬四十一、二萬四十二、二萬四十三、二萬四十四、二萬四十五、二萬四十六、二萬四十七、二萬四十八、二萬四十九、二萬五十、二萬五十一、二萬五十二、二萬五十三、二萬五十四、二萬五十五、二萬五十六、二萬五十七、二萬五十八、二萬五十九、二萬六十、二萬六十一、二萬六十二、二萬六十三、二萬六十四、二萬六十五、二萬六十六、二萬六十七、二萬六十八、二萬六十九、二萬七十、二萬七十一、二萬七十二、二萬七十三、二萬七十四、二萬七十五、二萬七十六、二萬七十七、二萬七十八、二萬七十九、二萬八十、二萬八十一、二萬八十二、二萬八十三、二萬八十四、二萬八十五、二萬八十六、二萬八十七、二萬八十八、二萬八十九、二萬九十、二萬九十一、二萬九十二、二萬九十三、二萬九十四、二萬九十五、二萬九十六、二萬九十七、二萬九十八、二萬九十九、三萬、三萬一、三萬二、三萬三、三萬四、三萬五、三萬六、三萬七、三萬八、三萬九、三萬十、三萬十一、三萬十二、三萬十三、三萬十四、三萬十五、三萬十六、三萬十七、三萬十八、三萬十九、三萬二十、三萬二十一、三萬二十二、三萬二十三、三萬二十四、三萬二十五、三萬二十六、三萬二十七、三萬二十八、三萬二十九、三萬三十、三萬三十一、三萬三十二、三萬三十三、三萬三十四、三萬三十五、三萬三十六、三萬三十七、三萬三十八、三萬三十九、三萬四十、三萬四十一、三萬四十二、三萬四十三、三萬四十四、三萬四十五、三萬四十六、三萬四十七、三萬四十八、三萬四十九、三萬五十、三萬五十一、三萬五十二、三萬五十三、三萬五十四、三萬五十五、三萬五十六、三萬五十七、三萬五十八、三萬五十九、三萬六十、三萬六十一、三萬六十二、三萬六十三、三萬六十四、三萬六十五、三萬六十六、三萬六十七、三萬六十八、三萬六十九、三萬七十、三萬七十一、三萬七十二、三萬七十三、三萬七十四、三萬七十五、三萬七十六、三萬七十七、三萬七十八、三萬七十九、三萬八十、三萬八十一、三萬八十二、三萬八十三、三萬八十四、三萬八十五、三萬八十六、三萬八十七、三萬八十八、三萬八十九、三萬九十、三萬九十一、三萬九十二、三萬九十三、三萬九十四、三萬九十五、三萬九十六、三萬九十七、三萬九十八、三萬九十九、四萬、四萬一、四萬二、四萬三、四萬四、四萬五、四萬六、四萬七、四萬八、四萬九、四萬十、四萬十一、四萬十二、四萬十三、四萬十四、四萬十五、四萬十六、四萬十七、四萬十八、四萬十九、四萬二十、四萬二十一、四萬二十二、四萬二十三、四萬二十四、四萬二十五、四萬二十六、四萬二十七、四萬二十八、四萬二十九、四萬三十、四萬三十一、四萬三十二、四萬三十三、四萬三十四、四萬三十五、四萬三十六、四萬三十七、四萬三十八、四萬三十九、四萬四十、四萬四十一、四萬四十二、四萬四十三、四萬四十四、四萬四十五、四萬四十六、四萬四十七、四萬四十八、四萬四十九、四萬五十、四萬五十一、四萬五十二、四萬五十三、四萬五十四、四萬五十五、四萬五十六、四萬五十七、四萬五十八、四萬五十九、四萬六十、四萬六十一、四萬六十二、四萬六十三、四萬六十四、四萬六十五、四萬六十六、四萬六十七、四萬六十八、四萬六十九、四萬七十、四萬七十一、四萬七十二、四萬七十三、四萬七十四、四萬七十五、四萬七十六、四萬七十七、四萬七十八、四萬七十九、四萬八十、四萬八十一、四萬八十二、四萬八十三、四萬八十四、四萬八十五、四萬八十六、四萬八十七、四萬八十八、四萬八十九、四萬九十、四萬九十一、四萬九十二、四萬九十三、四萬九十四、四萬九十五、四萬九十六、四萬九十七、四萬九十八、四萬九十九、五萬、五萬一、五萬二、五萬三、五萬四、五萬五、五萬六、五萬七、五萬八、五萬九、五萬十、五萬十一、五萬十二、五萬十三、五萬十四、五萬十五、五萬十六、五萬十七、五萬十八、五萬十九、五萬二十、五萬二十一、五萬二十二、五萬二十三、五萬二十四、五萬二十五、五萬二十六、五萬二十七、五萬二十八、五萬二十九、五萬三十、五萬三十一、五萬三十二、五萬三十三、五萬三十四、五萬三十五、五萬三十六、五萬三十七、五萬三十八、五萬三十九、五萬四十、五萬四十一、五萬四十二、五萬四十三、五萬四十四、五萬四十五、五萬四十六、五萬四十七、五萬四十八、五萬四十九、五萬五十、五萬五十一、五萬五十二、五萬五十三、五萬五十四、五萬五十五、五萬五十六、五萬五十七、五萬五十八、五萬五十九、五萬六十、五萬六十一、五萬六十二、五萬六十三、五萬六十四、五萬六十五、五萬六十六、五萬六十七、五萬六十八、五萬六十九、五萬七十、五萬七十一、五萬七十二、五萬七十三、五萬七十四、五萬七十五、五萬七十六、五萬七十七、五萬七十八、五萬七十九、五萬八十、五萬八十一、五萬八十二、五萬八十三、五萬八十四、五萬八十五、五萬八十六、五萬八十七、五萬八十八、五萬八十九、五萬九十、五萬九十一、五萬九十二、五萬九十三、五萬九十四、五萬九十五、五萬九十六、五萬九十七、五萬九十八、五萬九十九、六萬、六萬一、六萬二、六萬三、六萬四、六萬五、六萬六、六萬七、六萬八、六萬九、六萬十、六萬十一、六萬十二、六萬十三、六萬十四、六萬十五、六萬十六、六萬十七、六萬十八、六萬十九、六萬二十、六萬二十一、六萬二十二、六萬二十三、六萬二十四、六萬二十五、六萬二十六、六萬二十七、六萬二十八、六萬二十九、六萬三十、六萬三十一、六萬三十二、六萬三十三、六萬三十四、六萬三十五、六萬三十六、六萬三十七、六萬三十八、六萬三十九、六萬四十、六萬四十一、六萬四十二、六萬四十三、六萬四十四、六萬四十五、六萬四十六、六萬四十七、六萬四十八、六萬四十九、六萬五十、六萬五十一、六萬五十二、六萬五十三、六萬五十四、六萬五十五、六萬五十六、六萬五十七、六萬五十八、六萬五十九、六萬六十、六萬六十一、六萬六十二、六萬六十三、六萬六十四、六萬六十五、六萬六十六、六萬六十七、六萬六十八、六萬六十九、六萬七十、六萬七十一、六萬七十二、六萬七十三、六萬七十四、六萬七十五、六萬七十六、六萬七十七、六萬七十八、六萬七十九、六萬八十、六萬八十一、六萬八十二、六萬八十三、六萬八十四、六萬八十五、六萬八十六、六萬八十七、六萬八十八、六萬八十九、六萬九十、六萬九十一、六萬九十二、六萬九十三、六萬九十四、六萬九十五、六萬九十六、六萬九十七、六萬九十八、六萬九十九、七萬、七萬一、七萬二、七萬三、七萬四、七萬五、七萬六、七萬七、七萬八、七萬九、七萬十、七萬十一、七萬十二、七萬十三、七萬十四、七萬十五、七萬十六、七萬十七、七萬十八、七萬十九、七萬二十、七萬二十一、七萬二十二、七萬二十三、七萬二十四、七萬二十五、七萬二十六、七萬二十七、七萬二十八、七萬二十九、七萬三十、七萬三十一、七萬三十二、七萬三十三、七萬三十四、七萬三十五、七萬三十六、七萬三十七、七萬三十八、七萬三十九、七萬四十、七萬四十一、七萬四十二、七萬四十三、七萬四十四、七萬四十五、七萬四十六、七萬四十七、七萬四十八、七萬四十九、七萬五十、七萬五十一、七萬五十二、七萬五十三、七萬五十四、七萬五十五、七萬五十六、七萬五十七、七萬五十八、七萬五十九、七萬六十、七萬六十一、七萬六十二、七萬六十三、七萬六十四、七萬六十五、七萬六十六、七萬六十七、七萬六十八、七萬六十九、七萬七十、七萬七十一、七萬七十二、七萬七十三、七萬七十四、七萬七十五、七萬七十六、七萬七十七、七萬七十八、七萬七十九、七萬八十、七萬八十一、七萬八十二、七萬八十三、七萬八十四、七萬八十五、七萬八十六、七萬八十七、七萬八十八、七萬八十九、七萬九十、七萬九十一、七萬九十二、七萬九十三、七萬九十四、七萬九十五、七萬九十六、七萬九十七、七萬九十八、七萬九十九、八萬、八萬一、八萬二、八萬三、八萬四、八萬五、八萬六、八萬七、八萬八、八萬九、八萬十、八萬十一、八萬十二、八萬十三、八萬十四、八萬十五、八萬十六、八萬十七、八萬十八、八萬十九、八萬二十、八萬二十一、八萬二十二、八萬二十三、八萬二十四、八萬二十五、八萬二十六、八萬二十七、八萬二十八、八萬二十九、八萬三十、八萬三十一、八萬三十二、八萬三十三、八萬三十四、八萬三十五、八萬三十六、八萬三十七、八萬三十八、八萬三十九、八萬四十、八萬四十一、八萬四十二、八萬四十三、八萬四十四、八萬四十五、八萬四十六、八萬四十七、八萬四十八、八萬四十九、八萬五十、八萬五十一、八萬五十二、八萬五十三、八萬五十四、八萬五十五、八萬五十六、八萬五十七、八萬五十八、八萬五十九、八萬六十、八萬六十一、八萬六十二、八萬六十三、八萬六十四、八萬六十五、八萬六十六、八萬六十七、八萬六十八、八萬六十九、八萬七十、八萬七十一、八萬七十二、八萬七十三、八萬七十四、八萬七十五、八萬七十六、八萬七十七、八萬七十八、八萬七十九、八萬八十、八萬八十一、八萬八十二、八萬八十三、八萬八十四、八萬八十五、八萬八十六、八萬八十七、八萬八十八、八萬八十九、八萬九十、八萬九十一、八萬九十二、八萬九十三、八萬九十四、八萬九十五、八萬九十六、八萬九十七、八萬九十八、八萬九十九、九萬、九萬一、九萬二、九萬三、九萬四、九萬五、九萬六、九萬七、九萬八、九萬九、九萬十、九萬十一、九萬十二、九萬十三、九萬十四、九萬十五、九萬十六、九萬十七、九萬十八、九萬十九、九萬二十、九萬二十一、九萬二十二、九萬二十三、九萬二十四、九萬二十五、九萬二十六、九萬二十七、九萬二十八、九萬二十九、九萬三十、九萬三十一、九萬三十二、九萬三十三、九萬三十四、九萬三十五、九萬三十六、九萬三十七、九萬三十八、九萬三十九、九萬四十、九萬四十一、九萬四十二、九萬四十三、九萬四十四、九萬四十五、九萬四十六、九萬四十七、九萬四十八、九萬四十九、九萬五十、九萬五十一、九萬五十二、九萬五十三、九萬五十四、九萬五十五、九萬五十六、九萬五十七、九萬五十八、九萬五十九、九萬六十、九萬六十一、九萬六十二、九萬六十三、九萬六十四、九萬六十五、九萬六十六、

八、宗教史

校定 增鏡新釋	一	永井一孝 竹野長次	大七	三版	三十三
近古小說解題	一	平出鏗二郎	明四十二		三十三
五山文學小史	一	上村觀光	三十九		三十三
連俳小史	一	佐々政一	三十		三十三、四十九
補增日本俳諧史	一	池田秋旻 牧野望東			三十三、四十四
俳諧年表	一	星野麥人	三十四		三十三、四十四
中世に於ける社寺と社會との關係	一	平泉澄	大十五		二十八、三十三
鎌倉武士と禪	一	鷲尾順敬	六		二十八
眞宗全史	一	村上專精			二十八、三十三—三十五
親鸞聖人傳	一	佐々木月樵	明四十五	四版	二十八
史上の親鸞	一	中澤見明	大十一		二十八
親鸞聖人	一	本多辰治郎	十一		二十八
見眞大師	一	大谷光瑞	十二	七版	二十八
親鸞聖人筆跡之研究	一	辻善之助	九		二十八
大聖日蓮正傳	一	日蓮宗史書編纂會	六		二十八
寧樂刊經史	一	大屋德城	十二		二十八
日本西教史	二	太政官翻譯係	明十三	大正二、三年再版	三十六、三十九

一、一般史

切支丹文學抄	一	村岡典嗣	大十四		三十六、三十九

第六　近世史

書名	册	著者	發行年次	備考	對照
德川十五代史	十一	內藤耻叟	明二十六	大正十年增補刊國史總論合冊	四十—五十二
日本近世史（第一卷上册ノ一）	一	內田銀藏	三十六		三十六、四十二
大日本時代史德川	二	池田晃淵	大四、五		四十—四十三、四十七、四十九
江戶時代史前期	一	栗田元次	六、七	國史講習錄	四十—四十六
江戶時代史後期	一	龍居松之助	六、七	國史講習錄	四十七、四十九
近世の日本	一	內田銀藏	八		四十—五十二
近世日本國民史	十五	德富猪一郎	十一	續刊中	四十—四十四、四十七、四十九
綜合日本史大系江戶時代前期	一	栗田元次	昭二		四十—四十七
綜合日本史大系江戶時代後期	一	龍居松之助	大十五		四十七—五十
德川政教考	一	吉田東伍	明二十七		四十—四十四、四十七、四十九—五十二
德川三百年史（中下）	二	長田權次郎	三十六、三十八	上卷未刊	四十四、四十八、五十

大日本時代史幕末	大四		國史講習錄	五十一、五十二
大日本時代史維新	四		國史講習錄	五十一
幕末維新史前期	大六、七	岡部精一	國史講習錄	五十二
幕末維新史後期	六、七	藤井甚太郎		五十一、五十二
王政復古の歷史	七	萩野由之		五十一、五十二
幕末史の研究	十五	井野邊茂雄		四十、四十一
明治維新史講話	十五	藤井甚太郎		四十一、四十五
幕末史概說	昭二	井野邊茂雄		五十一、五十二
關ヶ原合戰圖志	一	神谷道一		四十
日本戰史關ヶ原役	明二十五	參謀本部		四十
關ヶ原戰爭に就て	二十六	上參次		四十
日本戰史大坂役	大三	參謀本部		四十
德川盛世錄	明三十	三上參次		四十—四十三
大奥の女中	二十二	池田晃淵		四十—四十三
德川加除封錄	二十七	清田默		四十、四十一
三百諸侯	二十四	戶川安宅		四十一、四十五
日本藩史	一	北川舜治		四十一、四十五

舊藩時代に於ける社會制度	一	岡山縣內務部	大四	
世界に於ける日本人	一	渡邊修次郎	明三十	再版
日蘭三百年の親交	一	村上直次郎	大三	四十二、四十三、四十八、五十、五十二
幕府時代の長崎	一	荒木周道	明三十六	四十二、四十三、五十一
異國日記抄	一	村上直次郎	四十四	四十二
伊達政宗歐南遣使考	一	平井希昌	二十四	四十二
伊達政宗歐南遣使始末	一	堀田信直	大元	四十二
江戶幕府鎖國史論	一	中村孝也	三	四十二
德川家光	一	芳賀八彌	明三十	四十一
山田長政遠羅偉績	一	森貞次郎	二十	四十二
山田長政事蹟合考	一	寺崎遊譯	二十九	英人サトウ著 四十二
臺灣史	一	山崎繁樹	昭二	四十二
原城耶蘇亂記稿	一	金井俊行	明二十五	四十二
切支丹一揆	一	武藤虎太	三十	四十二
臺灣開創鄭成功	一	丸山正彥	二十八	四十二
慶安小史	一	中根淑	九	四十一
伊達騷動實錄	一	大槻文彥		四十三

津田永忠君年譜	一	木畑道夫	明四十一	再版 四十三、四十四
元祿時代觀	一	中村孝也	大八 十	再版 四十三
柳澤吉保	一	林桑和	明四十二	三十版 四十三
赤穗義士實談	一	信夫龍誠	四十二	再版 四十三
元祿快擧錄	一	福本玄誠	四十三	四十三
元祿快擧別錄	一	三田村玄誠	大三	四十三
元祿快擧眞相錄	一	福本雄磐	明四十二	四十四
加賀松雲公	三	近藤磐雄	四十二	四十四
松雲公小傳	一	藤岡作太郎	四十四	四十四、四十四
白石先生年譜	一	三田葆光	十四 二十七	四十三、四十四
新井白石	一	山路愛山	二十七	四十三、四十四
新井白石	一	足立四郎吉	三十	四十三、四十四
新井白石	一	上田萬年	大六	四十三、四十四
新井白石關係文獻總覽	一	東京市立日比谷圖書館	十五	四十三、四十四
田沼時代	一	辻善之助	四	四十七
印旛沼經緯記	二	織田完之	明二十六	四十七、四十九
竹內式部君事蹟考	一	星野恒	三十二	四十七

山縣大貳傳	一	今村亮	明二十	四十七
山縣大貳傳	一	中山正俊	三十	四十七
鷹山公世紀	一	池田成章	三十九	四十七
上杉鷹山公の農政	一	齋藤圭助	大九	四十七
荏戶大華翁傳	一	杉原謙	明三十一	四十七
銀臺公	一	池邊義象	四十	四十七
白河樂翁と德川時代	一	上參次	二十四	四十九
伊能忠敬	一	大谷亮吉	大六	四十九
華山研究	一	土井禮	明四十二	四十九
大鹽平八郎	一	幸田成友	四十三	四十九
慶弘紀聞	四	安田照次	四	五十一、五十二
尊攘紀事	四	岡千仞	十五	五十一、五十二
三十年史	一	木村芥舟	二十五	五十一、五十二
幕府衰亡論	一	福地源一郎	二十五	五十一、五十二
開國起源	三	勝安芳	二十六	五十二
幕末小史	三	戶川殘花	三十一、三十二	五十二
大日本維新史	一	重野安繹	三十二	五十二
七年史	二	北原雅長	三十七	五十二

側面觀幕末史	一	櫻木章伍	三十八	五十二	五十二
維新史八講	一	吉田東省	四十三	五十一、五十二	五十二
大政紀要	一	宮內省	大元明三十一	五十二	五十二
熾仁親王行實	十五	宮內	三十四	五十二	五十二
三條實美公年譜	三十	宮內省圖書寮		五十二	五十二
岩倉公實紀			三十八	五十一、五十二	五十二
姉小路公知傳	一	關博直	大七	五十一、五十二	五十二
德川慶喜公傳	八	澁澤榮一	大七	五十一	五十二
懷舊記事	一	濱野章吉	明三十二	五十一	五十二
阿部正弘事蹟	一	渡邊修二郎	四十三	五十一	五十二
日本外交の先覺堀田閣老傳	一	佐藤顯理	四十一	五十一、五十二	五十二
開國始末	一	島田三郎	二十	五十一	五十二
井伊大老と開港	一	中村勝麿	四十二	五十一	五十二
至誠の人井伊大老	二	中村勝麿	大十	五十一	五十二
史學研究錄	一	中村勝麿	昭二	五十一	五十二
川路聖謨之生涯	一	川路寬堂	明三十六	五十一	五十二
勝伯昔日譚	一	高木豐太郎	三十二	五十一	五十二

再版

勝海舟	一	山路彌吉	明三十二	五十二	五十二
山岡鐵舟	一	佐倉孫三	二十六	五十一、五十二	五十二
再夢紀事	一	中根雪江	大十一	五十一、五十二	五十二
昨夢紀事	二	中根雪江	明二十九	五十一、五十二	五十二
京都守護職始末	一	山川浩	四十四	五十二	五十二
幕末政治家	一	福地源一郎	三十三	五十一、五十二	五十二
照國公感舊錄	一	國光社	三十二	五十一、五十二	五十二
島津齊彬公傳	一	鹿兒島縣教育會	大十三	五十一、五十二	五十二
島津久光公實紀	八	島津侯爵家編輯所	明四十四	五十一、五十二	五十二
藤田東湖傳	一	菊池謙二郎	三十二	五十一	五十二
佐久間象山	一	象山先生遺跡表彰會	大五	五十一—五十二	五十二
吉田松陰	一	德富猪一郎	明二十六	五十一	五十二
高杉晉作	一	渡邊修二郎	三十	五十二	五十二
木戶孝允	一	無何有鄉主人	三十	五十二	五十二
松陰影	一	足立荒人	三十	五十二	五十二
松菊木戶公傳	三	木戶公傳編纂會	昭二	五十二	五十二
西鄉隆盛傳	五	勝田孫彌	明二十七、二十八	五十二	五十二
西鄉南洲先生	一	德富猪一郎	大十五	五十二	五十二

大久保利通傳	一	勝田孫彌	明四十三、四十四	五十二
大久保甲東先生	一	德富猪一郎	昭二	五十二
後藤象次郎	一	岩崎英重	明三十一	五十二
板垣退助君傳	一	栗原亮一	二十六	五十二
大村益次郎先生傳	一	村田峯次郎	二十五	五十二
大隈伯昔日譚	一	圓城寺清	二十八	五十二
大隈侯八十五年史	四		大十五	五十二
伊藤博文	一	民友社	明二十九	五十二
藤侯實歷	一	大橋乙羽	三十三	五十二
井上伯傳	九	中原邦平	四十	五十二
懷舊記事山縣有朋	五		三十一	五十二
土方伯	一	巷原柳次郎	大三	五十二
伯爵後藤象二郎	一	大町芳衛	三	五十二
殉難錄稿		川田剛	明二十六、三十	五十一、五十二
幕末實戰史	一	大鳥圭介	四十四	五十二
海軍歷史	九	勝安芳	二十二	五十一、五十二
陸軍歷史	一	勝安芳		

維新前後に於ける立憲思想	一	尾佐竹猛	大十四	五十一
開國起源 安政記事	一	内藤耻叟	明二十一	五十一
日本憲法制定史	一	藤井甚太郎	大十一	五十一
幕末外交談	四	田邊太一	明三十一	五十一、五十二
開國大勢史	一	大隈重信	大二	五十一、五十二
日本最近外交史	一	齋藤文藏	六、七	五十一、五十二
國際法より見たるペルリ提督日本遠征記	一	尾佐竹猛	昭二	五十一、五十二
維新秘史 日米外交の眞相	一	鈴木周作	明四十五	五十一
横濱外交五十年史	二	生駒粂藏	大二	五十一
神戸開港三十年史	二	横濱商業會議所編	明四十二	五十一、五十二
ガローニン日本幽囚實記	一	村田誠治	三十一	五十二
日魯交涉 北海道史稿	一	岡本柳之助	三十一	ガローニン著 五十一、五十二
江戸舊事考	七	江戸會	明二十四	四十一
法制を中心としたる江戸時代史論	一	吳文炳	大七	四十一
江戸時代制度の研究、上	一	松平太郎	八	下未刊
德川時代の文學と私法	一	中田薰	十二	四十一

四、經濟史

一	德川幕府縣治要略	安藤博	大四	四十一
一	田地割制度	石黑信基	明四十三	四十一
一	五人組制度	穗積陳重	三十五	四十五
一	江戶の自治制	後藤新平	大十一	四十五、四十六
一	德川禁令考	池駿助	明二十八	四十一五十三
四	德川禁令考後聚	菊池駿助	二十八	四十一、四十七
一	吹塵錄三	安藤芳	二十三	四十五、四十六
一	日本經濟史	瀧本誠一	大九	四十五、四十六
一	日本經濟學說の要領	瀧本誠一	明四十一	四十四、四十六
一	我國資本家階級の發達と資本主義的精神	圓谷弘	大九	四十六
一	經濟思想の研究	中村孝也	十二	四十四、四十六
一	元祿時代の經濟學的研究	山本勝太郎	十四	四十四、四十六
一	日本鑄工史稿	香取秀眞	三	四十六
一	日本近世窯業史	大日本窯業協會		四十六
一	西陣研究	本庄榮治郎	三	四十六
一	德川氏貨幣志	齋藤坦藏	明二十一	四十六
一	舊金銀貨幣價格表	大藏省		四十六

五、社會史

八	大阪市史	大阪市參事會	大二、四	四十六
一	大阪文化史論	大阪市民博物館	十三	四十四、四十六
十	名古屋市史	名古屋市役所	四、五	四十六
九	神戶市史	神戶市役所	十三、十四	四十六
四	廣島市史	廣島市役所	十一	四十六
一	長崎三百年間	福地源一郎	明三十五	四十二、四十六
一	德川初期の海外貿易家	川島元次郎	大五	四十二、四十八、五十
一	和蘭及外國關係圖書竝物品目錄	杉浦利舉	十	四十五、四十七
一	德川時代の農家經濟	小野武夫	十五	四十五、四十七
一	德川幕府の米價調節	本庄榮治郎	十三	四十七
一	東京廻米問屋市場沿革	東京廻米問屋市場	七	四十六、四十七
一	大阪堂島米商沿革	堂島取引所	明二十六	四十六、四十七
一	足利織物沿革志	荒川宗四郎	三十五	四十六、四十七
一	近世農村問題史論	本庄榮治郎	大十四	四十七
一	日本村落史考	小野武夫	十五	四十六
一	農民經濟史研究	小野武夫	十三	四十五、四十六
一	百姓一揆叢談	小野武夫	昭二	四十七

六、文化史
七、學術史

一	鄉土制度の研究	小野武夫	大十四	一
一	敵討	平出鏗二郎	明四十二	一
一	本朝新聞史	朝倉龜三	四十四	一
一	日本新聞發達史	小野秀雄	大十一	一
一	日本文化史江戶時代前期	白澤清人	十二	一
一	日本文化史江戶時代後期	清原貞雄	十二	一
一	近世文學史論	內藤虎次郎	明三十	一
一	近世儒學史	久保得二	四十	一
一	近世儒家人物誌	村松志孝	大三	一
一	近世儒林年表	內野五郎三	明四十四	一
一	日本朱子學派之哲學	井上哲次郎	三十八	一
一	水戶學	高橋義雄	大五	一
一	水戶義公傳	佐藤進	明四十四	一
一	野中兼山先生傳	細川潤次郎	八	一
一	南海之偉業	松野尾儀	二十六	一
一	野中兼山	辻重忠吉	四十四	一
一	賴杏坪先生傳	重田定一	四十一	一

再版

五	重豐公紀聞	小野武夫	四十五	四
一	日本國民思想史	平出鏗二郎	四十三	四
一	日本新聞史	小野秀雄	四十四	四
一	日本文化史江戶時代前期	白澤清人	四十四	四
一	日本文化史江戶時代後期	清原貞雄	四十八、五十	四
一	近世文學史論	內藤虎次郎	四十四、四十八、五十	四
一	近世儒學史	久保得二	四十四、四十八、五十	四
一	近世儒家人物誌	村松志孝	四十四、四十八、五十	四
一	近世儒林年表	內野五郎三	四十四、四十八、五十	四
一	水戶學	高橋義雄	四十四、五十	四
一	野中兼山傳	辻重忠吉	四十四	四
一	南海之偉業	松野尾儀	四十四	四
一	野中兼山傳	辻重忠吉	四十四	五

一	賴山陽大觀	坂本箕山	大十四	一
一	隨筆賴山陽	市島春城	大十四	一
一	賴山陽	富猪一郎	十五	一
一	日本陽明學派之哲學	井上哲次郎	明三十三	一
一	日本之陽明學（改訂）	高瀨武次郎	四十	一
一	蕃山先生年譜	片山重範	二十三	一
一	蕃山考	井上通泰	三十五	一
一	續蕃山	井上通泰	三十六	一
一	日本古學派之哲學	井上哲次郎	三十五	一
一	六大先哲	帝國教育會	四十二	一
一	古學小傳	宮崎堅	十九	一
一	清三遷史	中野虎三	三十	一
一	國學者傳記集成	大川茂雄	三十七	一
一	南慶長以來國學者史傳	逸見仲三郎	大十五	一
一	契沖阿闍梨	大町桂月	明三十	一
一	賀茂眞淵	武島又次郎	三十一	一
一	賀茂眞淵と本居宣長	佐々木信綱	大六	一

再版

五	山陽大觀	坂本箕山	大十四	四
五	隨筆賴山陽	市島春城	大十四	四
五	賴山陽	富猪一郎	十五	四
四十四、四十八、五十	日本陽明學派之哲學	井上哲次郎	明三十三	四
四十四、四十八、五十	日本之陽明學（改訂）	高瀨武次郎	四十	四
四十三、四十四	蕃山先生年譜	片山重範	二十三	四
四十四	蕃山考	井上通泰	三十五	四
四十四	續蕃山	井上通泰	三十六	四
四十四	日本古學派之哲學	井上哲次郎	三十五	四
四十四、四十八	六大先哲	帝國教育會	四十二	四
四十四、四十八、五十	古學小傳	宮崎堅	十九	四
四十四、四十八、五十	清三遷史	中野虎三	三十	四
四十四、四十八、五十	國學者傳記集成	大川茂雄	三十七	四
四十四、四十八、五十	南慶長以來國學者史傳	逸見仲三郎	大十五	四
四十四	契沖阿闍梨	大町桂月	明三十	四
四十八	賀茂眞淵	武島又次郎	三十一	四
四十八	賀茂眞淵と本居宣長	佐々木信綱	大六	四

本居雜考	二	本居豐穎	明三十七
本居宣長	一	村岡典嗣	四十四
本居宣長之哲學	一	田中義能	四十五
平田篤胤之哲學	一	田中義能	四十二
近世史の發展と國學者の運動	一	竹岡勝也	昭二
勤王論之發達	一	本多辰次郎	大五
日本洋學年表	一	大槻如電	明十
新撰洋學年表	一	大槻如電	昭二
新學の先驅	一	土屋元作	明四十五
蘭化先生	一	倉重治作	二十七
磐水存響	二	大槻茂雄	大元
シーボルト先生渡來百年記念論文集	一	シーボルト先生渡來百年記念會	十三
シーボルト先生	一	吳秀三	大二
高島秋帆先生傳	一	細川潤次郎	明二十七
箕作阮甫	二	吳秀三	十五
佐藤信淵翁傳	一	飯村丈三郎	大二
村上英俊先生傳	一	土屋政朝	明二十六

吉益東洞先生	一	吳秀三	大七
塙檢校詳傳	二	埼玉縣教育會	五
古版地誌解題	一	和田萬吉	五
嵯峨本考	一	和田維四郎	明三十七
日本教育史資料	九	文部省	明三十七
日本近世教育史	一	横山達三	三十七
本願寺派學事史	一	前田慧雲	三十四
隱元木庵即非	一	高橋竹迷	大五
切支丹宗門の迫害と潛伏	一	姉崎正治	十四
近世國文學史	一	佐々政一	明四十四
日本文學者年表	一	赤堀又次郎	三十五
日本文學者年表續編	一	森治藏	大八
江戸文學研究	一	藤井乙男	十
上方文學と江戸文學	一	藤村作	十一
醒雪遺稿	一	佐々政一	一八
近世生活と國文學	一	麻生磯次	十二
德川文學と武士生活	一	藤村作	十二

八、宗教史

九、藝術史

東洞全集の內	四十八	
	五十	
	四十四	
	四十四	
	四十四、四十八、五十	
	四十四、四十八、五十	
	四十四	
	四十四	
	四十三	
	四十四、四十八、五十	
昭和二年再版	四十四、四十八、五十	
	四十四、四十八、五十	
	四十四、四十八、五十	

江戸時代戯曲小説通志　四　雙木園主人　明二七
近世列傳體小説史　一　坪内逍遙　三
近代小説史　一　藤岡作太郎　大六
近世日本小説史　二　鈴木敏也　九、十
日本小説年表　一　朝倉無聲　明三九
假名草子（浮世草子）　二　水谷弓彦　大九
井原西鶴　一　角田柳作　明三
西鶴の新研究　一　鈴木敏也　
山東京傳　一　宮武外骨　大五
人情本略史　一　村上靜人　十二
近世和歌史　一　佐々木信綱　十二
俳諧二百年史（評傳）　一　齋藤渓舟　明四十四
北村季吟傳　一　石倉重繼　三十一
俳人鬼貫の研究　一　鈴木重雅　大十五
芭蕉翁傳　一　黒田源次　十一
與謝蕪村　一　大野洒竹　明三十

東圖遺稿第四卷

四十四、四十八、五十
四十四、四十八、五十
四十四、四十八、五十
四十四
四十四、四十八、五十
四十四
四十四
四十四
四十八、五十
四十四、四十八、五十
四十四、四十八、五十
四十四
四十四
四十四
四十八

俳人蕪村　一　正岡子規　明三二
蕉風俳人一茶の生涯及藝術　一　沼波武夫　三八
一茶　一　宮澤喜義　三
寛政の改革と柳樽の改版　一　黒澤隆信　大十一
岡田朝太郎　昭二
淨瑠璃史　一　高野辰之　明三三
繪入淨瑠璃史　三　水谷弓彦　大五
近松門左衛門　一　藤井乙男　明三七
近松之研究　一　坪内雄藏　三三
俗曲評釋　五　綱島榮一郎　四十一、四十四
佐々政一
近世邦樂年表　一　東京音樂學校　四十五
常磐津、富本、清本之部　三七
日本演劇史　一　伊原敏郎　大十五
日本演劇の研究　一　高野辰之　二
近世日本演劇史　一　伊原敏郎　二
歌舞伎劇と其俳優　一　關根默庵　十一
歌舞伎狂言細見　一　飯塚友一郎　十二
芝居繪と豐國及其門下　一　坪内雄藏　九

四十八
四十四
五十
四十八、四十九、五十
四十四、四十八、五十
四十四
四十四
四十四
四十四、四十八、五十
四十八
四十四、四十八、五十
四十四
四十四、四十八、五十
四十四、四十八、五十
五十

市川團十郎の代々	二		伊原青々園		四十四、四十八、五十
增訂改版 河竹默阿彌	一		河竹繁俊	大六	五十
今古史譚	五		樂眞子、後凋生	明二十六	四十三、四十四、四十八、五十
芝居と史實	一		三田村玄龍	四十四	四十四、四十八、五十
近世繪畫史	一		藤岡作太郎	三十六	四十四、四十八、五十
日本近代畫家在世年表	一		和田萬吉	大四	四十四、四十八、五十
宮本武藏	一		宮本武藏遺蹟顯彰會	明四十二	四十四
日本南畫史	一		梅澤精一		四十八、五十
浮世繪	一		藤懸靜也	大十三	四十四、四十八、五十
浮世繪編年史	一		關根只誠	明四十五	四十四、四十八、五十
浮世繪年表	一		漆山天童	大九	四十四、四十八、五十
浮世畫百家傳	一		關根只誠	昭二	四十四、四十八、五十
葛飾北齋傳	二		飯島半十郎	明二十六	五十
日光廟建築論	一		大塚本清三之助	三十六	四十四
名人忌辰錄	二		關根只誠	二十七	四十四、四十八、五十
類聚 近世風俗志	二		喜田川季莊	四十一	四十三、四十五、四十九

近世世相史	一		齋藤隆三	明四十二	
近世女風俗考	一		生川春朗	二十八	
千代田城大奧	二		永島今四郎太田斌雄	二十五	
江戶花街沿革史	二		關根金四郎	二十七	
花街風俗志	一		大久保葩雪	三十九	
大江戶	一		江戶研究會編	大二	
江戶物語	一		和田維四郎	五	
禍筆	一		宮武外骨	明四十四	大正十五年增訂再版

第七　雜纂

書名	冊	著者	發行年次	備考
國史大辭典	二	八代國治	明四十一	增訂縮刷大正二、二冊
國書解題	一	早川純三郎井野邊茂雄	三十	大正十四、五年增訂版六冊
日本百科大辭典	十三	佐村八郎	四十一—大八	增訂第二版明治三十七、增訂第三版明治四十二

日本社會事彙	二	經濟雜誌社	明二十三、二十四	三十四、三十五年再版、四十、四十一年三版、索引附
大日本人名辭書	一	經濟雜誌社	十九	
日本人名辭典	一	芳賀矢一	大三	
法律大辭書	三	同文館	明四十二、四十四	
經濟大辭書	九	同文館	四十四—大五	
農業大辭書	二	同文館	四十四、大元	
工業大辭書	五	同文館	大二	
商業大辭書	四	同文館	明三十九、四十一	
醫學大辭書	二	同文館	四十一	
哲學大辭書	四	同文館	四十五	
佛教辭林	一	藤井宣正補大等學	大元	
佛教大辭彙	三	佛教地理大系刊行會	三—十一	
佛教大辭典	一	織田得能	六	
日本佛家人名辭書	一	鷲尾順敬	明三十五—三十六	
禪宗辭典	一	山田孝道	大四	
秘密辭林	一			

美術辭典	一	黑田結城	大三	
日本畫家大辭典	一	井田胤明	二	四版
日本建築辭彙	一	柏亭章	明三十九	
大日本地名辭書	七	中村達太郎	三十三—四十	
帝國地名辭典	三	吉田東伍	四十五	
日本農民史語彙	一	太田爲三郎	大十五	
群書索引	三	小野武夫	五	
日本隨筆索引	一	高見物集	明三十四	大正十四年增訂再版
維新史研究資料索引	一	齋藤文藏	大八	
特別保護建造物竝國寶目錄	一	黑板勝美	六	昭和二年增訂改題重版特建國寶目錄
法制經濟社會論文總覽	一	天野敬太郎	昭二	
國史便覽	一	重田定一	明三十一	大正十四年增訂第八版
中村德五郎				國史大辭典附錄
中川正信			三十六	
日本讀史年表	一	大森金五郎	四十一	國史の研究附錄
國史年表	一	黑板勝美	大七	
國史研究年表	一			

四、圖譜

維新後大年表	一	妻木忠太	大三
明治大年表	一	小川煙村	三
增補尙古年表	四	國書刊行會	十四
日本史籍年表（合本）	一	小泉安次郎	明三十六
增訂新式武江年表	一	朝倉無聲	大元
座右年表	一	芳賀矢一	三
江戶年代記	一	磐瀨玄策	明四十二
三正綜覽	二	內務省地理局	十三
奈良縣金石年表	一	奈良縣廳	大五
日本太陽曆年表	上二	高頭仁兵衞	十
沿革考證日本讀史地圖	一	吉田東伍	明三十
新編日本讀史地圖	一	吉田東伍	大六
日本國史地圖	一	原秀四郎	明三十九
歷史科教授用參考掛圖	十二	東京帝國大學文學部史料編纂掛	四十—大八
日本歷史圖錄	四	歷史參考圖刊行會	大十二
日本肖像大觀	二	井上菊治	明四十二

十二年增訂再版

日本歷史評林	一六	萩野由之輯	明二十六
國史論纂	一	國學院	三十六
史學會論叢（第一輯）	一	史學會	三十七
史的研究	一	史學研究會	大三
續史的研究	一	史學研究會	五
奧羽沿革史論	一	日本歷史地理學會	五
尾參遠鄉土史論	一	日本歷史地理學會	六
武相鄉土史論	一	日本歷史地理學會	六
攝津鄉土史論	一	日本歷史地理學會	八
京阪文化史論	一	史學地理學同攷會	九
大阪文化史	一	大阪每日新聞社	十四
上野三碑日光並木街道	一	黑板勝美	十三
栃木に於ける指定史蹟	一	柴田直一	十三
埼玉・茨城・群馬三縣に於ける指定史蹟	一	柴田金吾	十三
栗里先生雜著	三	栗田常惠	十四
復軒雜纂	一	栗田寬	十五
大槻文彥			明三十四—三十五

讀史論集	一	山路愛山	明三十四
史學叢說	二	星野恒	四十二
讀史百話	一	喜田貞吉	四十五
鏡痴集	一	平出鏗二郎	大二
生活と趣味より觀たる日本文明史話	一	吉田東伍	四
史說史話	一	重田定一	五
歷史と人物	一	浦周行	五
史話と文語	一	萩野由之	七
歷史の片影	一	田中義成	九
史話俗談	一	關根正直	十
內田銀藏講論集	一	內田銀藏	十一
日本史の研究	一	三浦周行	十一
國史叢說	一	八代國治	十二
日本歷史地理之研究	一	吉田東伍	十三
人物論叢	一	辻善之助	十四
國史國文の研究	一	和田英松	十五
我が歷史觀	一	平泉澄	十五

誌名	刊行數	編者	創刊年次	備考
史學協會雜誌	月刊	史學協會	明十六年七月	明十九年五月廢刊
史學雜誌	月刊	史學會	明二十二年	
江戶會誌	月刊	江戶會	明二十二年八月	明二十三年十二月廢刊
江戶舊事考	月刊	江戶會	明二十四年	明二十五年三月廢刊
舊事諮問錄	月刊		明二十四年五月	明二十五年七月廢刊
海史	月刊		明二十四年五月	明二十九年七月廢刊
談史	月刊		明二十五年十一月	
論史	月刊		明二十五年十二月	明二十六年四月廢刊
幕府時代	月刊		明三十年四月	明三十四年八月廢刊
舊史學界	月刊		明三十二年一月	明三十七年七月廢刊
日本歷史地理學會			明三十二年	
歷史地理	月刊		明三十三年三月	明三十四年三月廢刊
地理と歷史	月刊	地理歷史學會	明四十四年一月	
東洋學報	年四回刊	東洋協會調查部	明四十四年四月	大三年六月廢刊
佛教史學	月刊	佛教史學會	明四十四年四月	大元年十月廢刊
歷史及地理	月刊	東京史學協會	明四十五年五月	

史學	林　年四回刊	史學研究會	大五年一月	
歷史と地理	月刊	史學地理學同攻會	大六年十一月	
民族と歷史	月刊	喜田貞吉	大八年一月	
中央史壇	月刊	國史講習會	大九年五月	
史學	年四回刊	三田史學會	大十年十月	

大十二年一月社會史研究と改題十三年一月歷史地理と併合

第八　史料

書名	冊	編著者	發行年次	備考
大日本史料第一編	四	東京帝國大學史料編纂掛	大正十五年六月現在	
同　第三編	一	同	同	仁和三年—延喜十八年
同　第四編	十七	同	同	應德三年—寬治四年
同　第五編	五	同	同	文治元年—承久三年
同　第六編	二十二	同	同	承久三年—寬喜二年
同　第八編	十一	同	同	元弘三年—正平十五年
同　第十二編	二十六	同	同	應仁元年—文明十一年
史料綜覽	四	同	大十二—昭二	慶長八年—元和三年
				仁和三年—建長七年

古事類苑	三百六十二	神宮司廳	明二十九—大三	神祇、帝王、武技、姓名、泉貨、稱量、禮式、文學、法律、外交、官位、兵事、天、歲時、遊戲、產業、方技、政治、器用、樂舞、服飾、動物、宗教、封祿、植物、金石、居處、人、地、飲食
廣文庫	二十	物集高見	大五—七	
大日本古文書　編年文書	十五	東京帝國大學史料編纂掛	十五年六月現在	
同　家わけ文書	三十五	同	同	大寶二年—天平寶字六年　高野山、淺野家、伊達家、石清水、相良家、觀心寺、金剛寺、毛利家、吉川家、東寺、嘉永六年—安政四年
同　幕末外國關係文書	二十一	同	同	
史徵墨寶	四帖五冊	修史局	明二十、二十二	
徵古文書	二	黑板勝夫	二十九	
日本各時代古文書寫眞集	四	下村三四吉	大二	
古文書時代鑑	二帙	栗田元次郎	十四、十五	
阿波國徵古雜抄	一	魚澄惣五郎	二	續編二帙刊行中
		小杉榲邨		
		史料編纂掛		

慶元古文書	三		明二十七	續史籍集覽
續修東大寺正倉院文書	六	近藤瓶城	十八	存採叢書
續左丞抄	一		三十三	壬生官務家文書國史大系十二卷所收
八坂神社記錄	一	八坂神社社務所	大十二	八坂神社文書、八坂古文書
宸記集	二	列聖全集編纂會	六	宇多、醍醐、村上、一條、後朱雀、後三條、後鳥羽、順德、後深草、後宇多、伏見、後伏見、後小松、花園等宸記
史料大觀	二	哲學書院	明三十一、三十三	台記、宇槐記抄、台記別記抄
史誌叢書	三十	史學事項取調所	三十—四十一	大館常興日記、同裏書、親元日記、同別錄、親俊日記、晴豐記、晴右記、洞院公定日記、親孝日記、鶴岡社務記錄、玉英記抄、伺事記錄、興福寺年代記
史料通覽	十八	笹川種郎編	大四—七	小右記（藤原實資）中右記（藤原宗忠）水左記（源俊房）帥記（源經信）山槐記（藤原忠親）勘仲記（藤原兼仲）兵範記（平信範）

玉葉	三	九條兼實	明三十九	國書刊行會
明月記	三	藤原定家	四十四	
言繼卿記	四	山科言繼	大三	
春記	一	藤原資房	明四十五	
蔭涼軒日錄	五		大元、二	
本光國師日記	五	崇傳	四—十一	
碧山日錄	五			
空華日工集	三	義堂	明二十七	
臥雲日件錄	二	周鳳	二十七	
御當代記	一	戶田茂睡	大四	
滿濟准后日記	三	三寶院滿濟	七	
續々群書類從記錄	一	國書刊行會	明四十二	續史籍集覽一
			同	同　六—八
			同	同　九、十
			國書刊行會刊	
			京都大學刊行	
			三代御記、貞信公記、九曆（九條師輔）平記（平行親）、高野參詣記（平範國）江記（大江匡房）、平知信記、爲經卿記、冬平公記、匡遠記、北面假	
			國書刊行會刊	
			同	
			丹鶴叢書	
			大日本佛敎全書	
			同	

八坂神社記錄	一	八坂神社社務所	大十二		
群書類從雜部	一	塙保己一編			
改定史籍集覽新加別記	二	近藤宗元	明三十四—三十六		
維新史料日記	五	野史臺	二十大四		
一條忠香日記抄	一				

名記（源康成）、齋藤基恒日記、東大寺法華堂要錄、繼芥記、東大寺繪所日記、惟房公記、天正日記、親綱卿記、九州下向記（是齋重鑑）

祇園執行日記

醍醐寺雜事記（慶延）、祇園執行日記、慶長三年御湯殿上日記等

安倍泰親記、後鳥羽院宸記、良經公記、爲長卿記、順德院御記、季繼記、經光卿記、龜山院凶事記、俊光卿記、仲光卿記、經嗣記、康成記、敎長卿記、資益王公記、在盛卿記、拾芥記、隆長輿記、後奈良院私記、康私記、鶴岡社務記錄、鶴岡事書日記、碧山日錄、孝亮記、忠利記、駒井日記

史籍協會刊

大久保利通日記	二	國史大系	十七	經濟雜誌社	明三十—三十四
續國史大系	十五	經濟雜誌社	三十五、三十七		
群書類從	十九	塙保己一輯	二十七		
續群書類從	六十八	塙保己一輯	三十五		
續々群書類從	十六	國書刊行會	三十九—四十二		
事實文編	五	五弓豐太郎	四十四		
近古文藝 溫知叢書	十二	內藤耻叟	二十四		
史料通信叢書	二十八	小宮山綏介	二十六—三十		
百家說林	十	近藤宗元	二十四—二十五		
百家說林續編	五	今泉定介校正	三十八—四十		
史籍雜纂	五	畠山健	四十四—四十五		
百萬塔	六	國書刊行會	二十四、二十五		
三十輻	四	金港堂	大六		
列聖全集	二十五	太田覃	四—六		
我自刊我叢書	百二	列聖全集編纂會	明十三—十七		
		甫喜山景雄			

昭二

同、本會發行の幕末關係文書日記猶少からず

續刊中

存採叢書	百三十二	近藤圭造	明十八—三十	
史籍集覽	四百五十	近藤瓶城	十四	
續史籍集覽	七十	近藤瓶城	二十七—三十六	
改定史籍集覽	十三	近藤瓶城	三十四—三十六	
新百家說林	六	弘文館	四十、四十一	
珍書文庫 隨筆大觀	六	田邊勝哉 井上賴敎	四十三、四十四	
續燕石十種	二	國書刊行會	四十二	
續帝國文庫	五十	博文館	三十一—三十六	
日本偉人言行資料	二十四	堀田璋左右助	大四—六	
國史叢書（第一期）	三十四	黑川眞道	三—六	
國史叢書（第二期）	十七	矢野太郎	六—十	
好古類纂	十七	好古社	明三十三—三十七	
日本古典全集	百	與謝野寬 與正宗敦夫 與謝野昌子	大十四—	第一期五十卷 第二期五十卷續刊中
國民文庫	三十六	國民文庫刊行會	明四十五—大二	三版
日本隨筆大成	十二	弘文館	昭二—	續刊中

未刊隨筆百種	二十	三田村鳶魚	昭二—	續刊中
續國民文庫	十八	國民文庫刊行會	大三	三版
丹鶴叢書	九	水野忠央	明四十五—大三	
日本國粹全書	二十四	日本國粹全書刊行會	大四—七	
少年必讀 日本文庫	十二	內藤耻叟	明二十四—二十五	
有朋堂文庫	百十六	有朋堂	大二—七	
燕石十種	三	岩本佐七	明四十、四十一	
新燕石十種	五	國書刊行會	四十五、大二	
異國叢書	十二		昭二—	續刊中
日本產業資料大系	十二		大十五—昭二	
日本經濟叢書	三十六	瀧本誠一	三—六	
續日本經濟叢書	三	瀧本誠一	十二	
近世社會經濟叢書	十二	改造社	十五—昭二	
德川時代 商業叢書	三	國書刊行會	二	
日本倫理彙編	十	井上哲次郎 蟹江義丸	明四十一	再版
懷德堂遺書	十五	西村時彥	四十四	
文明源流叢書	三	國書刊行會	大二	

日本教育文庫	十二	同文館	明四十三、四十四	初版—四版
心學叢書	六	赤堀又次郎	三十八—四十二	
國民道德叢書	三	有馬祐政	四十四、四十五	續刊中
皇學叢書	十二	黑川眞道	昭二	
武士道叢書	三	井上哲次郎 有馬祐政	明四十一	三版—七版
神道叢書	八	中島博光 大宮兵馬	二十九—三十一	
神祇全書	五	本居豐穎外三名纂訂	三十九—四十一	
大日本佛教全書	百五十一	佐々木有義編	四十五—大十一	
日本大藏經	五十	佛書刊行會	大四	
國文東方佛教叢書	十	鷲尾順敬	十五—昭二	
信仰叢書	一	國書刊行會	大四	
淨土宗全書	二十	宗書保存會	明四十	
眞宗大系	三十六	眞宗典籍刊行會	大八—十二	
國譯禪宗叢書	十二	國譯禪宗叢書刊行會		
帝國文庫	四十九	博文館	明二十六—三十二十四	
日本文學全書	二十四	萩野由之		

國文大觀	十	本居豐穎	明三十六—三十九	
日本歌學全書	十二	佐々木弘綱	二十三、二十四	
續日本歌學全書	十二	佐々木信綱	三十一—三十二	
歌學文庫	八	松岩雄	四十三—大二	
近世文藝溫知叢書	十二	內藤耻叟	二十四	
新群書類從	十	小宮山綏介	三十九—四十一	
五山文學全集	十	上村觀光	四十三—四十五	
近世文藝叢書	十二	國書刊行會	大三—五	
德川文藝類聚	十二	國書刊行會	五	
江戶時代文藝資料	五	國書刊行會	明三十二—三十四	
俳諧文庫	二十四	博文館	大元	
俳諧叢書	二	佐々政一	十五—	
日本俳書大系	十二	谷季雄	七—九	
藝苑叢書	六十	日本俳書大系刊行會	十五—	續刊中
演劇叢書	四	相見香雄	明四十四	
歌舞伎叢書	一	高野辰之	四十三	
雜藝叢書	二	金港堂編輯部	大四	
		國書刊行會		

（八）家集

故實叢書	百四十	今泉定介	明三十三—三十九	
近世風俗見聞集	四	國書刊行會	大元—二	
大日本地誌大系	十四	日本歷史地理學會	三—六	
大日本名所圖會	二十	原田幹	七—十一	
江戶叢書	十二	江戶叢書刊行會	五—六	
京都叢書	十六	京都叢書刊行會	三—六	
浪速叢書	十六	浪速叢書刊行會	十五—	
維新史料	七十	野史臺	明二十	
樂翁公遺著	三	松平定信	二十六	
崋山全集	二	鈴木清節	三十四	
松陰先生遺著	一	吉田庫三	四十一	
東行先生遺文	一	高杉春太郎	大五	
清川八郎遺著	一	山路愛山	二	
佐藤信淵家學大全	一	佐藤信淵	明三十九	
佐藤信淵家學全集	三	瀧本誠一	大十五	
益軒全集	八	益軒會	明四十三	
新井白石全集	六	國書刊行會	三十八—四十	

續刊中

蒲生君平全集	一	岡部精一	明四十四	
近藤正齋全集	三	三島吉太郎	三十八—三十九	
象山全集	二	國書刊行會	大二	
黑川眞頼全集	六	信濃教育會	明四十三—四十四	
戶田茂睡全集	一	黑川眞道	大四	
契沖全集	十	國書刊行會	十五	
賀茂眞淵全集	六	大阪朝日新聞社	明三十六—三十九	
本居宣長全集	六	國學院編輯部	三十五	
本居宣長稿本全集	二	本居豐穎校訂	大十一—十二	
橘守部全集	十三	本居清造	九—十一	
伴信友全集	五	橘順一	明四十—四十二	
平田篤胤全集	十	國書刊行會	四十—大二	
西川如見遺書	十四	室松岩雄	三十二	
盤水存響	三	西川忠亮	大元	
帆足萬里全集	二十五	大槻茂雄	十五	
傳敎大師全集	九	帆足記念圖書館編	元	
智證大師全集	四	天台宗典刊行會	六—七	
		佛書刊行會	大十五再刊	

書名	著者	冊	刊年	備考
弘法大師全集	祖風宣揚會	六	明四十三	
法然上人全集	黑田眞洞	一	四十一	三版
慈眼大師全集	望月信亨	二	大五十	
芭蕉全集	寬永沼波武夫	一	明四十	
西鶴全集（校訂新釋插圖）	熊谷千代三郎	二	四十三	
近松傑作全集	近松全集	五	大十四—	續刊中
上田秋成全集	藤井乙男	十二	六	
秋成遺文	國書刊行會	二	八	
蜀山人全集	藤井乙男	一	明四十、四十一	
田能村竹田全集	弘文館	六	大五	新百家說林を同
國書刊行會		一		

第九　追加

書名	著者	冊	刊年	對照
先史學研究	長谷部言人	一	昭二	一
日本考古學	後藤守一	一	二	一・四

書名	著者	冊	刊年	對照
神話學概論	西村眞次	一	昭二	二
鑑鏡の研究	梅原末治	一	大十四	三・四
出雲國風土記考證	後藤末四郎	一	昭二	二・十三
奈良朝時代民政經濟の數的研究	澤田吾一	一	同	十一・十二
圖錄繪卷物小釋	松岡映丘	一	同	二十二・二十八
近世日葡通交小史	岩生成一	一	同	三十六・三十九・四十二
國學發達史	清原貞雄	一	同	四十四・四十八・五十

（附錄第二國史文獻目錄終）

附錄第三　圖版讀法

第一　聖徳太子御筆法華義疏

此是大委上宮王私集非海彼本

法華義疏第一

夫妙法蓮華經者、蓋是惣取二萬善一、合爲二一因一之豐田、七百近壽轉成二長遠一之神藥。若論下釋迦如來應二現此土一之大意上者、將欲下宣演二此經教一循二同歸之妙因一、令下得二莫二之大果一。但衆生宿殖善微、神闇根鈍、以下五濁障二於大機一、六弊掩中其慧眼、卒不レ可レ聞二一乘因果之大理一。所以如來、隨二時所レ宜、初就二鹿苑一、開二三乘之別疏一、使レ感二各趣之近果一。從レ此以來、雖下復平說二無相一、勸二同脩一、或明二中道一而褒貶上、猶明二三因別果之相一、養二育物機一。於レ是衆生、歷レ年累レ月、蒙レ教修行、漸々益レ解、至下於二王城一始發中一大乘機上、稱二會如來出世之大意一。是以如來、卽動二万德之嚴軀一、開二眞金之妙口一、廣明二万善同歸之理一、使レ得二莫二之大果一。妙法者、外國云二薩達摩一。然妙是絕戲之號、法卽此經中之所レ說一因一果之法、超然絕二於昔日三乘因果之麤一故稱レ妙。蓮華〔者外國云二分陀利一、此物爲レ性、華實俱成。〕

第二　大寶二年戸籍

廿二帳

御野國山方郡三井田里戸籍　　太寶二年十一月第五卷

太寶貳年十一月御野國山方郡戸籍

三井田戸數伍拾戸　上政戸拾壹（中下壹戸 下上壹戸）　下中壹戸 下々捌戸

中政戸貳拾壹（下中伍戸 下々拾陸戸）　下政戸拾捌（下上壹戸 下中壹戸）　下々拾陸戸

口數捌佰仇拾仇　男肆佰貳拾貳　有位捌（正丁參 次丁參 癈疾壹 耆老壹）

正丁壹佰伍拾參之中　兵士參拾貳　遺壹佰貳拾壹

次丁拾　少丁肆拾壹之中　兵士參

遺參拾捌　小子壹佰肆拾肆　綠兒伍拾貳

癈疾伍　篤疾貳　耆老漆

女肆佰拾參　有位次女壹　正女貳佰拾貳

次女拾伍　少女肆拾　小女壹佰貳拾捌

綠女肆拾伍　耆女貳拾貳　奴漆

正奴參　次奴壹　少奴壹

小奴貳　婢漆　正婢肆

小婢參

第四　空海筆風信帖

風信雲書自天翔臨。披之閱之如揭雲霧、兼惠止觀妙門。頂戴供養不知攸厝。己冷、伏惟法體何如。空海推常擬隨命躋攀彼嶺。限以少願、不能東西。今思與我金蘭及室山、集會一處、商量佛法大事因緣、共建法憧、報佛恩德。望不憚煩勞、蹔降赴此院。此所々望々。忩々不具。釋空海狀上

九月十一日

東嶺金蘭法前

謹空

第六　藤原道長筆御堂關白記

六日、庚申、木破（沐浴、除手足甲）、侯需內、大歲、後復、（療病、解除、壞垣、破屋吉）從曉雪下、深七八寸許。左衞門督許送消息。有和歌。有返。以道貞朝臣右大將昨日事恐由、示送。

六日、雪深。朝早左衞門督許、かくいひやる。わかなつむかすかのはらにゆ木ふれはこゝろつかひを

けふさへそやる。かへり。みをつめておほつかな木はゆきやまぬかすかのはらのわ〔か〕なりけり。

從二華山院一賜レ仰。以二女方一。われすらにおもひこそやれかすかのゝをちのゆ木まをいかてわくらん。

御返。三かさ山雪やつむらんとおもふまにそらにこゝろのか〔よ〕ひけるかな。

第七　藤原行成筆白氏文集

晩上二天津橋一閑望。偶逢二盧郎中、張員外携一レ酒、同飲。

上陽宮裏曉鐘後。天津橋頭殘月前。空闊境疑レ非二下界一。飄颻身似レ在二寥天一。星河隱映初生日。樓閣蔥籠半出烟。此處相逢傾二一酌一。始知地上有二神仙一。

第十一　親鸞筆教行信證

顯淨土眞實信文類三愚禿釋親鸞集

謹按二往相廻向一、有二大信一。太信心者則是長生不死之神方、忻淨厭穢之妙術、選擇廻向之直心、利他深廣之信樂、金剛不壞之眞心、易往無人之淨信、心光攝〔護之一心、希有最勝之大信、世間難心之捷徑、證大涅槃之眞因、極速圓融之白道、眞如一實之信海也」〕

第十四　藤原定家筆和歌懷紙

詠下品上生和歌

民部卿藤原定家

たちかへるゆめのたゝちにをしへをくうてなのはなのするゑのうはつゆ

第十五　足利尊氏筆願文

この世は夢のごとくに候。尊氏にだう心たばせ給候て、後生たすけさせをはしまし候べく候。猶々とくとんせいしたく候。だう心たばせ給候べく候。今生のくわはうにかへて、後生たすけさせ給候べく候。今生のくわはうをば直義にたばせ給候て、直義あんをんにまもらせ給候べく候。

建武三年八月十七日　　尊氏（花押）

清水寺

第十六　後奈良天皇宸筆般若心經

得二阿耨多羅三藐三菩提一、故知般若波密多是大神呪、是大明呪、是無上呪、是無等等呪、能除二一切苦一
眞實不虛、故說二般若波羅密多呪一、卽說レ呪曰、
揭諦揭諦、波羅揭諦、波羅僧揭諦、菩提娑婆訶。般若心經。
今玆、天下大疫、万民多阽二於死亡一。朕爲二民父母一、德不レ能レ覆、甚自痛焉。寫寫二般若心經一卷於二金
字一、使二義堯僧正供一養之。庶二幾虖爲一疾病之妙藥一矣
于時天文九年六月十七日

第十七　伊東マンシヨ等書翰

天地萬物之御作者、又其御子、我ら御扶手世主子之以二御合力一令二染筆一候訖。抑從二日本國一豐後屋形之
使者トメ日向屋形之まご伊藤鈍滿所、又有馬之屋形、同大村鈍波留戶路銘之使者トメ千々石鈍彌解ル、
其外原鈍丸知野、中浦鈍壽理安、肥前國之兩侍、至二良摩一罷出候。是又右屋形竝日本諸貴理シタン爲レ
代、發波尊者之御足を奉レ吸、ヲベヂウを爲レ奉レ上、三年之波上を來凌候。然後部彌舍之事 及レ承候。

至二古今一敵之安地一成候ハ又賢在所一見本意之條、則罷出候。誠從レ存茂結構中々驚レ目候。殊各被レ對二我ら一
御懇情是又不レ及二筆舌一候。然間爲二向後覺一一筆染置候。是又甚深之御大切於二自今以後一忘却有間敷誌
迄候。當所之事者雖遠國於二日域一無二其隱一候。萬一無事歸國候者、我ら見聞之所具於二我朝一可レ令二披露一
候。穴賢々々。御出世千五百八十五年七月二日已上。

第十九　豐臣秀吉消息

そのいごは、文にても申參候はで、御心もとなくおもひ參候。わかぎみいよ〳〵大きくなり候や。そ
こほとのひのよじん、又はした〳〵までみだれになきように、かたく申つけられ候はん事、せんにて候。
廿日ごろにかならず參候て、わかぎみだき可レ申候。そのよさにそもじをも、そばにねさせ申候べく候。
せんかく御まち候べく候。かしく。かへす〳〵、わかぎみひやし候はんやうに、申つけ候べく候。な
にわにつけ候て、ゆだんあるまじく候。
おちや〳〵
てんか

第二十　天草吉利支丹版平家物語

日本の言葉と、イストリヤを、習ひ知らんと欲する人のために、世話に和らげたる、平家の物語。エス、のコンパニヤのコレッジヨ天草に於いて、シユウペリオホレスの御免許として、これを版に刻むものなり。御出世より千五百九十二年。

平家物語　卷第一

第一、平家の先祖の系圖、また忠盛の上の譽れと、清盛の威勢榮華の事。

物語の人衆、右馬之允、喜一檢校。

右馬之允　檢校の坊、平家の由來が聞きたい程に、あらあら略してお語りあれ。

喜一　やすい事でござる。大方語りまらせうず。まづ平家物語の書初めには、奢りを極め、人をも人と思はぬやうなる者は、やがて亡びたといふ、證跡に、大唐、日本において、奢りを極めた人々の果てた樣態を、かつ申してから、さて六波羅の入道、前の太政大臣清盛公と申した人の、行儀の不法なことを載せたものでござる。さてその清盛の先祖は、桓武天皇九代の後〔胤、讃岐守正盛が孫、刑部卿忠盛の嫡男で御座る。〕

第二十二　德川家康筆年貢皆濟狀

江州皆濟事

右卯より酉まて七年皆濟也、仍如件

慶長拾六い二月廿八日

猪太郎左衞門尉

猶本書には左の添狀が附いて居る。

尙々、よき時京へ參、御皆濟之取進之候、何事も目出度、重而可申達候、かしく、態以使札申候、昨日出京申候處に、去二日に、吉日と被仰、御皆濟御代官衆出申候而、伊州御肝煎を以、卯ゟ申ゟ（酉まで）之御皆濟、御自筆にて出申候間、早々進候、伊州へ被成御座、御禮とも被仰尤候、昨日可進候へども、夜中罷歸候間、只今申候、何時も、御自筆には、御墨印者無御座候、恐惶謹言、

卯月三日

酒作右衞門尉

重（重勝花押）

猪太郎左様

第二十三　オランダ船渡航朱印

おらんだ船日本江渡海之時、何之浦々雖レ爲二著岸一、不レ可レ有二相違一候、向後守二此旨一、無二異儀一可レ被二往來一、聊疎意有間敷候也、仍如レ件、

慶長拾四年七月廿五日

第二十六　徳川綱吉筆蹟

君臣千歳遇、忠孝一生心

をしへをく、ことたがはずば、行するの、道遠くとも、あとはまとはじ

綱吉

ちやくすくるうんへいけ

第二十七　山鹿素行自筆日記

凡今月之內十五日雨天

小十月朔日、至二大村氏因州別墅一、津輕越州、石谷氏一衞門來會、

三日、中井卜養至、女弟、因レ癒疾不レ平大村因州來臨、

未刻、北條氏長（安房守）、以二切紙一招レ予（有レ公用一）、乃盥漱拜二神主一、書二舊識及遺書一、食二晚炊一、觴二妻子一云、事皆有レ命、不レ可レ患、如レ此節、丈夫之妻子、可レ見二其志一、予欲レ見二母君一、々々必悲歎、故不レ謁焉、且明日有下會二津輕氏一之約上、供人行可レ告レ之、乃新二衣服一、整二禮容一、省二供輩一、至二彼地一、嶋田氏（藤十郎目付）相並居、氏長傳二公命一、貶二播州赤穗一、太守預レ之、聖教要錄（錄）之儀也、氏長云、事起レ不レ慮、有二遺命一、我可レ傳二之（ヲ）妻子一、予云、士自レ出二我門一家一、不レ思レ家、何有二遺命一乎、群士列座、予胥揖而立、太守家臣大西氏（七郎兵衞、篠田氏彦左衞門來迎。乘二肩輿一、入二太守宅一、此夕藤井又助、忽自二播州一來會、四日、五日、六日、七日、八日、在二太守宅一、

七日、淺野因太守來問、藤井又助傳二其命一、

第二十九　上杉治憲筆讓國詞

一國家は先祖より子孫へ傳候國家にして、我私すべき物には無レ之候、

一人民は國家に屬したる人民にして、我私すべき物には無レ之候、
一國家人民の爲に立たる君にて、君の爲に立たる國家人民には無レ之候、
右三條御遺念有間敷候事、

天明五巳年
二月七日

治　廣　殿
机前

治　憲（花押）

第三十一　松平定信筆願文草案

天明八年正月二日、松平越中守義、奉レ懸二一心一心願仕候、當年米穀融通宜く、格別之高直無レ之、下々難義不レ仕、安堵靜謐仕、幷に金穀御融通宜、御威信御仁惠下々え行屆候樣に、越中守一命は勿論之事、妻子之一命にも奉レ懸候而、必死に奉二心願一候事、右條々不二相調一、下々困窮、御威信御仁德不二行屆一、人々解體仕候義に御座候はゞ、只今之內に、私死去仕候樣に奉レ願候、（生ながらへ候ても、中興之功出來不レ仕、汚名相流し候よりは、只今の英功を、養家の幸、幷に一時之忠に仕、候へば、死去仕候方、反て忠孝に相叶ひ候義と被レ存候）右之仕合に付、以二御憐愍一金穀融通、下々不レ及二困窮一、御威信御仁惠行屆、中興全く成就之義、偏に奉二心願一候、敬白

治　憲（花押）

第三十二　井伊直弼筆起請文案

起請文前書

一今度大老職被二仰付一難レ有仕合奉レ存候、彌重二公儀一、御爲第一奉レ存、聊以御後閙儀無レ之、及レ心候程、御奉公可二申上一事、

附リ、御威光を以、私之奢仕間敷事、

一御一門方始諸大名、不レ依二誰人一奉レ對二御爲一、以二惡心一申合、一味仕間敷事、

一御用向相談刻、親子兄弟知音之好身、又者雖レ爲二中惡敷輩一、少も最負偏頗仕間敷候、年寄共列座を兼、無二遠慮一、存寄之旨、心底不レ殘申談、多分に附可レ申事、

附リ、老中始、其外對二御爲一不レ宜と存寄候儀於レ有レ之は、再應申談、若承引無レ之上は、御取次之御側之者迄、言上可レ致事、

一萬一御尋之儀有レ之は、御一門方始、諸大名諸傍輩、無二最負偏頗一、有體に可二申上一候、少も讒言申上間敷事、

附リ、一人立被二仰聞一候儀、幷に御隱密之品は不レ及レ申、御前向之儀、堅沙汰仕間敷事、

一跡々より彼ニ仰出一候御法度之趣、堅相守、自今以後彼ニ仰出一候條目壁書等、是又違背仕間敷事、

右條々、雖レ爲ニ一事一於レ致ニ違背一者、

梵天帝釋、四大天王、惣而日本國中六十餘州大小神祇、殊伊豆箱根兩所權現、三嶋大明神、八幡大菩薩、天滿大自在天神、部類眷屬、神罰冥罰、各可ニ罷蒙一者也、仍起請如レ件、

安政五戊午年四月二十五日　　井伊掃部頭直弼（花押）

第三十四　御開港横濱大繪圖

余嘗遊ニ界府一、問ニ往時蕃館交易之跡一。莫ニ復有ニ一人識者一而亦無ニ古圖可一レ以徵一矣。因竊嘆。當今開港之議方定而五國輻湊。當レ是使ニ往時交易之狀有ニ一二可レ徵者一則或有レ所ニ稗ニ益於國是之萬一一也。而今如レ斯。豈可レ不ニ重惜一乎。書肆寶善堂者、製ニ横濱圖一以示レ余。余展而觀レ之。山形地勢官署洋館及市廛、縱横向背、歷歷在レ目。今對ニ此圖一、界府當日之景象亦可ニ想見一也。乃與下夫晝ニ名山一圖ニ勝地一徒以資ニ人吟詠一者上復別。因慫慂上レ梓。嗚呼世之欲レ觀ニ國光一者就レ此而求レ焉可矣。百世之下其將有レ所ニ據以徵一也。安政六年己未脫冬下浣

屠龍散人記　　竹堂書

第三十五　孝明天皇宸翰和歌御懷紙

たやすからざる世に、武士の忠誠のこゝろをよろこびてよめる、

和らぐもたけき心も相生のまつの落葉のあらず榮へむ

武士とこゝろあはしていはほをもつらぬきてまし世々のおもひで

第三十六　坂本龍馬筆盟約書裏書

表に御記被レ成候六條は、小、西兩氏及老兄、龍等も、御同席にて談論せし所にて、毛も相違無レ之候。後來といへども、決して變り候事無レ之は、神明の知る所に御座候。

丙寅
二月五日

坂本龍

附錄第四

索引

凡例

配列は五十音順で、假名遣に拘らず、發音に從ふ。

例へばヂ・セウ等はシの部に入れた。但井・ヱはイ・エに、クワはカに合せた。

同一漢字もその訓の異なるものは配列の位置を變へて、訓法を知らしむる一助とした。

ア

アダムス（ウイリヤム） 五〇七・五〇八
アルメイダ 四二三
アントニオ・ダ・モータ 四一五
アントニオ・ペシヨト 四一五
アンリケ親王 四一四
阿衡の紛議 一四八
阿蘇氏 三〇
——惟直 二九七
阿曾治時 二九五
阿育王 六二
阿直岐 六〇・六一
——史 六〇
阿知使主 六・四七・五三・六〇
阿曇比羅夫 八五
阿野全成 二五二
——時元 二五七
——簾子 三二〇
阿片戰爭 七五六
阿部氏 八四
——重次 五四二
——蔣翁 六八四
——忠秋 四八八・五二一・五二二・五三三・五九二
——臣 二九
——倉梯麿 八一
——正次 五一三
——正弘 七三二・七五八・七六〇・七六一・七六五・七六八
——正外 七九六・七九七
——彌七郎 三七三
阿倍朝臣 九一
——仲麻呂 一一五・一一六
——比羅夫 八四・八五
——引田比羅夫 （前同）
阿利那禮河 四五
安貴公 六〇
安積艮齋 七二三
——澹泊 五五五
安宅丸 五四三
安達遠元 二五二
——盛長 二五二
——泰盛 二八五
安土 四〇三・四二〇
——城 四〇三・四二六・四四三・四四四
安濃津 三六〇
安倍氏 一八三
——川 六一七
——貞任 一八三
——富忠 一八三
——宗任 一八三
安部泰福 五六〇
——賴時 一八三
吾田彦 五五
——姫 二二
——の笠狹碕 一七
吾妻鏡 三一五・五四七
——錦繪 六九六
賀名生 三二九・三三二
相川（佐渡） 六二五
相對死 心中參照
會津 四三七・四四一・六二五
——征伐 四七二
——藩（松平氏） 七六〇・七八六・七八九・七九一・七九二
會澤安 七二七・七五三
青木昆陽 六四二・六八一
青地林宗 七三〇・七三一

一一一一一一赤松氏　一一一一一一赤本　一一一一一一青本
一一一一一一貞村　一一一一一一赤堀源五右衛門　一一一一一一青山五左衛門
一一一一一一則村　一一一一一一滄洲　一一一一一一赤穂義士
一一一一一一政則　一一一一一一赤染衛門　一一一一一一忠俊
一一一一一一滿祐　一一一一一一赤座直保　一一一一一一幸利
一一一一一一政則　一一一一一一赤坂一城　一一一一一一忠晶
一一一一一一滿祐　一一一一一一赤尾木浦　赤井忠晶
一一一一一一持氏　一一一一一一赤蝦夷風俗考
一一一一一一基氏
一一一一一一滿隆
一一一一一一滿貞
一一一一一一滿秉
一一一一一一光氏
一一一一一一政知
一一一一一一冬氏
一一一一一一藤氏（古河公方）
一一一一一一晴氏
一一一一一一直義
一一一一一一直冬
一一一一一一高經
一一一一一一鄂氏
一一一一一一成氏
一一一三代木像
一一義昭

一一一一一一赤松氏

安東靜露府 一三四
安徽天保山 一三五
安徽天寧寺 一三五
安徽天寧寺塔 一三五
安徽天寧寺塔銘 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五
安徽天寧寺塔銘(碑)拓本(部分) 一三五

安徽安慶府 一三六
安徽安慶府(碑) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六

安徽安慶府 一三六
安徽安慶府(碑) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分) 一三六
安徽安慶府(碑)拓本(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)(部分)

位階　伊藤滿　伊部(備前)　伊高里　伊吹廼舍　伊能忠敬　伊奈衆(信濃)　伊東涯　伊仁齋　伊幸民　伊玄朴　伊藤軍兵衛　伊圭介　伊賀盆　伊ドム・マンショ(賢義)　伊東氏　伊丹藏人　伊曾保物語　伊曾保物語双幅　伊吹物語　伊鳳丈　一重昌　一重炬　一勝靜　一勝重　板倉氏　板垣退助(乾)　磯吉(漂民)　井上神宮　石山本願寺　石山本願寺本堂　石山本願寺多寶塔　石山寺緣起　石拖　石三成　石田梅巖　石凝姥命　石河政武　石藏　石谷貞清　一六兵衛　一道盒

四一九・五一五・五五・五六六　六八・六九一・六六　五五一・五五二・五六一・五九七　五五一・五五三・六五・六六二　五三一　四一〇　四一〇　七二・七三　四三七・四五五・四七二・四七三　三五七・三七・四〇〇・四〇四・四〇五　三三七　四七五　四七二・四七三　三五四　四七九　四七二・四七三　三六六　三三四　四七七・四七八　三五二　四七九　七三〇　四七九　四七九　四七九

一派構　六四八
一遍　三〇二
——上人繪傳　三一〇
五瀨命　一七
逸文風土記　七二六
乙由　五六五
出雲大社　三一・四七九
稻置　二六・三〇・九一
稻田姫　一五
稻富一夢　六〇二
——流砲術　六〇一
稻葉定邦　七八九
——正勝　五九二
——正休　五二三
——山城　三九四
稻飯命　一七・四三
稻生若水　五六〇・五八六・六八四
稻村三伯　七二八
犬追物　六三七
犬上三田耜　八四
犬目附　五四二
犬屋敷　五四三
犬山公　二九
——城　四三一
飯泉喜內　七七三
飯田武鄕　七二五
——忠彥　七七一・七七三
飯豐青皇女　五一・五四・五五
飯沼欲齋　七二八・七三一
今井兼平　二二七
今鏡　二三七
今川氏　三一八・三八二
——氏眞　三九四・三九八・三九九
——氏親　三七九・三八二
——貞世(了俊)　三三五・三四一・三六八
——範政　三四四
——範忠　三七八
——義忠　三七九
——義元　三八二・三八三・三九二・三九三
今參局　三四八
忌寸　九一
忌藏　五四
忌部氏　二八・五七
——廣成　五七
妹脊山婦女庭訓　六九三
入組湯　七〇二
入鐵砲　六一七
入母屋造　三一・七六
入墨　六四八
岩井半四郎(五世)　七四一
岩倉家　二〇二
——具視　七七七・七七八・七八四・八〇二・八〇三
岩佐又兵衛　五八〇・五八五・六〇二
岩瀨忠震(肥後守)　七六五—七六七・七七〇
——傳藏　山東京傳參照
岩成左通　三九五
石淸水行幸　七八八
———八幡　二八〇・四七九
石見　六三〇
磐之媛　五二・五八
磐船　八四
允恭天皇(津間稚子)　四八・五二
隱元　五四〇
印刷　一三一・三〇六・五八七—五八九
——機　四六四
印西流弓術　六〇一

印度　四四八・七五六
印旛沼　六五八・六六二・七二〇
院政　二〇二・二五八・二五九・二八六—二九一
院內(銀山)　六三〇
院廳　二〇二
斑鳩　七三
——宮　八一
的臣　二九
齋宮　九一
嚴島　八〇〇
——行幸　二二〇
——神社　二三三
——神社經卷見返繪　二三五
——の戰　三八六
泉親衡　二五四
泉屋源藏　唐來三和參照
乾退助　板垣退助參照
新漢人大國　七二
———廣齊　七二
———旻　七二・八一

ウ（ヴ）

ウイルレム二世(オランダ)　七五八
ウェランド小文典　七二九
鵜飼吉左衞門　七七一—七七三
——幸吉　七七一—七七三
鸕鷀草葺不合尊　一七
宇喜多一蕙　七四三
———直家　四〇八・四〇九
———秀家　四三一・四四七・四五〇・四五五・四七二・四七三・四七六
宇下の人言　七一一
宇佐美灣水　五五二・六七六
宇治加賀掾　五七〇・五七一
——拾遺物語　三一四
——部　二八
宇田川玄眞　安岡玄眞參照
———玄隨　七二八・七三〇
———榕庵　七二八・七三一
宇多天皇　一四七・一四八
宇都宮氏　三八七
———遯庵　五八七
宇津保物語　一八九
宇美　四七
宇和島　六二五
右京職　九五
右大臣　九四・九五
右辨官局　九四
右兵庫寮　一〇〇
右馬寮　一〇〇
雨月物語　六九三
菟狹　一九
菟道稚郎子　五二・六一
菟田首　二九
髻華　六八
有智子內親王　一五四
善知鳥安方忠義傳　七三五
可美眞手命　五七
羽林家　六〇九
ヴイレラ　四一九
上杉顯定(山內)　三七八・三八〇
——顯憲　三四四
——顯能　三三〇
——氏　四〇四・四三〇・五九二
——氏(犬懸)　三四一・三四四
——氏(扇谷)　三四四・三七八—三八〇

一一氏(乾間)　三四
一一氏(山内)　三四一・三四四・三五九・三六〇
一一景勝　四〇六・四三九・四四一・四五六・四七四・四七五・四七七・四七九・四八〇・四八二・四八四・四八六
一一景虎(謙信)　三六〇・三九二・三九八―四〇〇・四〇五
一一景虎(北條氏秀)　四〇六
一一定實　三六〇
一一定正(扇谷)　三七七・三七九
一一重定　三六四
一一重房像　三七〇
一一重能　三七〇
一一神社　三六五
一一禰秀(憲氏)　三四四
一一朝宗(犬懸)　三四一
一一憲實　三四五
一一憲忠(山内)　三五六
一一憲春(山内)　三四一
一一憲政(山内)　三六〇
一一憲基(山内)　三四四
一一治憲(凞山)　三六一・三六四・三六九
一一治綱　三六四
一一賴重　三四〇
一一拂　三六八
一一半太夫　三七五
一一繁昌記　三七九
一一ハルマ　三七六
一一城　三六八・三七〇・四四七・五〇三・五四七・五五七・五六四・五七九・五八〇・五八二・五八四・五八六・五九〇・五九二・五九四・五九六・六〇一・六〇二
一一十里四方追放　三六八
一一座(玉角)　三六五
一一鑑　三七七
一一生鼈氣糠燒　三六九
一一物語　三六六
一一風呂　三七〇
一一床　三七〇
一一草子　三六六・三六七・三六九
一一繪　三六六
一一形氣　三六六
一一宮門　三六〇
一一宗固　三六一
一一上田秋成　三六三
一一豐慶　三七四
歌橋(老女)　三六八
內藏　三五四・三六一
馬揃　四二二
馬飼備　三七一・三七三
海幸　三五五
海野公重　三六〇
梅田源次郎　三七一―三七三
浦賀　三五七・三六〇・三六三
浦上氏　三六五・四〇八
一一泰行　三七〇
一一則宗　三六五
浦戸　四六六
一一村宗　三六五
浦之隊波　三七三
裏松光世　三七四
蔵山城　四五九・四六〇
運慶　三〇九
運上　四二一・四三五
鞦韆法　三六五
諸鳥　三七一

エカテリナ女皇　三七九
繪入帝鑑圖說　三六八
繪師草紙繪卷　三一〇
繪島事件　三五八
江川坦庵　三七一・三七三
江島其磧　三六八・三六九
江戸　四二一・三五六・三五七・三六〇・三六二・三六三・三六五・三六七・三六九・三七〇・三七二・三七四・三七五・三七七・三七九・三八〇・三八二・三八四・三八六・三八八・三九〇・三九二・三九四・三九六・四〇一・四〇二
一一生鼈氣糠燒　三六九
一一盤　三七九
一一座(玉角)　三六五
一一十里四方追放　三六八
一一ハルマ　三七六
一一城　三六八・三七〇・四四七・五〇三・五四七・五五七・五六四・五七九・五八〇・五八二・五八四・五八六・五九〇・五九二・五九四・五九六・六〇一・六〇二
一一繁昌記　三七九
一一半太夫　三五七
一一拂　三六八
厩戸皇子　三七七
悔之不(假名草子)　三六六
顯國玉命　一二六

エ　(ヱ)

一一上田秋成　三六三
一一宗固　三六一
宮門　三六〇
浮世親仁形氣　三六六
一一繪　三六六
一一草子　三六六・三六七・三六九
一一床　三七〇
一一風呂　三七〇
一一物語　三六六
氏神　三七〇
氏上　三七〇・三七九・三八一
白粹　四三〇
白玉　三七〇
潯陽物語　三六六
大燊　三五四
歌合　一八九
歌川國貞　七四四
一一國芳　七四四
一一豐國　七四四
一一豐廣　七四四
歌橋(老女)　三六八
內藏　三五四・三六一
馬揃　四二二
馬飼備　三七一・三七三
海幸　三五五
海野公重　三六〇
梅田源次郎　三七一―三七三
浦賀　三五七・三六〇・三六三
浦上氏　三六五・四〇八
一一泰行　三七〇
一一則宗　三六五
浦戸　四六六
一一村宗　三六五
浦之隊波　三七三
裏松光世　三七四
蔵山城　四五九・四六〇
運慶　三〇九
運上　四二一・四三五
鞦韆法　三六五
諸鳥　三七一

一一百景　三七四
一一町奉行　四六九
繪卷御書物　三七〇・三七五
永享之亂　三四五
永平寺　三〇四・三六五
叡山　二九三・二九四・三一三・三四六・三五五・三五六・三五七・三五九・四〇〇・四一三・四一四・四一〇
叡福寺　四五九
驛馬　三七八
驛鈴　三七八
越後屋　三六八
越前家　三五三・三五五
一一藩　三五九・三七一・三七三・三七五・三七九
一一屋長次郎　爲永春水參照
越人　三五五・三五六・三六〇
蝦虹梁　三〇六
圓伊　三一〇
圓覺寺　三〇四・三五四
一一舍利殿　三〇七・三〇八
圓勝寺　三三三
圓珍　三五七

圓仁　七四・一五七
圓滿院圓胤　三四六
沿海州　七五五
延喜格式　九四・一五三
——の治　一五〇
延勝寺　二三二
延曆寺　一五七・二〇五・三〇〇・三〇三
———講堂　五八二
———根本中堂　三四六・五八一
燕石雜誌　七四〇
遠島　六四八
遠藤氏　四〇〇
遠慮　六四八
鹽浦　三六二
畫部　六〇

オ（ヲ）

オウルコツク　七七九・七八〇
オルガンチノ　四一九・四二〇
オランダ　五〇六・五〇七・五一〇・五一一・五一六・六二九・七五八・七六一・七六四・七六五・七七〇・七七三・七七九・七八〇・七九三・七九四・七九六・七九七
オランダ船　五三六・五三七・六三〇
オランダ風說書　七六〇
小碓尊　二三
小笠原氏　五九二
———貞慶　四三四
———島　七六〇・七六三
———長時　三八〇
———長行　七九七・七九九
———秀政　四八三
小川笙船　六四九
——祐忠　四七五
——破笠　六三一
小倉作左衞門　四八二
——三省　五四九
——宮　三四六
小栗美作　五二三
小澤蘆庵　六八五・七三三
小關三英　七三〇—七三二
小田城　三二九
——治久　三二九
小田原　四三六・六二五
———城　三七九・四三六・四三七
小谷城　三八五・四〇二
小野妹子　七一・七二
——牛養　一一三
——小町　一六二
——篁　一四一・一五四
——典膳　六〇一
——道風　一九一
——岑守　一五四
——好古　一七三
——蘭山　六八四
小野山宇治右衞門　五七七
小野派一刀流　六〇一
小畑五太夫　五三九
——半太夫　五三九
小濱　六二五
小墾田　六四
小山（下野）　四七二
小山田信茂　四〇七
男大迹王　五六
緒方洪庵　七二八・七三〇
尾形乾山　六三一
——光琳　五八〇・五八五・六三一
尾去澤（銅山）　六三〇

尾上菊五郎　六九四
——菊五郎（三世）　七四一
尾張　五九三
——藩　七六九・七七六
——宿禰　九一
阿國（出雲の巫女）　五七五
阿蘭陀流（醫術）　五六〇
御國衆　五九二・五九四・五九七
御斷　六五七
御定書百ヶ條　六四七
御附武家　四九三
御伽婢子　五六六
御留場　六三六
御腹一類　五九二
億計皇子　五五
弘計皇子　五五
通事　七一
織田氏　三八二・三九二・三九七・五九二
——有樂　四八二
——敏定　三八二
——信雄　三九六・四二七—四三三・四三六・四三七
——信邦　六七二
——信孝　四一〇・四二七—四三〇
——信忠　四〇六・四一〇
——信長　三八三・三八八・三八九・三九二—四一三・四一七・四一九・四二〇・四二三・四二七・四四八
——信廣　三八三
——信榮　六七二
——信秀　三八二・三八三・三八九
——信行　三八三・三九二
——信勝　四二七
——秀信（三法師）　四二七・四七四・四七六
——賴長　四八二
越智氏　五九四
——惟通　三四六
磯馭廬島　一二
兀良哈　四五二
和蘭貨幣考　六八一
——字彙　七二九
——本草和解　六八一
——文字略考・同文譯・同話譯　六八一
——文略・同譯筌・同藥選　六八二
置賜　一一三
追腹　五四一・五四二
大海人皇子　八八・八九
大井川　六一七
大炊王　一一一
大炊御門家　六〇九
大石良雄　五三九
大岩山の砦　四二八
大氏　二八
大內氏　三六一・三八五—三八七
——氏の壁書　三九一
——輝弘　四〇七
——弘幸　三二二
——政弘　三五一・三五二・三八五
——持世　三四六
——盛見　三四六
——義興　三七七・三八五
——義隆　三八五・三八八・三八九・四一八
——義弘　三四〇・三四一
大碓尊　二四
大江音人　一五三・一五五
——維時　一八七
——親廣　二五七・二五九・二六一
——廣元　二四一・二四四・二四八・二五二・二五六・二六〇・二六四

ーー匡衡　一八七
ーー匡房　二〇〇・二三八
大岡清相　六三五
ーー裁　六四六
ーー忠相　六四六・六四七・六五〇・六六一
ーー忠光　六五二
大臣　三〇
大鹿島　五六
大賀彌三郎　四〇二
大垣　六二五
ーー城　四七四
大鏡　二三七
大來皇女　九一
大久保氏　五九二
ーーー忠隣　四八六
ーーー忠常　四八六
ーーー忠寛(志摩守一翁)　七六五
ーーー利通(市藏)　七九七・七九八・八〇二・八〇三
ーーー長安　四八六
大久米命　五七
大草香皇子　五三
大日下部　二八
大藏　五四・六一
ーー卿　四八一・四八四
ーー省　九四
ーー種材　一八一
大口屋曉雨　六五五
大國隆正　七二五
大國主命　一六
大窪詩佛　七三三
大隈言道　七三三
大坂　四四一・四六二・五七六・五八六・五九七・六二二・六二四・六二五・六二九・六三一・七六四・七六六・七七二・七八〇・七九六・七九八・八〇一・八〇二
ーー城　四二九・四四三・四四四・四七〇・四七六・四七八・四八二
ーー城代　四八九
ーー千疊敷　四四三
ーー夏陣　四八三
ーー二十四組問屋　六五七
ーー冬陣　四八二
ーー本願寺　四〇九・四二九
ーー町奉行　四八九・六四七
大崎八幡　五八二
大澤秉哲(豐後守)　七六二
大鹽の亂　七一三・七一四
大鹽平八郎(中齋)　七一三・七二三
大隅守陽侯麿　一一四
大高　三九三・三九四
大谷大學　四八一
ーー吉繼　四五五・四七三・四七五
大津　一三三・五九七・六二四・六二七
ーー皇子　九二
ーー濱　七一七
大槻玄幹　七二八・七二九・七三〇
ーー玄澤　七二七・七三〇
大友皇子　八六・八九
ーー氏　二七六・三二二・三二三・三四六・三八六・三八七・四〇七・四四三・四三五
ーー氏時　三三四
ーー貞載　三一七
ーー貞宗　二九七・三一六
ーー義鎭(宗麟)　三八七・四一八・四二〇・四三五
ーー義長　三八六
ーー義鑑　三八六・三八七
ーー義統　四三五・四五〇
大伴氏　五七・六三

ーー弟麻呂　一三六
ーー金村　四九・五〇・五六・五七
ーー古麻呂　一一五
ーー狹手彥　四九・五〇
ーー宿禰　九一
ーー武以連　五七
ーー武日　二四・五七
ーー旅人　一一四・一二九
ーー室屋　五四・五七
ーー吹負　八九
ーー家持　一二九
ーー談　四九・五七
ーー連　二九
大鳥圭介　七二八
大己貴命　一六
大中臣能宣　一八八
大野東人　一一三
ーー城　八六
ーー道犬　四八二・四八四
ーー治長　四八〇・四八二・四八四
ーー治房　四八二
ーー屋喜三郎　元木網參照
大葉子　五一
大庭景親　一二三
大橘訥庵　七三三・七八一
大原重德　七八三・八〇二
大判　四四一・六一九
ーー座　六二三
大番組　四九〇
ーーー頭　五二八
大彥命　一二
大日靈貴尊　一二
大政所　四三三・四三四・四四五・四五二
大三輪氏　三〇・五七・六三
ーーー逆　六四
ーーー大友主君　五八
大宮院　二八六―二八八
大村純忠　四一六・四一九・四二〇
ーー益次郎　七二八
大連　三〇
大目附　四八九・五二八
大物主命　一六
大森藤賴　三七九
大八洲　一・一二
大矢野種保　二七九
ーーー松右衛門　五一二
大山祇神　一七
大佛貞直　二九四
ーー高直　二九五
正親町公明　七〇六・七〇七
ーーー公通　五四九
ーーー三條公績　六六八・六七〇
ーーー三條家　六〇九
ーーー三條實愛　八〇三
ーーー天皇　三八八・三九四・四三九
王號復行說(新井白石)　五三四
王政復古　三三七・三三八・八〇三・八〇五
ーーーー論　七五二・七五三・八〇二―八〇四
王直(五峰)　三五七・五一五
王霸論　七五一
合坂山　八二
押使　一一五
往生要集　一九三・一九七
應神天皇　四五・四六
ーーーー陵(惠我藻伏崗陵)　三六
應天門の變　一四五

應仁の亂　三四九—三五三
奥州道中　六一六
——探題　三四〇
太田　三三九
太田賢康　三七八
——金峨　七二四
——錦城　七三三
——蜀山人（直次郎）　六八六・七三四
——資宗　五九二
——時連　三三五
——宗勝　六〇三
——持資（道灌）　三七八
——康連　二六五・二六六
太安麻呂　二三九
近江毛野　四九
——源氏先陣館　六九三
——商人　六二八
——聖人　五五〇
——朝廷令　八七・九三
淡海三船　一二八
——三麿　六九一
鸚鵡返文武二道　六八九

岡崎　三九四
——城　四〇三
——正宗　三一一
岡田寒泉　七〇三・七二三
——重孝　四三〇
——爲恭　七二四
岡西惟中　七三三
岡部氏　五九二
——衛士政藤　三三五
岡山　六〇三
興良親王　三七八
興世王　二六五・二六六
荻田主馬　二二九
荻野澤之丞　四九
荻原重秀　六九三
荻生徂徠　六二八
——親　五五〇
奥田氏　八七・九三
奥平源八　一二八
——忠昌　六九一
——信昌　六八九

——隼人　五三九
桶狹間役　三九三
長田忠致　二二三
長船長光　三一一
忍壁皇子　九一・九三
忍　六二五
忍熊　四八・五八
忍城　四三七
忍藩（松平氏）　七六〇
忍海角刺宮　五四
押小路家　六一〇
押込　六五八
押松丸　二六〇
落合孫左衞門　六四二
落榛　三七三
落窪物語　一八九
臣　二九・七四・九一
親方（御屋形）　六〇〇
親仁方　五七七
音阿彌（觀世）　三七一
音樂　二八・一五五
御傘（俳書）　五六二

溫故堂　塙保己一參照
溫知政要　六六八
恩賞方　三一六
園城寺　二〇五・三〇〇
——黃不動　一六二
——金堂　五八二
隱田　二八三・四四二
隱亡　六二三
陰陽寮　九七
蔭補　九七
扇　三六〇
扇谷上杉　上杉氏參照
扇樋　三〇八
凡河內躬恒　一八八
上哆唎　四九
刑部　二九
首　二八
表高家　五九九
思兼神　一五・一七
女歌舞伎　五七五
女形　五七六
女髮結　六五四

女殺油地獄　五七三
女風俗通　六九一

カ（ガ・クヮ）

カブキ者　四二九・四五〇—四五二・四五五・四五七—四六一・四七〇・四七三・四七九
カブラル　三一一
カムチヤッカ　五〇〇
カムチヤッカ遷都論　六七八・六八五・七二五
華夷中外論　四五〇・四五九・四七〇
華陽歸馬桃林放牛圖　四八七
甲斐常治　六八六
火印　四四
火技中興洋兵開基　五八一
火浣布　三三五・三三六
火罪　六〇九
嘉永一朱銀　二九四・二九五
加賀藩　五七七
加賀見山舊錦繪　三七五
加州金　五六〇
加津佐　七二五・七三三
加藤明成　一〇七
——氏　六八四

——玄悅　六八四
賀茂眞淵　六七七・六七八・六八四・七二四
賀茂行幸　七八八
夏貴　二七八
嘉吉之變　三四七
嘉祥寺　一五九
迦具土神　一三
勘解由使　一三八
勘解由小路資望　六六八・六七〇
課口　九八・一〇〇
課丁の減少　一六六
過去現在因果經　一二六
過書船　六一七
鹿兒島　四一六・六二五
可笑記　五六六
科條類典　六四八
荷田春滿　五五九・五八六・六七七・七二四
——在滿　六七七
徒士　五九九
——組　四九〇
河東節　五七五・五八六
楫取魚彥　六八四
神奈川　七六三・七六六・七六九・七七八
——條約　七六三・七六五
——奉行　七七九・七八〇
假名草子　五六五—五六八・五八六
——手本忠臣藏　六九三
——本末　七二六
迦膩色迦王　六二
狩野永德　四四四
——山樂　四四四
——探幽　五七八・五八五・五八六
——常信　五七九
——派　三七二・五七八
——尙信　五七九
——正信　三七二
——元信　三七二・五七八・五七九
——安信　五七九
歌舞伎　五七五—五七八・六九四・六九五・七四一・七四二
——草子繪卷　五八〇
貨幣　一〇九・一一〇・四一一・四四一・六一八
——の鑄造　四四一
——經濟時代　四四一
長官（かみ）　九五
鷄冠井令德　五六二
鹿持雅澄　七二五
過料　六四八
ガゴー　四一九
餓鬼草子　二三五
雅言集覽　七四〇
峩山　三六五
改易　六四八
改貨議　五四六
繪畫　四〇・七五・一二五・一六一・一六二・一九六・一九七・二三五・二三六・三一〇・三七一—三七三・四四四・五七八—五八一・六九五—六九七・七四二—七四五
海外發展論　七五五
海軍總裁　八〇一
——練習所（長崎）　七六五
海國兵談　六八三・七〇八・七〇九
海賊　三三四・三五六
——船　三六〇
海道記　三一四
海游錄　六三五
海龍王寺　一二三
——五重小塔　一二四
階級制の維持難　七四六—七五一
會計總裁　八〇一

會寧　四五二
快慶（安阿彌）　三〇九
開國遠略策　七八二
——論　七五三—七五五・七七五
開成所　七三〇
開府儀同三司　九六
解體新書　六八一
戒壇院　一二一・一二二
懷德堂書院　六七七・七二三
懷風藻　一二八
貝原益軒　五四九・五五二・五五三・五五七・五五九・五六〇・五八七
外國事務總裁　八〇一
——奉行　七七八・七八〇
——貿易　六二九
外人殺傷　七七八—七八〇
燕子花圖屏風　五八〇
柿本臣　二九
——人丸　一二九
覺哿　六八
覺助　一九六
覺如　三六五
覺猷　二三五
郭中奇譚　六九一
鶴林寺太子堂　二三三
——壁畫　二三五
學館院　一五三
學校　七四五
學習院　七八七・七八九
學統辨　七二三
掛屋　七五〇
蜻蛉日記　一九〇
麝坂　四六・五八
笠置山　二九四
笠縫邑　二一
貸金會所　六五八・六六一
樫井　四八三
櫃日宮　四四
梶新左衞門　六〇一
梶派一刀流　六〇一
梶原景時　二四三・二五二
春日權現驗記　三一〇
——神社　七八八
——南門・神樂殿　二三三
——の四座　三七〇
——造　一六〇
——潛庵　七二三・七七一・七七三
——局　四八六・四九三
——派　二三五・三一〇
——山城　四〇五
和宮（親子）　七七七・七七八・七八一
片岡仁左衞門　五七七
——（七世）　七四一
片桐氏　五九二
——且元　四二九・四八〇・四八一
片鬢剃　二六七
片山兼山　六七六
肩岡　七一
勝海舟（麟太郎安芳）　七三二・八〇〇
勝川春章　六九六
勝手方　四八九
——老中　五二八・五四四
葛西清重　二四七
葛飾北齋　七四四
活字印刷　四六一・五八七—五八九
角屋七郎兵衞　五〇九
金澤　四四一・六二五・六二七

——柵　二〇六
——貞冬　二九四
金山町　六二五
銀山城　三八六
蟹養齋　六七七
金子孫二郎　七七四・七七五
金賦　四四一
金田城　八六
金飛脚　六一八
懷良親王（征西將軍宮）　三三四・三三四・三三五・三五七
鎌倉　七六三
——大佛　三〇九
——文化　二九九
上方衆　五九二・五九四
上毛野　二六・八四
——朝臣　九一
——公　二九
上總介廣常　三三三
神懸　三八
神皇産靈尊　一三
神日本磐余彦尊　一七・一九
龜田鵬齋　六七六・七〇三・七一三
龜山天皇　二七〇・二七七・二八〇・二八六—二八八・二九〇
龜山の仇討　二九四
鴨主　六二五
鴨首　三八六
鴨別　六七七
蒲生氏　七七四・七七五
——氏鄉　四四一
——君平　八六
——忠鄉　六一八
柄井川柳　六八七
韓鍛治部　七六三
韓土神　三〇九
韓嫒　二九九
唐衣橘洲　五九二・五九四
唐様　二六・八四
樺太　九一
狩谷掖齋　二九
苅萱桑門筑紫轢　三三三
輕皇子　三八
輕大娘皇女　一三
川合又五郎　一七・一九
川上梟師　六七六・七〇三・七一三
川口長孺　七三七
川越藩（松平氏）　七六〇
——城　三八〇
川路聖謨（左衛門）　七六二—七六五・七六七
川島皇子　九一
川中島戰　三八一・四一七
川本幸民　七二八・七三一
河井繼之助　七二三・七三三
——久敬　六五二
河上娘　六六
河竹新七（二世）　七四二
河内御堂　四〇三
河村瑞賢　六一八
河邊璞缶　五〇
觀阿彌（觀世）　三七〇・三七一
閑院家　二〇二
閑院宮　五三一・七〇四
閑山洋　四五二
寬永寺　五四〇・五八二
——諸家系圖傳　五五四・七二七
——通寶　六二三・六五六
——度武家諸法度　四九七

寬政重修諸家譜　七二七
——の改革　六九八—七〇四・七一一
——の三奇人　七〇八
——の三博士　七三三
——律　六四九
寬平遺誡　一四九
寬文度諸社禰宜神主法度　五二九
——諸宗寺院法度　五二九
——武家諸法度　五二八
勸學院　一五五
咸宜園　七三三
菅家文草・同後集　一五五
官戶　九七
官當　一〇三
勘合符　三六〇・三六六
勘合貿易　五〇六
勘定頭　五二八
——吟味役　五二八・五四四
——奉行　四九九・六四七
還魂紙料　七四〇
觀察使　二二八
觀心寺　一五九・三三三
——如意輪觀音　三三九・三四〇
觀世音寺　七四三
觀勒　一〇八・一一〇
乾漆　一二〇
甘露寺親長　二八
甘露寺先生　三〇八
漢書地理志　六三八
漢陽（京城）　七〇一
灌頂記　六四四・六五五・六七
鑑眞　七一四
貫主　一九
關稅　五三八
關東衆　五七七
關東管領　四四〇
關白　三三
神田上水　六五五・六八一・六八二・七二九
——祭　木戶孝允參照
邯鄲諸國物語　五八三
韓長齡　一二一
寒熱昇降　四七・五八
東埔塞　七三
桓武天皇　五二・五八
管領　一六一
岸駒　二一〇
元興寺　七二—七五
——流　一二五
鏡作部　六四三
鏡天井　三八九
隱賣女　四一
園來　四五一・四五五
炊屋姬　一五五
柏崎騷動　一二一・一二三
橿原宮　一六八
敵討　七六六・七八〇・七九六
敵役　五九二・五九四・五九七
刀狩　三四〇・三四一
鬘　七八五
桂川甫周　六二七
桂小五郎　六三九
桂離宮　七三九
葛城王　朋誠堂喜三二參照
——氏　六八三
——寺　五〇六
——襲津彥　一三二—一四一

木曾氏	四〇〇・四三一
一一義仲	二三三—二三七
一一義昌	四〇六
木戸	六二六
一一孝允(桂小五郎)	七八一・七八九・七九八
木梨輕皇子	五三
木下菊潭	六四〇
一一順庵	五二六・五三八・五四八・五五三・五八六・五八七・六〇二
一一長嘯子	六〇二
一一彌右衛門	四二六
木村重成	四八二・四八三
貴族政治	二九九
喜多川歌麿	六九六
喜多見重政	五九二
喜利志多佗孟太	四一五
杵築	一六・六二五
几董	六八五
畿内	八二
椽城	八六
黄表紙	六七四・六八九
崎門學派	七五二
崎門の三傑	五四九
一一圓	五三・五四・五八
一一稚犬養網田	八一
葛木部	二九
姓	二九
構	五〇二
烏丸光廣	五五八
一一光胤	六六八・六七〇
膳臣	二九
紀伊熊野	二〇五
一一兄山	八二
一一砲臺	七六五
紀氏	四七
紀州	五九三
一一一揆	四二八・四三〇・四三一
一一征伐	四三二
一一藩	七九九
紀傳道	一五四
紀有常	一四五
一男麻呂	五〇
一大磐	四九・五〇
一海音	五七四
紀の國屋文左衛門	六二八
紀古佐美	一三六
一小弓	四九
一定麿	六八七
一靜子	一四五
一貫之	一六七・一八八
一友則	一八八
一時文	一八八
一豐城	一四六
一名虎	一四五
一夏井	一四六
一長谷雄	一四一・一五五
一廣純	一三六
一躬鹿	六八七
生絲	三六〇
棄捐	六四〇・七〇〇
氣海觀瀾	七三一
一一一一廣義	七三一
癸亥條約	三六二
其角	五六五
季瓊	三四八
季祿	九七
僖公文案	六三五
吉士雄成	七二
吉備津彦命	二三
吉備臣	二九
一一上道臣	五四
一一田狹	四八・五〇
一一武彦	二四
一一眞備	一一〇・一一一・一一五
一一稚媛	五四
吉良氏	三一八・三八二
一一義央	五三九・六六四
吉利支丹	四一七・四二二—四二五・四四〇・四六二—四六四・四六六・五〇八—五一〇・五一五
一一一一禁制	四六二—四六六・五〇九・五一二・五一五・五三五・五三六・六二九
一一一一奉行	五三五
吉彦秀武	二〇六
騎射	六三七
汽車	七六四
毀鐘鑄砲官符	七六七
龜船	四五二
木曾氏	四〇〇・四三一
一一義仲	二三三—二三七
一一義昌	四〇六
木戸	六二六
一一孝允(桂小五郎)	七八一・七八九・七九八
木梨輕皇子	五三
木下菊潭	六四〇
一一順庵	五二六・五三八・五四八・五五三・五八六・五八七・六〇二
一一長嘯子	六〇二
一一彌右衛門	四二六
木村重成	四八二・四八三
貴族政治	二九九
喜多川歌麿	六九六
喜多見重政	五九二
喜利志多佗孟太	四一五
杵築	一六・六二五
几董	六八五
畿内	八二
椽城	八六
黄表紙	六七四・六八九
崎門學派	七五二
崎門の三傑	五四九
己酉條約	五〇五
岐陽	三六六
記錄所	二〇〇・二一一・三一六
記錄莊園券契所	二〇〇
義淵	一二一
義慈王	八五
義眞	一五六・一五七
義絕	一〇三
義堂	三六四・三六六・三六八
祇園祭禮信仰記	六九三
一一南海	五四八・六九五
一一祭再興	六三九
議事官	八〇四
議政所	八〇四
議奏	二四五・六〇八
岐阜	三九四・四〇〇・四二七・四七四
菊池氏	二七六・三八六・三八七
一一五山	七三三
一一重朝	三八七
一一城	三三五
一一泰輔	式亭三馬參照
一一武澄	三三四
一一武時	二九七
一一武敏	三二三
一一武朝	三三五
一一武光	三三四
一一容齋	七四三
菊亭家	六〇九
北アメリカ合衆國	七五六・七五七・七五九・七六三・七六五・七七三・七七九・七九三・七九四・七九六・七九七
北尾政演	山東京傳參照
北島家	三〇
北野神社本殿	五八二
一一天神緣起	三一〇
一一天滿宮	四七九
北莊(福井)	四二九
北政所	四三三・四四五・四七〇
一一一黨	四七三
北畠顯家	三一六・三二〇・三二二・三二三・三二六・三二七
一一顯信	三二七・三二九
一一顯能	三三一
一一家	二〇二・三九六
一一親房	二六三・二九一・二九七・三二〇・三二五—三二九・三三二

狂言 一一二
一ノ太藏集 一一二
狂歌 一〇三
歌枕 一〇三
歌袋 一〇三
歌座 一〇三
銀閣 一〇三
鉢明天皇 一〇三
鎧縅段 一〇三
禁裏守衛總督補海防禦指揮 一〇三
禁門の變 一〇三
禁中並公家諸法度 一〇三
禁裏 一〇三
(ク)
九十九髪茄子 一〇四
九州征伐 一〇四
九條殿 一〇四
九條兼實 一〇四
九條道家 一〇四
九條關白 一〇四
九條家 一〇四
九條稙通 一〇四
九條稙基 一〇四
九條關白 一〇四
九條關白 一〇四
九條關白

郡駅路　外宮神道
郡司　外記御
郡代　下馬将軍
群書治要　下手人
群書類従　下馬上
群馬県　下方
軍記物　下国
軍制　上古・上世
軍艦　上野国
軍艦操練所　上総
軍港　一遍
軍船　一遍上人
軍役　一遍聖
軍用犬　一遍智真
軍令　一遍智真伝
訓覇　一遍智真伝絵
訓覇信重　一遍聖絵
訓覇信重　一遍上人
訓覇信重　一遍上人絵伝
訓覇信重　一遍上人伝
訓覇信重　一遍聖絵

一一事 傾城買四十八手 五五・五六
一一禁短氣 契情意味張月 五五・五六
盤山 契沖 五六・六〇
經世典例 蟇古堂(後の日新館) 五七
經濟錄 景行天皇 一五四
經國集 稽古堂(後の日新館) 一五五
邪訪 源平盛衰記 四五六
慧果 源注餘滴 七四〇
慶忍(土佐派) 源一一物語繪卷 一五六
慶安の變 源一一繪屏風 一六九
桂園一枝 源氏 一四〇・一六一
桂昌院 源一一金銀通寶 五四・六一・六二
桂菴 源空 五二・五六・五八
解脫上人 源頼朝 四五一
附錄 源平布引滝 六九三
第四 源平盛衰記 三三・七六
索引 源注餘滴 七四〇
ヶ 源一一物語繪卷 一六九
源一一繪屏風 五四・六一・六二
源氏 一四〇・一六一
源空 五二・五六・五八
源頼朝 四五一
源平布引滝 六九三
源平盛衰記 三三・七六
源注餘滴 七四〇

古史通　五五六
——傳　七二四
古事記　一一・三九・一二九・五五六
———傳　六七九
古事談　三一四
古朝鮮　四三
古道大意　七二四
古方家　五六〇・六八三
古滿休伯　六三一
久我家　二〇一・六〇九・七七一
——建通　七七一・七七三・七七八・七八四
——敏通　六六八・六七〇
故混馬鹿集　六八六
巨勢氏　四七
——相見　一九六
——金岡　一六二
——公茂　一九六
——公忠　一九六
——野足　一三九
——廣高　一九六
——派　三一〇
兒玉滿昌　五八四
己汶　四九
子役　五七七
ゴア　四一七・四二一
ゴローニン　七一五
後宇多天皇　二八六—二九一・二九三・三一一
後圓融天皇　三三六
後柏原天皇　三八八・三八九
後龜山天皇　三三六
後小松天皇　三三六・三四二
後光嚴天皇　三三二
後光明天皇　五四七
後嵯峨天皇　二七〇・二八五・二八六
後三條天皇　一九九・二〇〇
後三年の役　二〇六
後櫻町天皇　六七
後白河天皇（上皇、法皇）　二一〇・二一一・二一八・二四三—二四八
後拾遺集　二三六
後崇光院　七〇五
後撰集　一八八
後醍醐天皇　二九一—二九八・三一一・三一六・三二二・三二四—三二六・三二八
後高倉院　七〇五
後土御門天皇　三五一・三八八
後鳥羽天皇　二二六・二二八・二四八・二四九・二五七—二六二・三

三

後藤顯乘　五八四
——艮山　六八三
——四郎兵衛　六二三
——少三郎（光次）　六二三
——象二郎　八〇三・八〇四
——縫殿助　六四三
——基次　四八二・四八三
——祐乘　三七四
後奈良天皇　三八八・三八九
後二條天皇　二八九・二九〇
後花園天皇　三四六・三五一・三八九
後深草天皇　二七〇・二八六—二八八・二九〇
後伏見天皇　二九八・二九六
後堀河天皇　二六二
後水尾天皇　四九三・四九四・五三〇・五四七
———院年中行事　五四七
後村上天皇　三二八・三三一・三三三・三三五
後陽成天皇　四三九・四五二・五四七・五八八

五衛府　九四・一〇〇
五監　九四
五山十刹　三六四
——文學　三六七・三六八
五事略　五五六
五十音圖　一六三
五十四郡考　五五六
五大老　四四七・四六九
五代帝王物語　三一四
五條家　六〇九
——の變　七九一
——賴元　三三四
五人組　九七・四四〇・六〇八
———御仕置帳　六〇八
五妃曲　五八八
五奉行　四三三・四六九・四七〇
五部神　一七・二一・三八
五保　九七
五匁銀　六二一・六二二・六五六
五郎右衛門（駿河孝子）　五三八
御家門　五九三
御家人　二四二・二六八・二八三・二八四・五九〇・五九七—五九九
———崩　七四八
御三家　五九三・五九五
御三卿　六五一
御所櫻堀川夜討　六九三
御存商賣物　六八九
御厄介　七五九
御用銅　六四五
御料增獻　七九〇
吳樂　七五
吳春　七四三
護國女太平記　五二四
護國寺　五四一・五八二・六三九
護持院　五四一・五八二・六三九
護法常應錄　五二五
碁太平記白石噺　六九四
戀川春町　六八九・六九一
戀娘昔八丈　六九四
肥富　三五八
幸阿彌長救　六三一
———長重　六三一
幸太夫（漂民）　六八二・七〇九・七一〇
弘安役　二七八・二七九
弘興寺　一二〇
弘道館　六七七
弘仁格式　一五三
弘文院　一五三・五三七・五八七
弘文天皇　九〇
弘法大師　一五八
皇位所在問題　二九八
皇極天皇　六七・八〇
皇朝錢　四一一
黃允吉　四四九・四五〇
—愼　四五七
—徵明　五一八
甲賀者（近江）　六〇〇
甲子會記　五五五
甲州金　六二二
——征伐　四〇六
——道中　六一六
甲府　六二五
——勤番　六三八
甲良宗廣　五八四
廣開土王　四五・四八
廣義門院　三三二・三三七

孝明天皇　七六・七七・七八・七九・八〇・八一・八二・八三
一一天皇　八四
孝徳紀　七九・八〇
孝謙天皇　八七・一〇六
孝經　四七
公餘探勝　七四
公民　四一
公辨法親王　五二
公武合體論　七五・七六・七八・七九・八〇
公双神　八四
公議政體論　八三
一一天皇　三三
光明皇后　一三
光仁天皇　一〇六・一一三
光厳天皇　三五・三六・三九・三〇・三三・三四・三五・三六
光孝天皇　一四七
光格天皇　三一・七四・七五・七六
宏憲禪師　二七五
一一阿彌陀如來　二六一
廣隆寺　七三
一一本　三四
一一二代男　三六六
一一三代男　三六六
一一五人女　三六六
一一一代女　三六六
好色一代男　三六六
一一一代男　三一〇
一一一代女　三一〇
一一一五人女　三一〇
一一一北圓堂無著世親像　三〇九
一一一文珠像　三一〇
一一一維摩像　三一〇
一一一龍燈鬼　三一〇
一一一北圓堂の四天王　三〇九
一一一南圓堂の四天王　三一〇
一一一天燈鬼　三一〇
一一一地藏菩薩　三〇九
一一興扇寺　一〇六・一一〇・三〇五・三〇六・三〇九
一一興禪護國論　三〇三
一一興讓館　六四・六七
一一興正菩薩　三〇五
一一講武所　七五
一一講書堂　五六
一一交趾　三〇五・三〇六
一一交替令　五九
一一綺干時蔗栽　一六
一一家語　四七
一一孔子　四一
一一鑛山　四一
一一庚午年籍　六・九六
一一後見　一一六
一一綱上月城　四〇六
一一康辨　三〇九
一一康助　三四
一一高家　四九・五九
一一高山圖（臺灣）　四六
一一高巖寺藥師堂　三三
一一高知　六五
一一高師直　三五・三七・三九・三〇
一一高師泰　三七・三〇
一一高師冬　三九
一一高倉仁　五
一一高憲賞行脚日記　六九
一一高野山　四三・四〇
一一一一阿彌陀二十五菩薩來迎圖　九三
一一一一五大力像　二六三
一一一一勤操僧都像　二六三
一一一一明王院赤不動　二六三
一一一一沙門道顯日本世記　三〇
一一軍　二九
一一高麗　四五・四八・五〇・七・八五
一一高貢獻　七三
一一高貢城　六
一一高麗　二六
一一公家　一〇〇
一一公卿　一〇〇
一一公卿會議　一〇〇
一一公卿參政帶人　七九・八〇
一一國事御用掛　七九
一一國事參政帶人　七九・八〇
一一國主　四九
一一國守　三九・三五一
一一國司　六四・六五
一一國司記　六四・六五
一一國司の四大人　一四
一一國學　九五・九六
一一國意考　三五・三六
一一國禁　三一
一一國體論　五一・五二
一一國內非常務總裁　一〇一
一一國分寺　一一六
一一國分尼寺　一一六
一一國法　三五一
一一國防論　五五
一一禦水鞍鞨　八四
一一獄門　四三
一一石盛　四三
一一極樂寺　二五
一一兀庵　三四
一一骨蒸集　五四〇
一一忽敬　三五
一一別天神　三
一一事代主命　六・五七
一一近衛家實　六五
一一內前　六九・七〇
一一乘經　六五
一一乘平（盜司）　六五
一一家　六・七二・七三
一一前久　四三
一一氏（家宣夫人）　六三

一一校本日本靈異記　六六
一一日本靈異記　六六
一一攻證　六六
紅毛雜話　五〇
紅白梅圖屏風　五〇
一一通春　五二
一一通信　二五
一一通有　二五
河野氏　六・四七
江南軍　二六・二七
香道　三五
功田　九
洪業　二五・二六
一一本　五
一一二代男　五六
一一三代男　五六
一一五人女　五六
一一一代女　五六
好色一代男　五六
一一一代男　三一〇
一一一代女　三一〇
一一一五人女　三一〇
一一一北圓堂無著世親像　三〇九
一一一文珠像　三一〇
一一一維摩像　三一〇
一一一龍燈鬼　三一〇
一一一南圓堂の四天王　三〇九
一一一天燈鬼　三一〇
一一一地藏菩薩　三〇九
一一興扇寺　一〇六・一一〇・三〇五・三〇六・三〇九
一一興禪護國論　三〇三
一一興讓館　六四・六七
一一興正菩薩　三〇五
一一講武所　七五
一一講書堂　五六
一一交趾　三〇五・三〇六
一一交替令　五九
一一綺干時蔗栽　一六
一一家語　四七
一一孔子　四一
一一鑛山　四一
一一庚午年籍　六・九六
一一後見　一一六
一一綱上月城　四〇六
一一康辨　三〇九
一一康助　三四
一一高家　四九・五九
一一高山圖（臺灣）　四六
一一高巖寺藥師堂　三三
一一高知　六五
一一高師直　三五・三七・三九・三〇
一一高師泰　三七・三〇
一一高師冬　三九
一一高倉仁　五
一一高憲賞行脚日記　六九
一一高野山　四三・四〇
一一一一阿彌陀二十五菩薩來迎圖　九三
一一一一五大力像　二六三
一一一一勤操僧都像　二六三
一一一一明王院赤不動　二六三
一一一一沙門道顯日本世記　三〇
一一軍　二九
一一高麗　四五・四八・五〇・七・八五
一一高貢獻　七三
一一高貢城　六
一一公家　一〇〇
一一公卿　一〇〇
一一公卿會議　一〇〇
一一公卿參政帶人　七九・八〇
一一國事御用掛　七九
一一國事參政帶人　七九・八〇
一一國主　四九
一一國守　三九・三五一
一一國司　六四・六五
一一國司記　六四・六五
一一國司の四大人　一四
一一國學　九五・九六
一一國意考　三五・三六
一一國禁　三一
一一國體論　五一・五二
一一國內非常務總裁　一〇一
一一國分寺　一一六
一一國分尼寺　一一六
一一國法　三五一
一一國防論　五五
一一禦水鞍鞨　八四
一一獄門　四三
一一石盛　四三
一一極樂寺　二五
一一兀庵　三四
一一骨蒸集　五四〇
一一忽敬　三五
一一別天神　三
一一事代主命　六・五七
一一近衛家實　六五
一一內前　六九・七〇
一一乘經　六五
一一乘平（盜司）　六五
一一家　六・七二・七三
一一前久　四三
一一氏（家宣夫人）　六三

健見　宮田　九・三六・三六
今昔物語　三七・三六
金剛峰寺　三六・三六
金剛智　三五・三五
金光明四天王護國寺　二八
金戒光明寺山越阿彌陀像　三五・六八
惟康王　二五五
惟宗直本　二五五
惟仁親王　二四五
惟喬親王　二四三
米會所　六四
蘇婆訶　二四〇
木花開耶姫命記　一七
基熙　三三
基實　三三
房卒　三三
府　一〇〇
天皇　一〇〇
忠房　六三・六九
忠景　七一・七三・七四・七七・七九
附錄　索引　サ
嵯峨　一六・一五四・一五五・一六六
一一天皇　五九
狹衣　一四〇―一五一〇
鎖國　一七・七三・六四・六七・七九
ザビエル（フランシスコ）　一七・一四八
座頭金　六五四
西園寺公經　一五七・一六九・一七〇
一一公宗　一七〇・一七一
一一家　一〇一・一六七・一六九
一一實氏　一七三
一一實衆　一六七―一九〇
西海路　六七
西行法師　一三六
西光　一一八
西郷隆盛（吉之助）　七一・七三・七四・七五・七八・七九・八〇
西條（伊豫）　五四
西大寺　一三〇
一一十二天像　一六一
雜賀（紀州）　四四・四〇五・四三一
崔芝　五七
左大臣　九四・九五
左兵衛府　一〇〇
左右衛門府　一〇〇
左右近衛府　一〇〇
サンフェリプ號　四六
左馬寮　一〇〇
左辨官局　九四
左兵庫寮　一〇〇
佐賀　六五
佐伯今毛人　一六
一一常良　七四
一一竹之助　七四
佐野善左衛門　六〇・六一
佐波　四九・五〇
一一信邦　七三
一一直方　五〇・五九・五五・五四・五一・五六・六〇
一一信淵　七六・七三・七二・七五
佐藤一齋　七九・七三・七二・七五
一一義宣　四七・四五・四五・四六
佐竹氏　三六〇・四〇〇・四三一・四三五・四三七・五九・五一・五九五
佐々木氏　三六四
佐々成政　四〇六・四三七・四三一―四三一・四三五
一一宗淳　五五五
佐々征伐　四三五
佐倉　六三五・六四三
一一盛政　四三八
佐久間象山　七三・七三・七四
一一藩（鍋島氏）　六三・六三
佐藤信淵　一一
左近衛府　一〇〇
左京職　九五
左大臣　九四・九五
左辨官局　九四
左馬寮　一三六・一三七
坂上田村麻呂　一三六
一一眞人　六一
坂田藤十郎　五七・五九
坂下門の變　六二・六三
財政（江戸幕府）　四九・四九・五一・五四・五四・五七
乘鷹異言　五九
坂本龍馬　一一
一一乙女　一一
一一直柔　一一
一一八平　一一
一一春猪　一一
一一權平　一一
一一藤吉　一一
一一龍馬　一一
一一龍馬妻お龍　一一
一一龍馬の墓　一一
一一龍馬の手紙　一一
一一龍馬の寫眞　一一
一一龍馬の遺物　一一
一一龍馬の遺品　一一
一一龍馬の遺墨　一一
一一龍馬の遺書　一一
一一龍馬の遺髮　一一
一一龍馬の遺骨　一一
一一龍馬の遺言　一一
一一龍馬の遺稿　一一
一一龍馬の遺文　一一
一一龍馬の遺詩　一一
一一龍馬の遺歌　一一
一一龍馬の遺句　一一
一一龍馬の遺書　一一
一一龍馬の遺書　一一
一一龍馬の遺書

薩州藩　七一・七三・七四・七七・七八・七九・八一・八四・八六・八七・八九・九二・九五・九七・一〇一・一〇四・一〇五・一〇七・一〇九
薩長聯合　七七・七八
薩摩　六三
――孝功能書　六四二
――外記　五七五
――浄雲　五七〇・五八五・六〇二
雜訴決斷所　三六
里内裡　二七五
里村紹巴　五六二
眞田氏　三八〇・四〇〇・四二五
里見氏　四八一・四八三・四八四
――昌華　四四・四七三・四八六
――丸　四八二
――幸貫　七八・七三二
――幸村　四八一・四八三・四八四
更科日記　一九〇
猿飼　六一二
猿蓑（俳書）　五五五
猿若勘三郎　五六五・五八五・六〇二
澤田東江　五五六
――座　五六一
境　一〇
境部摩理勢　一〇
境目大關　一〇
堺　二四一・二六〇・四一二・四八三・六二四・六三七
堺町御門　七〇―七二
堺　一〇
斬首　六四八
斬奸　九八
殘疾櫻記裏　七三六
――　六四四
産論　六四四
散位　九七
――奉行　七五
――修理　二五
山陵志　七〇八
山門派（天台宗）　一五七
山王祭　六四二
山東京傳　七四〇
山水圖屏風　六九
參豫　七一・七三・七四・七七・七八・七九・八一・八四・八六・八七・八九・九二・九五・九七・一〇一・一〇四・一〇五・一〇七・一〇九
參前舍後　六二
參親交代　四九八・五五・七五・七九

シ

志賀山　五九・五五
――大津宮　一〇七
志賀漢人惠隱　七三
志貴皇子　一〇六
詞花集　三六
紫蘂樂　一〇八
紫雲寺潟　六四三
紫香合　一五五
詩（ロテヲン・バッテイスタ）　五六・五五九
シーボルト　七三・七三
シキスタス五世　一〇〇
シャベリア　七五六
シャルトル　六四二
シャ（ジ・ヂ・セ・ウ・デ・ウ）　二四一・三六・三九
侍所　六四八
侍醫部屋　六四
雀　一二六
櫻田治助　七四三
――の變　七四―七七・七八六
櫻姬全傳曙草紙　七四―七七・七八六
櫻島　六六〇
櫻井道場　六四・五五
――籌洲　五六・六〇
參議　一七
參論宗　一〇
參要元偕　一〇
參門　六二
參木事件　六二
參賓宇銀　五七
參賓興隆の詔　五五
――滿濟　五五
――義淵　四四三・四四五
――實慶　四四五
參賓院　四四三・四四五
參賓入堂・納經堂　三五
――佛寺投　四九
――奉行　一五五
――筆　四四七・四七〇
――代和歌集　一八六
――中老　一五四
――千院彌陀三尊　三四
――藏　五四
――贖　一九一
――實隆　三五八
――條西家　二八
――天皇　一七

參親交代　四九八・六二・五五・七五・七九
參前舍後　六七
參豫　七七・七九
山東京傳　七四〇
山水圖屏風　六九
山王祭　六四二
山門派（天台宗）　一五七
山陵志　七〇八
――修理　二五
――奉行　七五
散位　九七
産論　六四四
――　六四四
斬奸　九八
斬首　六四八
堺　二四一・二六〇・四一二・四八三・六二四・六三七
堺町御門　七〇―七二
境　一〇
境部摩理勢　一〇
境目大關　一〇

施基皇子　一〇六
施主懸文庫銀　六二
四賢學銀　六三
四分律　一三
四道將軍　一三
四天王寺扇面古寫經　七・一三・一六・二一〇・四五・四九
四天王寺　七四三
四條派　一三六
四條天皇　一三六
四條隆資　一三五
四十八體佛（御物）　七八
四十八輝　一三二
四親王家　一三
四書　五四七・五四八
四國征伐　七八
四奸二姬　一五七
四戒壇　一三
四賀都　一三
志波城　一三
志野宗信　七七
志士（尊攘派）　七七
――緣起　一三

食封　一三六・一三七
繁々千居　一三六
繁々野話　一三六
重田貞一　一三六
重仁親王　一三六
締丸七倉首　一三六
隈々鎌倉　一三六
閑谷學校　一三六
七卿落　一三六
七出三不出　一三六
七夕祭　一三六
七大寺　一三六
七人比丘尼　一三六
七分金　一三六
七里浜脚　一三六
質屋　一三六
執權　一三六
執事　一三六
爬近衆　一三六
十訓抄　一三六
十返舍一九　一三六
品川　一三六
一一銀　一三六
社會敎育　一三六
釋迦　一三六
下駄屋　一三六
下駄問屋　一三六
下駄職人　一三六
下駄屋　一三六
下駄商　一三六
下駄職　一三六
下河邊長流　一三六
下田　一三六
下野藥師寺　一三六
下關　一三六
下關戰爭　一三六
下關條約　一三六
下關砲臺　一三六
下關砲擊　一三六
下關砲擊——一三六
下關砲擊——一三六
下關砲擊——

書院造　一一一行幸　一一一聚樂第　壽福寺　儒教建築　儒學（儒教）　樹下美人圖　擂木造　種痘館　朱舜水　朱子學　朱座　朱珠光　守護　綜藝種智院　射禮　酒落本　酣用枠　運羅　沙石集

附錄第四　索引　シ

新和樣　新羅原　新渠集　一一一一十二神將・藥師如來　一一新藥師寺　新都座　新町（大坂）　新補地頭　新文字鏡　新佛教　一一組　新帶頭　新續古今和歌集　新造圖彙　新撰髓腦　新撰姓氏錄　新選組　新參衆　新古今和歌集　新陰流刀法　新司樂記

一一一自河　一一部　自髮皇子　自糸割符人　舒明天皇　如如拙　如儡子　女帝　女貞　徐一貫　庶物類纂　書道　一一制度　一一所領資財の沒收　一一所司　一一代　諸國名所百景　一一番組

一一一一天皇　一一殿　自川夜船　樂翁　松平定信參照　沈惟敬　一南嶺　眞像　眞番都　眞慧　眞能（能阿彌）　眞慧（慧阿彌）　眞雅　眞阿（尼）　城山城　城割問題　一一一一彌陀三尊　一一一一水阿彌陀堂　一一自彥皇子　自族城

辰韓　一一陵　一一神武天皇正統記　神皇正統記　神功皇后　神驢矢口渡　神道　神勅　神代卷　一一一一兩界曼陀羅　一一一一藥師如來・虛空藏　一一神護寺　神祇官　一一神祇官　一一一一背廣申　一一物　一一一一二つ腹帶　一一天綱島　心中　心齋橋の敵討　一一心學　一一早稻

周鳳　周文　周防　周易　拾遺集　上洛　仁風一覽　壬申之亂　人口減衰　森羅萬象　親王　親兵設置　親鸞　秦始皇帝　寢殿造　一一一一

縱壙　三六
十七條憲法　六九・七〇
十住心論　一五八
十大寺　二二〇
十二年合戰　一八四
十人組　四四〇
十八大通　六五五
住宅建築　三〇九・三七三・五八三
重追放　六四八
重訂解體新書　七二八・七三〇
鷲峯山　二九四
徙倭　三五六
宿　六二四
宿驛　六二六
肅愼　八四
夙の者　六二三
出仕停止　二六七
出定笑話　七二四
出世景清　五七二
春華門院　二八七
春慶塗　六三一
春色梅曆　七二八
俊寬　六九・七〇
俊芿　一五八
順天城　二二〇
順德天皇　一八四
——陵　四四〇
順和　六五五
淳和奬學兩院別當　五八二
淳仁天皇　七七八
莊園　九四
莊官　二九四
莊司　三五六
松下村塾　二七六
奬學院　六二四
娼妓絹飾　六二六
娼妓地理記　八四
昭訓門院　六二三
小郡　二六七
小乘佛教　七二四
小說　一八九・一九〇・二三七・三五〇・五六五—五六九・六八八—七〇・九九八・一〇〇・二四〇・五九〇・五九二
小領　六九三・七三五—七四五
將軍　一二六
——繼嗣問題（幕末）　七六七—七七二
——上洛　七八六・七九〇
彰考館　五五五
稱光天皇　三四三
稱德天皇　六七・一〇六
相國寺　三六四・四七九
——本堂　五八二
少將內侍　七七八
少納言局　九四
少貳氏　三二二・三三三・三四六・三八七
——景資　二七六
——貞經　二九七・三一六・三三三
——資能　二七四・二七五
——經資　二七六
——賴尙　三一六・三二三・三三〇・三三四
清淨光寺　三〇二
商船　四一四
正倉院　二七七・二八八
正中の變　二九三
聖帝造　一九四
聖德太子　六六—七八
——像　二二六
——繪傳　五七九
聖武天皇　一〇六・一一八・一一九
聖遊廓　六九一
尙德館　六七七
尙寧　五〇六
庄內　六三五
庄屋　六〇六
證如　四〇四
證人　五三三
召波　六八五
肖柏　三六九
蕉風　五六三—五六五
昌平黌　七〇四
——坂學問所　七〇四・七一九
正本製　七三九
勝滿　一一九
勝鬘經　七四
鐘銘問題　四八〇
鐘樓　三〇八
青蓮院宮（尊融法親王）　久邇宮參照
——流　三一一
生類憐令　五四二
判官　五九
攘夷期限　九五
——論　六九一・四〇四・四二九・四四一・六二五・六二六
讓位の創始　三九〇・四四三・五八三
讓國の詞　五八一・五八三・五八五
貞永式目　五九四
貞觀格式　二三五・二五二
貞觀寺　三〇九
貞享甲子曆　一九六
上圓下方墳　六一八
上宮御製疏　六二七
——法皇帝說　七五七・七五八
——法皇帝說注　二〇四
上郡　七四・二一〇
上古諸事　一九七
上功　二三二
上國　三二一
上代樣　三六四
上納會所　三〇〇
承應の變　三〇八
承和の變　三〇二
城下　一一三・一九二・三〇〇・三六三・五六二
城郭　一一三・一九二・三〇〇・三六三・三六五・三七七・三八一・五六一・五六二
——建築　三九一・四〇四・四二九・四四一・六二五・六二六
城主　三九〇・四四三・五八三・五八五
城長茂　五九四
定覺　二三五・二五二
定慶　三〇九
定朝　一九六
定飛脚　六一八
定火消　六二七
蒸汽船の發明　七五七・七五八
成功　二〇四
成實宗　七四・二一〇
成尋　一九七
成勝寺　二三二
淨光明寺　三二一
淨智寺　三六四
淨土敎　三〇〇
——寺本堂（播磨）　三〇八
——宗　三〇二
——眞宗　三〇一・三六三・三六五・三七七・三八一・五六一・五六二
淨妙寺　三六四

——町　九五
城郭　七八七・七八八
——建築　七五三・七五四・七五八・七七五
城主　五六
城長茂　六六五
定覺　二六六一—二六九
定慶　一五三
定朝　一五九
定飛脚　五六〇・六八三
定火消　三六
蒸汽船の發明　七四
成功　七六
成實宗　七二六
成尋　九四
成勝寺　九一
淨光明寺　九九
淨智寺　九四
淨土敎　一九一
——寺本堂（播磨）　六五五
——宗　五〇三
——眞宗　一四四
淨妙寺　五八六

崇光天皇　三三・三四・三五・三四
崇徳天皇　二三・二四・三五・三四
スタール夫人　五五
スプリング　五四
スペンサー　三九
スマイルス（サミュエル）　三四・三五・三六・三七
スミス（アダム）　三四・三五・三六・三七
スミス（ジョン）　三四・三五・三六・三七
スミス（ホレース）　三四・三五・三六・三七
スミス（ロバート）　三四・三五・三六・三七
スミス（ワシントン）　三四・三五・三六・三七
スミス（ヴ・ジ）　三四・三五・三六・三七
スミス（ヴ・ヂ）　三四・三五・三六・三七
スミス（ヴ・ヂ）　三四・三五・三六・三七
スミス（ヴ・ヂ

一一紀聞	五五九
一一錢譜	六八三
西力東漸	七五五—七五七
成趣園	六六三
成破盟約	七八一
成務天皇	二六
齊浦	三六二
青綠山水樓閣圖	七四二
關ヶ原合戰	四六九—四七六
關孝和	五六〇・五八六
關所	六一七
關鐵之助	七七四
關取千兩幟	六九三
石槨	三六
石棺	三七
石星	四五三・四五八
石壘	二七八・二八二
攝家	六〇九
攝津職	九五
雪舟	三七二・五七八
雪村	三七二
雪中庵(嵐雪)	五六五
折衷學派	六七六
說話集	三一四
絕海	三六四・三六八
錢	六二三
錢屋	六二八
錢札	六二四
錢舜舉	六九六
宣化天皇	五六
宣敎師	四一四・四二二
宣祖	四四九・四五一・四五三
宣明曆	五六〇
宣陽門院	二八六
千巖和尙	五五七
千家	三〇
千載集	二三六
千住	六二七
千姬	四七八・四八四
先期開港	七九六・七九七・八〇一・八〇二
先代蕉辭	九一
仙石宗也	四八一
一一秀久	四三一・四三二
仙臺	六二三・六二五・六二七・六三一
一一通寶	六二三
專修寺	三六六
一一一派	三〇二
洗心洞劄記	七二三
船上山	二九六・二九八
選錢令	六二三
選擇本願念佛集	三〇一
箋註倭名類聚抄	七二六
穿當珍話	六九一
賤民	九七・六一一—六一四
川柳	六七四・六八七
蔫錄	七二八
前九年役	一八四
前後赤壁圖	七四三
善光寺(門前町)	六二五
一一一本堂	五八二
善信	六五・一二一
善照寺	三九三
善德	六五
善無畏	一五七
善隣國寶記	三六七
全國合同策(岩倉)	八〇二

禪宗	一二二・三〇三
禪林寺二十五菩薩來迎圖	二三五
ソ　(ゾ)	
ソテロ(ルイス)	五〇七
租	八三・九九
租稅	四四二
租入	六四一
祖阿	三五八
祖元	二七八・三〇四・三六四
祖承訓	四五三
祖先崇拜	二八
蘇因高	七二
蘇我氏	四七・五八・六三・八〇・八一
一一赤兄	八七・九〇
一一朝臣	九〇
一一稻目	五一・五八・六三・六四
一一入鹿	八〇・八一
一一馬子	五八・六五—六七・七四・七八
一一蝦夷	五八・八〇・八一
一一韓子	四九
一一倉山田石川麻呂	八一・八八
一一滿智	五四・五八
蘇定方	八五
蘇那葛叱智	四四
曾我會稽山	五七二
一一祐成・時致	二四八
曾尸茂利	四三
曾根崎心中	五七三
塑造	一二五
礎盤	三〇八
草庵集	三六八
草花人物扇面散屏風	五八〇
草木圖說	七三一
草鹿	六三七
宗氏	三六一・三六二・七八一
宗祇	三六九
宗長	三六九
宗助國	二七六
一義調	四四九
一義智	四四九・四五〇・四五四・五〇四
相應寺屏風	五八〇
相續法	一〇三・二六八
相馬(陸奧)	六三一
宋學	三六六
宋元畫	三七一・三七二
宋明錢	四一一
蒼虬	七三四
僧綱	100
僧正	七三
一一遍昭	一六二
僧都	七三・100
僧尼	六一〇・六一三
僧兵	二〇四・二〇五
總持寺	三六五
奏者番	四八九
裝飾畫	四四四
曹洞宗	三〇四・三六五・五六二
臟志	六八三
造士館	六七七
造庭園藝	三七四
增上寺	五四〇・五八二
增補重訂內科選要	七三〇
副物	八三・九九
續群書類從	七二六
續日本紀	一五四

續日本後紀　一五四
粟末靺鞨　一一五
俗論黨（長州）　七九七
園家　六〇九
側用人　五二四・五二六・五二八
杣山城　三一七
染殿　六四三
夫從以來記　六八九
尊圓法親王　三一一
尊快法親王　二五九
尊號事件　七〇五―七〇七・七五二
尊秀王　三四八
尊勝寺　二三三
尊攘派　七八二・七八三・七八五・七八七・七八八・七九一
尊攘論　七七七
尊皇論　七五一―七五三
尊良親王　二九五・三一一・三二五・三二七
孫文　五〇四

タ（ダ）

多賀城　一一三
多賀潮湖（英一蝶）　七四三
多紀桂山　六九一
多祁理宮　一一五
多沙津　七九七
多治比縣守　六〇九
――廣成　五二四・五二六・五二八
多治見國長　三一七
多田院　六四三
多度津　六八九
多寶塔　三一一
多利思比孤　二五九
他我身の上　七〇五―七〇七・七五二
手白香皇女　三四八
手力雄命　二三三
手末調　七七七
田代松意　七五一―七五三
田付兵庫助　二九五・三一一・三二五・三二七
――流砲術　五〇四
田莊　六八〇
田中氏　五七九
――勝介　六八三
――忠政　一九
――訥言　一九
田螺金魚　六八三
田沼意次　一九
――意知　四九
――意誠　一一五
――意行　一一五
――龍助　二九二・二九三
田の浦　四七九
田能村竹田　七九三
田村藍水　一六〇
田安龜之助　七三
――宗武　五六六
――慶賴　五六
太宰春台　一五
太宰帥　一一三
太宰府　五六三
太政官　六〇一
太政大臣　八三
伊達氏　五九二
――氏の摩芥集　五〇六
――稙宗　四九九

――鄰宗　三八二
――晴宗　三八二
――政宗　三八二・四三五―四三七・四五〇・四五二・四七三・四七五・四八三・五〇七
――宗城　七八八・七九三・八七七・九〇・八〇一
――行朝　三三六
退院　六四八
大化改新　七九―八四
大官大寺　七三
大郡　八三・九四
大功　九九
大國　九四
大山寺本堂　三〇八
――阿彌陀像　三四四
大祚榮　一二五
大瓶東　三〇八
大寶律令　九二・九三
大陵　八〇
大領　八三
大老　四八八
太上天皇　二九八・七〇五
――法皇　三四二
大臣家　六〇九
大嘗會復興　五三〇
大乘院門跡　六三九
大乘佛教　七四
大成殿　五三八
大藏一覽集　五四七
大塔宮　護良親王參照
大道寺　四二四
大德寺　四二七・五八三
――大仙院　三七四
――の唐門　四四三・四四四
――佛殿　五八二
――法堂　五七八・五八二
大納言　九四・九五
大內裡圖考證　七〇四
大日本史　四六・五五五・七二六
大悲菩薩　三〇五
大名　三九一・五九〇―五九七
――貸　六五七
――御紋盡　五九七
――の窮乏　七四七・七四八
――の陶汰　四九九
太平記　六〇九
――拔書　五三〇
太平寺　六三九
泰西輿地圖說　七四
――本草名疏　五三八
當麻皇子　五四七
――公　四二七・五八三
――寺東西塔　三七四
――極樂變相曼陀羅　四四三・四四四
――眞人　五八二
臺灣　五七八・五八二
――事件　九四・九五
大安寺　九四・九五
――流　七〇四
大安殿　四六・五五五・七二六
大學　三〇五
大覺寺　三九一・五九〇―五九七
――統　六五七
大黑屋幸太夫　五九七
大黑常是　七四七・七四八
大極殿　四九九
大師號の濫觴　二八八―二九一・三二三・三二七・三五一
幸太夫參照　六三
――の窮乏　一〇八・一三四
――の陶汰　一五七

高階隆兼(春日派) 三10
一一天皇 二元・二六一
高倉家彰 四四四
高岳親王 二元六
高尾城 二六二
高橋景保 二三
一一多一郎 七三・七五
高天原 四〇九
高間傳兵衛 六四二
高松 六三五
一一城 四〇九
高皇産靈尊 三一
高向漢人玄理 七三・八二
玉川上水 三五・七七
玉祖命 三五・四二六
一一時堯 四三五・四二六
種子島 七四・七五
一一久眞 四九・五六
谷時中 六一・七三・七五
谷口蕪村 二六三
店借人 六三
建部賀弘 五七
建稻種命 二六
辰巳の園 六二
達谷窟 二六
立山書院 五七
立役 三五・七七
立原翠軒 四〇七・五二
一一宗茂 四三・四七六
立花氏 二元
立入頼隆 二元
丹比公 六三
足高の制 二六
建部御名方命 三五・四〇五一四〇七
武田勝頼 三四・四〇二・四〇五
一一國信 三五〇
一一耕雲齋 七三
一一信玄(晴信) 三五〇・三二・三八一四〇一・四七
一一信義 三六〇
一一信光 三三
一一信虎 三三
武田信玄 三六
一一一飛脚 四九・四五
一一領地の配置 四九・四五
大猷院廟 五六三
代官 四九〇
醍醐家 六〇九
一一寺 一五九・四五・四九
一一寺經藏 三六
一一寺藥師堂 三三
一一天皇 一四九
一一の花見 四五
大佛殿 一〇八・三四
台密 三五
一一輪王寺 三六
竹内式部 二六三
竹取物語 六六
竹田出雲 六三
竹島幸左衛門 五七
竹崎 二六
一一季長 三七
武鑑 二六
武藏坊彌太郎 三
武甯川別命 三
武田勝頼 三四・四〇二・四〇五
一一信玄(晴信) 三五〇・三二・三八一四〇一・四七
一一信義 三六〇
一一信光 三三
一一信虎 三三
一一耕雲齋 七三
一一國信 三五〇
玉祖命 三五・四二六
一一時堯 四三五・四二六
玉川上水 三五・七七
玉依姫命 四〇七・五二
玉村吉彌 五七
玉蟲厨子 五七
玉作部 五七
玉木 六二
玉藤菩薩 六二
玉泉寺 四〇七・五二
檀林皇后 二五三・二五五
檀林寺 二五五
檀浦の戰 三元・三五
檀林寺 二五五
一一信福 三〇・四五・七五
一一信濃 三〇・四五・七五
一一宿禰 三〇・四五・七五
武内大臣 六四
武市半平太 三元
一一派 三一
一一爲成 三〇
一一勝實 三〇
一一託摩甕實 四〇七・四三一
澁川一公方 六三
澁澤馬琴 四〇七・四三一
澁谷庵 四〇七・四三一
澁谷道主命 四〇七・四三一
澁川春海 六三
一一景佑 七一・七三・七五・七六
一一政通 七一・七三・七五・七六
一一政熙 五七
一一信清 五七
一一輔熙 六九・七〇五・七六
一一輔平 六九・七〇五・七六
澁司家 六九・七〇五・七六
獵狩 四三一・六六
一一彥九郎 七八
一一飛驒守 四二九・五一〇
高山右近(南坊) 四二九
高望王 七八
高島秋帆 七九・七三一・七三
一一宮 一九
高須(美濃) 五四
高杉晉作 七三・七四・七七・七八
高瀨川 六二
高瀨梅盛 六二
高田 六三・六五
高田嘉兵衛 七二六
一一彥四郎 照 七
柳亭種彥參 六三・六五
一一政熙 五七
一一信清 五七
一一輔熙 六九・七〇五・七六
一一輔平 六九・七〇五・七六
獵司家 六九・七〇五・七六
獵狩 四三一・六六
一一彥九郎 七八
一一飛驒守 四二九・五一〇
高山右近(南坊) 四二九
高望王 七八

附錄第四　索引　タ

高市皇子 二五五・二五七
高市本座 二五五
竹本義太夫(筑後掾) 三五・七七
竹本座 三五・六七
竹俣當綱 六七一六七
一一康德 六七一六七
竹内式部 二六三
竹取物語 六六
竹田出雲 六三
竹島幸左衛門 五七
竹崎 二六
一一季長 三七
武鑑 二六
武藏坊彌太郎 三
武甯川別命 三
武田勝頼 三四・四〇二・四〇五
一一信玄(晴信) 三五〇・三二・三八一四〇一・四七
一一信義 三六〇
一一信光 三三
一一信虎 三三
一一耕雲齋 七三
一一國信 三五〇
玉祖命 三五・四二六
一一時堯 四三五・四二六
玉川上水 三五・七七
玉依姫命 四〇七・五二
玉村吉彌 五七
玉蟲厨子 五七
玉作部 五七
玉木 六二
玉藤菩薩 六二
玉泉寺 四〇七・五二
檀林皇后 二五三・二五五
檀林寺 二五五
檀浦の戰 三元・三五
檀林寺 二五五
一一信福 三〇・四五・七五
一一信濃 三〇・四五・七五
一一宿禰 三〇・四五・七五
武内大臣 六四
武市半平太 三元
一一派 三一
一一爲成 三〇
一一勝實 三〇
一一託摩甕實 四〇七・四三一
澁川一公方 六三
澁澤馬琴 四〇七・四三一
澁谷庵 四〇七・四三一
澁谷道主命 四〇七・四三一
澁川春海 六三
一一景佑 七一・七三・七五・七六
一一政通 七一・七三・七五・七六
一一政熙 五七
一一信清 五七
一一輔熙 六九・七〇五・七六
一一輔平 六九・七〇五・七六
獵司家 六九・七〇五・七六
獵狩 四三一・六六
一一彥九郎 七八
一一飛驒守 四二九・五一〇
高山右近(南坊) 四二九
高望王 七八
高島秋帆 七九・七三一・七三
一一宮 一九
高須(美濃) 五四
高杉晉作 七三・七四・七七・七八
高瀨川 六二
高瀨梅盛 六二
高田 六三・六五
高田嘉兵衛 七二六
一一彥四郎 照 七
柳亭種彥參 六三・六五
一一政熙 五七
一一信清 五七
一一輔熙 六九・七〇五・七六
一一輔平 六九・七〇五・七六
獵司家 六九・七〇五・七六
獵狩 四三一・六六
一一彥九郎 七八
一一飛驒守 四二九・五一〇
高山右近(南坊) 四二九
高望王 七八

近松半二　地方制度　四三・四九
松平定信　酒造制金　六六
中外繁昌記　仲恭天皇　一〇六
中宮寺　仲恭天皇　四四
中尊寺　長安京　一〇六
長圓　調錢司　一四六
千々石ミゲル　ドム・ミゲル
千早城　智略の君　二三〇
千葉胤正　常胤　一三・一四
千葉胤貞　胤正　一三
千葉常胤　胤正　一三
千葉胤盛　胤正　一三
千葉胤行　胤正　一三
千葉胤頼　胤正　一三
千葉胤持　胤正　一三
千葉胤綱　胤正　一三
千葉介貞胤　胤正　一三
千葉介貞盛　胤正　一三
千葉介胤正　胤正　一三
千葉介胤盛　胤正　一三
千葉介胤貞　胤正　一三
千葉介胤衡　胤正　一三
千葉介胤度　胤正　一三
千葉介胤常　胤正　一三
千葉介胤宗　胤正　一三
千葉介胤綱　胤正　一三
千葉介胤頼　胤正　一三
千葉介胤行　胤正　一三
千葉介胤持　胤正　一三
千葉介胤宗　胤正　一三
千葉介胤正　胤正　一三
千葉介胤盛　胤正　一三
千葉介胤貞　胤正　一三
千葉介胤衡　胤正　一三
千葉介胤度　胤正　一三
千葉介胤常　胤正　一三
千葉介胤宗　胤正　一三
千葉介胤綱　胤正　一三
千葉介胤頼　胤正　一三
千葉介胤行　胤正　一三
千葉介胤持　胤正　一三
千葉介胤綱

朝集殿　重源　彫刻　三三・三四・三五・三六・三七・三八・三九・四〇・四一・四二・四三・四四・四五・四六
朝散太夫　彫金　三四・三五・三六・三七
重源　長髪眦　六二
圭氷　一〇一
堺井津道　長谷　一一一・一一二・一一三・一一四・一一五・一一六・一一七・一一八・一一九・一二〇・一二一・一二二・一二三・一二四・一二五・一二六・一二七・一二八・一二九・一三〇・一三一・一三二・一三三・一三四・一三五・一三六・一三七・一三八・一三九・一四〇・一四一・一四二・一四三・一四四・一四五・一四六・一四七・一四八・一四九・一五〇・一五一・一五二・一五三・一五四・一五五・一五六・一五七・一五八・一五九・一六〇・一六一・一六二・一六三・一六四・一六五・一六六・一六七・一六八・一六九・一七〇・一七一・一七二・一七三・一七四・一七五・一七六・一七七・一七八・一七九・一八〇・一八一・一八二・一八三・一八四・一八五・一八六・一八七・一八八・一八九・一九〇・一九一・一九二・一九三・一九四・一九五・一九六・一九七・一九八・一九九・二〇〇・二〇一・二〇二・二〇三・二〇四・二〇五・二〇六・二〇七・二〇八・二〇九・二一〇・二一一・二一二・二一三・二一四・二一五・二一六・二一七・二一八・二一九・二二〇・二二一・二二二・二二三・二二四・二二五・二二六・二二七・二二八・二二九・二三〇・二三一・二三二・二三三・二三四・二三五・二三六・二三七・二三八・二三九・二四〇・二四一・二四二・二四三・二四四・二四五・二四六・二四七・二四八・二四九・二五〇・二五一・二五二・二五三・二五四・二五五・二五六・二五七・二五八・二五九・二六〇・二六一・二六二・二六三・二六四・二六五・二六六・二六七・二六八・二六九・二七〇・二七一・二七二・二七三・二七四・二七五・二七六・二七七・二七八・二七九・二八〇・二八一・二八二・二八三・二八四・二八五・二八六・二八七・二八八・二八九・二九〇・二九一・二九二・二九三・二九四・二九五・二九六・二九七・二九八・二九九・三〇〇・三〇一・三〇二・三〇三・三〇四・三〇五・三〇六・三〇七・三〇八・三〇九・三一〇・三一一・三一二・三一三・三一四・三一五・三一六・三一七・三一八・三一九・三二〇・三二一・三二二・三二三・三二四・三二五・三二六・三二七・三二八・三二九・三三〇・三三一・三三二・三三三・三三四・三三五・三三六・三三七・三三八・三三九・三四〇・三四一・三四二・三四三・三四四・三四五・三四六・三四七・三四八・三四九・三五〇・三五一・三五二・三五三・三五四・三五五・三五六・三五七・三五八・三五九・三六〇・三六一・三六二・三六三・三六四・三六五・三六六・三六七・三六八・三六九・三七〇・三七一・三七二・三七三・三七四・三七五・三七六・三七七・三七八・三七九・三八〇・三八一・三八二・三八三・三八四・三八五・三八六・三八七・三八八・三八九・三九〇・三九一・三九二・三九三・三九四・三九五・三九六・三九七・三九八・三九九・四〇〇・四〇一・四〇二・四〇三・四〇四・四〇五・四〇六・四〇七・四〇八・四〇九・四一〇・四一一・四一二・四一三・四一四・四一五・四一六・四一七・四一八・四一九・四二〇・四二一・四二二・四二三・四二四・四二五・四二六・四二七・四二八・四二九・四三〇・四三一・四三二・四三三・四三四・四三五・四三六・四三七・四三八・四三九・四四〇・四四一・四四二・四四三・四四四・四四五・四四六・四四七・四四八・四四九・四五〇・四五一・四五二・四五三・四五四・四五五・四五六・四五七・四五八・四五九・四六〇・四六一・四六二・四六三・四六四・四六五・四六六・四六七・四六八・四六九・四七〇・四七一・四七二・四七三・四七四・四七五・四七六・四七七・四七八・四七九・四八〇・四八一・四八二・四八三・四八四・四八五・四八六・四八七・四八八・四八九・四九〇・四九一・四九二・四九三・四九四・四九五・四九六・四九七・四九八・四九九・五〇〇・五〇一・五〇二・五〇三・五〇四・五〇五・五〇六・五〇七・五〇八・五〇九・五一〇・五一一・五一二・五一三・五一四・五一五・五一六・五一七・五一八・五一九・五二〇・五二一・五二二・五二三・五二四・五二五・五二六・五二七・五二八・五二九・五三〇・五三一・五三二・五三三・五三四・五三五・五三六・五三七・五三八・五三九・五四〇・五四一・五四二・五四三・五四四・五四五・五四六・五四七・五四八・五四九・五五〇・五五一・五五二・五五三・五五四・五五五・五五六・五五七・五五八・五五九・五六〇・五六一・五六二・五六三・五六四・五六五・五六六・五六七・五六八・五六九・五七〇・五七一・五七二・五七三・五七四・五七五・五七六・五七七・五七八・五七九・五八〇・五八一・五八二・五八三・五八四・五八五・五八六・五八七・五八八・五八九・五九〇・五九一・五九二・五九三・五九四・五九五・五九六・五九七・五九八・五九九・六〇〇・六〇一・六〇二・六〇三・六〇四・六〇五・六〇六・六〇七・六〇八・六〇九・六一〇・六一一・六一二・六一三・六一四・六一五・六一六・六一七・六一八・六一九・六二〇・六二一・六二二・六二三・六二四・六二五・六二六・六二七・六二八・六二九・六三〇・六三一・六三二・六三三・六三四・六三五・六三六・六三七・六三八・六三九・六四〇・六四一・六四二・六四三・六四四・六四五・六四六・六四七・六四八・六四九・六五〇・六五一・六五二・六五三・六五四・六五五・六五六・六五七・六五八・六五九・六六〇・六六一・六六二・六六三・六六四・六六五・六六六・六六七・六六八・六六九・六七〇・六七一・六七二・六七三・六七四・六七五・六七六・六七七・六七八・六七九・六八〇・六八一・六八二・六八三・六八四・六八五・六八六・六八七・六八八・六八九・六九〇・六九一・六九二・六九三・六九四・六九五・六九六・六九七・六九八・六九九・七〇〇・七〇一・七〇二・七〇三・七〇四・七〇五・七〇六・七〇七・七〇八・七〇九・七一〇・七一一・七一二・七一三・七一四・七一五・七一六・七一七・七一八・七一九・七二〇・七二一・七二二・七二三・七二四・七二五・七二六・七二七・七二八・七二九・七三〇・七三一・七三二・七三三・七三四・七三五・七三六・七三七・七三八・七三九・七四〇・七四一・七四二・七四三・七四四・七四五・七四六・七四七・七四八・七四九・七五〇・七五一・七五二・七五三・七五四・七五五・七五六・七五七・七五八・七五九・七六〇・七六一・七六二・七六三・七六四・七六五・七六六・七六七・七六八・七六九・七七〇・七七一・七七二・七七三・七七四・七七五・七七六・七七七・七七八・七七九・七八〇・七八一・七八二・七八三・七八四・七八五・七八六・七八七・七八八・七八九・七九〇・七九一・七九二・七九三・七九四・七九五・七九六・七九七・七九八・七九九・八〇〇・八〇一・八〇二・八〇三・八〇四・八〇五・八〇六・八〇七・八〇八・八〇九・八一〇・八一一・八一二・八一三・八一四・八一五・八一六・八一七・八一八・八一九・八二〇・八二一・八二二・八二三・八二四・八二五・八二六・八二七・八二八・八二九・八三〇・八三一・八三二・八三三・八三四・八三五・八三六・八三七・八三八・八三九・八四〇・八四一・八四二・八四三・八四四・八四五・八四六・八四七・八四八・八四九・八五〇・八五一・八五二・八五三・八五四・八五五・八五六・八五七・八五八・八五九・八六〇・八六一・八六二・八六三・八六四・八六五・八六六・八六七・八六八・八六九・八七〇・八七一・八七二・八七三・八七四・八七五・八七六・八七七・八七八・八七九・八八〇・八八一・八八二・八八三・八八四・八八五・八八六・八八七・八八八・八八九・八九〇・八九一・八九二・八九三・八九四・八九五・八九六・八九七・八九八・八九九・九〇〇・九〇一・九〇二・九〇三・九〇四・九〇五・九〇六・九〇七・九〇八・九〇九・九一〇・九一一・九一二・九一三・九一四・九一五・九一六・九一七・九一八・九一九・九二〇・九二一・九二二・九二三・九二四・九二五・九二六・九二七・九二八・九二九・九三〇・九三一・九三二・九三三・九三四・九三五・九三六・九三七・九三八・九三九・九四〇・九四一・九四二・九四三・九四四・九四五・九四六・九四七・九四八・九四九・九五〇・九五一・九五二・九五三・九五四・九五五・九五六・九五七・九五八・九五九・九六〇・九六一・九六二・九六三・九六四・九六五・九六六・九六七・九六八・九六九・九七〇・九七一・九七二・九七三・九七四・九七五・九七六・九七七・九七八・九七九・九八〇・九八一・九八二・九八三・九八四・九八五・九八六・九八七・九八八・九八九・九九〇・九九一・九九二・九九三・九九四・九九五・九九六・九九七・九九八・九九九・一〇〇〇・一〇〇一・一〇〇二・一〇〇三・一〇〇四・一〇〇五・一〇〇六・一〇〇七・一〇〇八・一〇〇九・一〇一〇・一〇一一・一〇一二・一〇一三・一〇一四・一〇一五・一〇一六・一〇一七・一〇一八・一〇一九・一〇二〇・一〇二一・一〇二二・一〇二三・一〇二四・一〇二五・一〇二六・一〇二七・一〇二八・一〇二九・一〇三〇・一〇三一・一〇三二・一〇三三・一〇三四・一〇三五・一〇三六・一〇三七・一〇三八・一〇三九・一〇四〇・一〇四一・一〇四二・一〇四三・一〇四四・一〇四五・一〇四六・一〇四七・一〇四八・一〇四九・一〇五〇・一〇五一・一〇五二・一〇五三・一〇五四・一〇五五・一〇五六・一〇五七・一〇五八・一〇五九・一〇六〇・一〇六一・一〇六二・一〇六三・一〇六四・一〇六五・一〇六六・一〇六七・一〇六八・一〇六九・一〇七〇・一〇七一・一〇七二・一〇七三・一〇七四・一〇七五・一〇七六・一〇七七・一〇七八・一〇七九・一〇八〇・一〇八一・一〇八二・一〇八三・一〇八四・一〇八五・一〇八六・一〇八七・一〇八八・一〇八九・一〇九〇・一〇九一・一〇九二・一〇九三・一〇九四・一〇九五・一〇九六・一〇九七・一〇九八・一〇九九・一一〇〇・一一〇一・一一〇二・一一〇三・一一〇四・一一〇五・一一〇六・一一〇七・一一〇八・一一〇九・一一一〇・一一一一・一一一二・一一一三・一一一四・一一一五・一一一六・一一一七・一一一八・一一一九・一一二〇・一一二一・一一二二・一一二三・一一二四・一一二五・一一二六・一一二七・一一二八・一一二九・一一三〇・一一三一・一一三二・一一三三・一一三四・一一三五・一一三六・一一三七・一一三八・一一三九・一一四〇・一一四一・一一四二・一一四三・一一四四・一一四五・一一四六・一一四七・一一四八・一一四九・一一五〇・一一五一・一一五二・一一五三・一一五四・一一五五・一一五六・一一五七・一一五八・一一五九・一一六〇・一一六一・一一六二・一一六三・一一六四・一一六五・一一六六・一一六七・一一六八・一一六九・一一七〇・一一七一・一一七二・一一七三・一一七四・一一七五・一一七六・一一七七・一一七八・一一七九・一一八〇・一一八一・一一八二・一一八三・一一八四・一一八五・一一八六・一一八七・一一八八・一一八九・一一九〇・一一九一・一一九二・一一九三・一一九四・一一九五・一一九六・一一九七・一一九八・一一九九・一二〇〇・一二〇一・一二〇二・一二〇三・一二〇四・一二〇五・一二〇六・一二〇七・一二〇八・一二〇九・一二一〇・一二一一・一二一二・一二一三・一二一四・一二一五・一二一六・一二一七・一二一八・一二一九・一二二〇・一二二一・一二二二・一二二三・一二二四・一二二五・一二二六・一二二七・一二二八・一二二九・一二三〇・一二三一・一二三二・一二三三・一二三四・一二三五・一二三六・一二三七・一二三八・一二三九・一二四〇・一二四一・一二四二・一二四三・一二四四・一二四五・一二四六・一二四七・一二四八・一二四九・一二五〇・一二五一・一二五二・一二五三・一二五四・一二五五・一二五六・一二五七・一二五八・一二五九・一二六〇・一二六一・一二六二・一二六三・一二六四・一二六五・一二六六・一二六七・一二六八・一二六九・一二七〇・一二七一・一二七二・一二七三・一二七四・一二七五・一二七六・一二七七・一二七八・一二七九・一二八〇・一二八一・一二八二・一二八三・一二八四・一二八五・一二八六・一二八七・一二八八・一二八九・一二九〇・一二九一・一二九二・一二九三・一二九四・一二九五・一二九六・一二九七・一二九八・一二九九・一三〇〇・一三〇一・一三〇二・一三〇三・一三〇四・一三〇五・一三〇六・一三〇七・一三〇八・一三〇九・一三一〇・一三一一・一三一二・一三一三・一三一四・一三一五・一三一六・一三一七・一三一八・一三一九・一三二〇・一三二一・一三二二・一三二三・一三二四・一三二五・一三二六・一三二七・一三二八・一三二九・一三三〇・一三三一・一三三二・一三三三・一三三四・一三三五・一三三六・一三三七・一三三八・一三三九・一三四〇・一三四一・一三四二・一三四三・一三四四・一三四五・一三四六・一三四七・一三四八・一三四九・一三五〇・一三五一・一三五二・一三五三・一三五四・一三五五・一三五六・一三五七・一三五八・一三五九・一三六〇・一三六一・一三六二・一三六三・一三六四・一三六五・一三六六・一三六七・一三六八・一三六九・一三七〇・一三七一・一三七二・一三七三・一三七四・一三七五・一三七六・一三七七・一三七八・一三七九・一三八〇・一三八一・一三八二・一三八三・一三八四・一三八五・一三八六・一三八七・一三八八・一三八九・一三九〇・一三九一・一三九二・一三九三・一三九四・一三九五・一三九六・一三九七・一三九八・一三九九・一四〇〇・一四〇一・一四〇二・一四〇三・一四〇四・一四〇五・一四〇六・一四〇七・一四〇八・一四〇九・一四一〇・一四一一・一四一二・一四一三・一四一四・一四一五・一四一六・一四一七・一四一八・一四一九・一四二〇・一四二一・一四二二・一四二三・一四二四・一四二五・一四二六・一四二七・一四二八・一四二九・一四三〇・一四三一・一四三二・一四三三・一四三四・一四三五・一四三六・一四三七・一四三八・一四三九・一四四〇・一四四一・一四四二・一四四三・一四四四・一四四五・一四四六・一四四七・一四四八・一四四九・一四五〇・一四五一・一四五二・一四五三・一四五四・一四五五・一四五六・一四五七・一四五八・一四五九・一四六〇・一四六一・一四六二・一四六三・一四六四・一四六五・一四六六・一四六七・一四六八・一四六九・一四七〇・一四七一・一四七二・一四七三・一四七四・一四七五・一四七六・一四七七・一四七八・一四七九・一四八〇・一四八一・一四八二・一四八三・一四八四・一四八五・一四八六・一四八七・一四八八・一四八九・一四九〇・一四九一・一四九二・一四九三・一四九四・一四九五・一四九六・一四九七・一四九八・一四九九・一五〇〇・一五〇一・一五〇二・一五〇三・一五〇四・一五〇五・一五〇六・一五〇七・一五〇八・一五〇九・一五一〇・一五一一・一五一二・一五一三・一五一四・一五一五・一五一六・一五一七・一五一八・一五一九・一五二〇・一五二一・一五二二・一五二三・一五二四・一五二五・一五二六・一五二七・一五二八・一五二九・一五三〇・一五三一・一五三二・一五三三・一五三四・一五三五・一五三六・一五三七・一五三八・一五三九・一五四〇・一五四一・一五四二・一五四三・一五四四・一五四五・一五四六・一五四七・一五四八・一五四九・一五五〇・一五五一・一五五二・一五五三・一五五四・一五五五・一五五六・一五五七・一五五八・一五五九・一五六〇・一五六一・一五六二・一五六三・一五六四・一五六五・一五六六・一五六七・一五六八・一五六九・一五七〇・一五七一・一五七二・一五七三・一五七四・一五七五・一五七六・一五七七・一五七八・一五七九・一五八〇・一五八一・一五八二・一五八三・一五八四・一五八五・一五八六・一五八七・一五八八・一五八九・一五九〇・一五九一・一五九二・一五九三・一五九四・一五九五・一五九六・一五九七・一五九八・一五九九・一六〇〇・一六〇一・一六〇二・一六〇三・一六〇四・一六〇五・一六〇六・一六〇七・一六〇八・一六〇九・一六一〇・一六一一・一六一二・一六一三・一六一四・一六一五・一六一六・一六一七・一六一八・一六一九・一六二〇・一六二一・一六二二・一六二三・一六二四・一六二五・一六二六・一六二七・一六二八・一六二九・一六三〇・一六三一・一六三二・一六三三・一六三四・一六三五・一六三六・一六三七・一六三八・一六三九・一六四〇・一六四一・一六四二・一六四三・一六四四・一六四五・一六四六・一六四七・一六四八・一六四九・一六五〇・一六五一・一六五二・一六五三・一六五四・一六五五・一六五六・一六五七・一六五八・一六五九・一六六〇・一六六一・一六六二・一六六三・一六六四・一六六五・一六六六・一六六七・一六六八・一六六九・一六七〇・一六七一・一六七二・一六七三・一六七四・一六七五・一六七六・一六七七・一六七八・一六七九・一六八〇・一六八一・一六八二・一六八三・一六八四・一六八五・一六八六・一六八七・一六八八・一六八九・一六九〇・一六九一・一六九二・一六九三・一六九四・一六九五・一六九六・一六九七・一六九八・一六九九・一七〇〇・一七〇一・一七〇二・一七〇三・一七〇四・一七〇五・一七〇六・一七〇七・一七〇八・一七〇九・一七一〇・一七一一・一七一二・一七一三・一七一四・一七一五・一七一六・一七一七・一七一八・一七一九・一七二〇・一七二一・一七二二・一七二三・一七二四・一七二五・一七二六・一七二七・一七二八・一七二九・一七三〇・一七三一・一七三二・一七三三・一七三四・一七三五・一七三六・一七三七・一七三八・一七三九・一七四〇・一七四一・一七四二・一七四三・一七四四・一七四五・一七四六・一七四七・一七四八・一七四九・一七五〇・一七五一・一七五二・一七五三・一七五四・一七五五・一七五六・一七五七・一七五八・一七五九・一七六〇・一七六一・一七六二・一七六三・一七六四・一七六五・一七六六・一七六七・一七六八・一七六九・一七七〇・一七七一・一七七二・一七七三・一七七四・一七七五・一七七六・一七七七・一七七八・一七七九・一七八〇・一七八一・一七八二・一七八三・一七八四・一七八五・一七八六・一七八七・一七八八・一七八九・一七九〇・一七九一・一七九二・一七九三・一七九四・一七九五・一七九六・一七九七・一七九八・一七九九・一八〇〇・一八〇一・一八〇二・一八〇三・一八〇四・一八〇五・一八〇六・一八〇七・一八〇八・一八〇九・一八一〇・一八一一・一八一二・一八一三・一八一四・一八一五・一八一六・一八一七・一八一八・一八一九・一八二〇・一八二一・一八二二・一八二三・一八二四・一八二五・一八二六・一八二七・一八二八・一八二九・一八三〇・一八三一・一八三二・一八三三・一八三四・一八三五・一八三六・一八三七・一八三八・一八三九・一八四〇・一八四一・一八四二・一八四三・一八四四・一八四五・一八四六・一八四七・一八四八・一八四九・一八五〇・一八五一・一八五二・一八五三・一八五四・一八五五・一八五六・一八五七・一八五八・一八五九・一八六〇・一八六一・一八六二・一八六三・一八六四・一八六五・一八六六・一八六七・一八六八・一八六九・一八七〇・一八七一・一八七二・一八七三・一八七四・一八七五・一八七六・一八七七・一八七八・一八七九・一八八〇・一八八一・一八八二・一八八三・一八八四・一八八五・一八八六・一八八七・一八八八・一八八九・一八九〇・一八九一・一八九二・一八九三・一八九四・一八九五・一八九六・一八九七・一八九八・一八九九・一九〇〇・一九〇一・一九〇二・一九〇三・一九〇四・一九〇五・一九〇六・一九〇七・一九〇八・一九〇九・一九一〇・一九一一・一九一二・一九一三・一九一四・一九一五・一九一六・一九一七・一九一八・一九一九・一九二〇・一九二一・一九二二・一九二三・一九二四・一九二五・一九二六・一九二七・一九二八・一九二九・一九三〇・一九三一・一九三二・一九三三・一九三四・一九三五・一九三六・一九三七・一九三八・一九三九・一九四〇・一九四一・一九四二・一九四三・一九四四・一九四五・一九四六・一九四七・一九四八・一九四九・一九五〇・一九五一・一九五二・一九五三・一九五四・一九五五・一九五六・一九五七・一九五八・一九五九・一九六〇・一九六一・一九六二・一九六三・一九六四・一九六五・一九六六・一九六七・一九六八・一九六九・一九七〇・一九七一・一九七二・一九七三・一九七四・一九七五・一九七六・一九七七・一九七八・一九七九・一九八〇・一九八一・一九八二・一九八三・一九八四・一九八五・一九八六・一九八七・一九八八・一九八九・一九九〇・一九九一・一九九二・一九九三・一九九四・一九九五・一九九六・一九九七・一九九八・一九九九・二〇〇〇・二〇〇一・二〇〇二・二〇〇三・二〇〇四・二〇〇五・二〇〇六・二〇〇七・二〇〇八・二〇〇九・二〇一〇・二〇一一・二〇一二・二〇一三・二〇一四・二〇一五・二〇一六・二〇一七・二〇一八・二〇一九・二〇二〇・二〇二一・二〇二二・二〇二三・二〇二四・二〇二五・二〇二六・二〇二七・二〇二八・二〇二九・二〇三〇・二〇三一・二〇三二・二〇三三・二〇三四・二〇三五・二〇三六・二〇三七・二〇三八・二〇三九・二〇四〇・二〇四一・二〇四二・二〇四三・二〇四四・二〇四五・二〇四六・二〇四七・二〇四八・二〇四九・二〇五〇・二〇五一・二〇五二・二〇五三・二〇五四・二〇五五・二〇五六・二〇五七・二〇五八・二〇五九・二〇六〇・二〇六一・二〇六二・二〇六三・二〇六四・二〇六五・二〇六六・二〇六七・二〇六八・二〇六九・二〇七〇・二〇七一・二〇七二・二〇七三・二〇七四・二〇七五・二〇七六・二〇七七・二〇七八・二〇七九・二〇八〇・二〇八一・二〇八二・二〇八三・二〇八四・二〇八五・二〇八六・二〇八七・二〇八八・二〇八九・二〇九〇・二〇九一・二〇九二・二〇九三・二〇九四・二〇九五・二〇九六・二〇九七・二〇九八・二〇九九・二一〇〇・二一〇一・二一〇二・二一〇三・二一〇四・二一〇五・二一〇六・二一〇七・二一〇八・二一〇九・二一一〇・二一一一・二一一二・二一一三・二一一四・二一一五・二一一六・二一一七・二一一八・二一一九・二一二〇・二一二一・二一二二・二一二三・二一二四・二一二五・二一二六・二一二七・二一二八・二一二九・二一三〇・二一三一・二一三二・二一三三・二一三四・二一三五・二一三六・二一三七・二一三八・二一三九・二一四〇・二一四一・二一四二・二一四三・二一四四・二一四五・二一四六・二一四七・二一四八・二一四九・二一五〇・二一五一・二一五二・二一五三・二一五四・二一五五・二一五六・二一五七・二一五八・二一五九・二一六〇・二一六一・二一六二・二一六三・二一六四・二一六五・二一六六・二一六七・二一六八・二一六九・二一七〇・二一七一・二一七二・二一七三・二一七四・二一七五・二一七六・二一七七・二一七八・二一七九・二一八〇・二一八一・二一八二・二一八三・二一八四・二一八五・二一八六・二一八七・二一八八・二一八九・二一九〇・二一九一・二一九二・二一九三・二一九四・二一九五・二一九六・二一九七・二一九八・二一九九・二二〇〇・二二〇一・二二〇二・二二〇三・二二〇四・二二〇五・二二〇六・二二〇七・二二〇八・二二〇九・二二一〇・二二一一・二二一二・二二一三・二二一四・二二一五・二二一六・二二一七・二二一八・二二一九・二二二〇・二二二一・二二二二・二二二三・二二二四・二二二五・二二二六・二二二七・二二二八・二二二九・二二三〇・二二三一・二二三二・二二三三・二二三四・二二三五・二二三六・二二三七・二二三八・二二三九・二二四〇・二二四一・二二四二・二二四三・二二四四・二二四五・二二四六・二二四七・二二四八・二二四九・二二五〇・二二五一・二二五二・二二五三・二二五四・二二五五・二二五六・二二五七・二二五八・二二五九・二二六〇・二二六一・二二六二・二二六三・二二六四・二二六五・二二六六・二二六七・二二六八・二二六九・二二七〇・二二七一・二二七二・二二七三・二二七四・二二七五・二二七六・二二七七・二二七八・二二七九・二二八〇・二二八一・二二八二・二二八三・二二八四・二二八五・二二八六・二二八七・二二八八・二二八九・二二九〇・二二九一・二二九二・二二九三・二二九四・二二九五・二二九六・二二九七・二二九八・二二九九・二三〇〇・二三〇一・二三〇二・二三〇三・二三〇四・二三〇五・二三〇六・二三〇七・二三〇八・二三〇九・二三一〇・二三一一・二三一二・二三一三・二三一四・二三一五・二三一六・二三一七・二三一八・二三一九・二三二〇・二三二一・二三二二・二三二三・二三二四・二三二五・二三二六・二三二七・二三二八・二三二九・二三三〇・二三三一・二三三二・二三三三・二三三四・二三三五・二三三六・二三三七・二三三八・二三三九・二三四〇・二三四一・二三四二・二三四三・二三四四・二三四五・二三四六・二三四七・二三四八・二三四九・二三五〇・二三五一・二三五二・二三五三・二三五四・二三五五・二三五六・二三五七・二三五八・二三五九・二三六〇・二三六一・二三六二・二三六三・二三六四・二三六五・二三六六・二三六七・二三六八・二三六九・二三七〇・二三七一・二三七二・二三七三・二三七四・二三七五・二三七六・二三七七・二三七八・二三七九・二三八〇・二三八一・二三八二・二三八三・二三八四・二三八五・二三八六・二三八七・二三八八・二三八九・二三九〇・二三九一・二三九二・二三九三・二三九四・二三九五・二三九六・二三九七・二三九八・二三九九・二四〇〇・二四〇一・二四〇二・二四〇三・二四〇四・二四〇五・二四〇六・二四〇七・二四〇八・二四〇九・二四一〇・二四一一・二四一二・二四一三・二四一四・二四一五・二四一六・二四一七・二四一八・二四一九・二四二〇・二四二一・二四二二・二四二三・二四二四・二四二五・二四二六・二四二七・二四二八・二四二九・二四三〇・二四三一・二四三二・二四三三・二四三四・二四三五・二四三六・二四三七・二四三八・二四三九・二四四〇・二四四一・二四四二・二四四三・二四四四・二四四五・二四四六・二四四七・二四四八・二四四九・二四五〇・二四五一・二四五二・二四五三・二四五四・二四五五・二四五六・二四五七・二四五八・二四五九・二四六〇・二四六一・二四六二・二四六三・二四六四・二四六五・二四六六・二四六七・二四六八・二四六九・二四七〇・二四七一・二四七二・二四七三・二四七四・二四七五・二四七六・二四七七・二四七八・二四七九・二四八〇・二四八一・二四八二・二四八三・二四八四・二四八五・二四八六・二四八七・二四八八・二四八九・二四九〇・二四九一・二四九二・二四九三・二四九四・二四九五・二四九六・二四九七・二四九八・二四九九・二五〇〇・二五〇一・二五〇二・二五〇三・二五〇四・二五〇五・二五〇六・二五〇七・二五〇八・二五〇九・二五一〇・二五一一・二五一二・二五一三・二五一四・二五一五・二五一六・二五一七・二五一八・二五一九・二五二〇・二五二一・二五二二・二五二三・二五二四・二五二五・二五二六・二五二七・二五二八・二五二九・二五三〇・二五三一・二五三二・二五三三・二五三四・二五三五・二五三六・二五三七・二五三八・二五三九・二五四〇・二五四一・二五四二・二五四三・二五四四・二五四五・二五四六・二五四七・二五四八・二五四九・二五五〇・二五五一・二五五二・二五五三・二五五四・二五五五・二五五六・二五五七・二五五八・二五五九・二五六〇・二五六一・二五六二・二五六三・二五六四・二五六五・二五六六・二五六七・二五六八・二五六九・二五七〇・二五七一・二五七二・二五七三・二五七四・二五七五・二五七六・二五七七・二五七八・二五七九・二五八〇・二五八一・二五八二・二五八三・二五八四・二五八五・二五八六・二五八七・二五八八・二五八九・二五九〇・二五九一・二五九二・二五九三・二五九四・二五九五・二五九六・二五九七・二五九八・二五九九・二六〇〇・二六〇一・二六〇二・二六〇三・二六〇四・二六〇五・二六〇六・二六〇七・二六〇八・二六〇九・二六一〇・二六一一・二六一二・二六一三・二六一四・二六一五・二六一六・二六一七・二六一八・二六一九・二六二〇・二六二一・二六二二・二六二三・二六二四・二六二五・二六二六・二六二七・二六二八・二六二九・二六三〇・二六三一・二六三二・二六三三・二六三四・二六三五・二六三六・二六三七・二六三八・二六三九・二六四〇・二六四一・二六四二・二六四三・二六四四・二六四五・二六四六・二六四七・二六四八・二六四九・二六五〇・二六五一・二六五二・二六五三・二六五四・二六五五・二六五六・二六五七・二六五八・二六五九・二六六〇・二六六一・二六六二・二六六三・二六六四・二六六五・二六六六・二六六七・二六六八・二六六九・二六七〇・二六七一・二六七二・二六七三・二六七四・二六七五・二六七六・二六七七・二六七八・二六七九・二六八〇・二六八一・二六八二・二六八三・二六八四・二六八五・二六八六・二六八七・二六八八・二六八九・二六九〇・二六九一・二六九二・二六九三・二六九四・二六九五・二六九六・二六九七・二六九八・二六九九・二七〇〇・二七〇一・二七〇二・二七〇三・二七〇四・二七〇五・二七〇六・二七〇七・二七〇八・二七〇九・二七一〇・二七一一・二七一二・二七一三・二七一四・二七一五・二七一六・二七一七・二七一八・二七一九・二七二〇・二七二一・二七二二・二七二三・二七二四・二七二五・二七二六・二七二七・二七二八・二七二九・二七三〇・二七三一・二七三二・二七三三・二七三四・二七三五・二七三六・二七三七・二七三八・二七三九・二七四〇・二七四一・二七四二・二七四三・二七四四・二七四五・二七四六・二七四七・二七四八・二七四九・二七五〇・二七五一・二七五二・二七五三・二七五四・二七五五・二七五六・二七五七・二七五八・二七五九・二七六〇・二七六一・二七六二・二七六三・二七六四・二七六五・二七六六・二七六七・二七六八・二七六九・二七七〇・二七七一・二七七二・二七七三・二七七四・二七七五・二七七六・二七七七・二七七八・二七七九・二七八〇・二七八一・二七八二・二七八三・二七八四・二七八五・二七八六・二七八七・二七八八・二七八九・二七九〇・二七九一・二七九二・二七九三・二七九四・二七九五・二七九六・二七九七・二七九八・二七九九・二八〇〇・二八〇一・二八〇二・二八〇三・二八〇四・二八〇五・二八〇六・二八〇七・二八〇八・二八〇九・二八一〇・二八一一・二八一二・二八一三・二八一四・二八一五・二八一六・二八一七・二八一八・二八一九・二八二〇・二八二一・二八二二・二八二三・二八二四・二八二五・二八二六・二八二七・二八二八・二八二九・二八三〇・二八三一・二八三二・二八三三・二八三四・二八三五・二八三六・二八三七・二八三八・二八三九・二八四〇・二八四一・二八四二・二八四三・二八四四・二八四五・二八四六・二八四七・二八四八・二八四九・二八五〇・二八五一・二八五二・二八五三・二八五四・二八五五・二八五六・二八五七・二八五八・二八五九・二八六〇・二八六一・二八六二・二八六三・二八六四・二八六五・二八六六・二八六七・二八六八・二八六九・二八七〇・二八七一・二八七二・二八七三・二八七四・二八七五・二八七六・二八七七・二八七八・二八七九・二八八〇・二八八一・二八八二・二八八三・二八八四・二八八五・二八八六・二八八七・二八八八・二八八九・二八九〇・二八九一・二八九二・二八九三・二八九四・二八九五・二八九六・二八九七・二八九八・二八九九・二九〇〇・二九〇一・二九〇二・二九〇三・二九〇四・二九〇五・二九〇六・二九〇七・二九〇八・二九〇九・二九一〇・二九一一・二九一二・二九一三・二九一四・二九一五・二九一六・二九一七・二九一八・二九一九・二九二〇・二九二一・二九二二・二九二三・二九二四・二九二五・二九二六・二九二七・二九二八・二九二九・二九三〇・二九三一・二九三二・二九三三・二九三四・二九三五・二九三六・二九三七・二九三八・二九三九・二九四〇・二九四一・二九四二・二九四三・二九四四・二九四五・二九四六・二九四七・二九四八・二九四九・二九五〇・二九五一・二九五二・二九五三・二九五四・二九五五・二九五六・二九五七・二九五八・二九五九・二九六〇・二九六一・二九六二・二九六三・二九六四・二九六五・二九六六・二九六七・二九六八・二九六九・二九七〇・二九七一・二九七二・二九七三・二九七四・二九七五・二九七六・二九七七・二九七八・二九七九・二九八〇・二九八一・二九八二・二九八三・二九八四・二九八五・二九八六・二九八七・二九八八・二九八九・二九九〇・二九九一・二九九二・二九九三・二九九四・二九九五・二九九六・二九九七・二九九八・二九九九・三〇〇〇・三〇〇一・三〇〇二・三〇〇三・三〇〇四・三〇〇五・三〇〇六・三〇〇七・三〇〇八・三〇〇九・三〇一〇・三〇一一・三〇一二・三〇一三・三〇一四・三〇一五・三〇一六・三〇一七・三〇一八・三〇一九・三〇二〇・三〇二一・三〇二二・三〇二三・三〇二四・三〇二五・三〇二六・三〇二七・三〇二八・三〇二九・三〇三〇・三〇三一・三〇三二・三〇三三・三〇三四・三〇三五・三〇三六・三〇三七・三〇三八・三〇三九・三〇四〇・三〇四一・三〇四二・三〇四三・三〇四四・三〇四五・三〇四六・三〇四七・三〇四八・三〇四九・三〇五〇・三〇五一・三〇五二・三〇五三・三〇五四・三〇五五・三〇五六・三〇五七・三〇五八・三〇五九・三〇六〇・三〇六一・三〇六二・三〇六三・三〇六四・三〇六五・三〇六六・三〇六七・三〇六八・三〇六九・三〇七〇・三〇七一・三〇七二・三〇七三・三〇七四・三〇七五・三〇七六・三〇七七・三〇七八・三〇七九・三〇八〇・三〇八一・三〇八二・三〇八三・三〇八四・三〇八五・三〇八六・三〇八七・三〇八八・三〇八九・三〇九〇・三〇九一・三〇九二・三〇九三・三〇九四・三〇九五・三〇九六・三〇九七・三〇九八・三〇九九・三一〇〇・三一〇一・三一〇二・三一〇三・三一〇四・三一〇五・三一〇六・三一〇七・三一〇八・三一〇九・三一一〇・三一一一・三一一二・三一一三・三一一四・三一一五・三一一六・三一一七・三一一八・三一一九・三一二〇・三一二一・三一二二・三一二三・三一二四・三一二五・三一二六・三一二七・三一二八・三一二九・三一三〇・三一三一・三一三二・三一三三・三一三四・三一三五・三一三六・三一三七・三一三八・三一三九・三一四〇・三一四一・三一四二・三一四三・三一四四・三一四五・三一四六・三一四七・三一四八・三一四九・三一五〇・三一五一・三一五二・三一五三・三一五四・三一五五・三一五六・三一五七・三一五八・三一五九・三一六〇・三一六一・三一六二・三一六三・三一六四・三一六五・三一六六・三一六七・三一六八・三一六九・三一七〇・三一七一・三一七二・三一七三・三一七四・三一七五・三一七六・三一七七・三一七八・三一七九・三一八〇・三一八一・三一八二・三一八三・三一八四・三一八五・三一八六・三一八七・三一八八・三一八九・三一九〇・三一九一・三一九二・三一九三・三一九四・三一九五・三一九六・三一九七・三一九八・三一九九・三二〇〇・三二〇一・三二〇二・三二〇三・三二〇四・三二〇五・三二〇六・三二〇七・三二〇八・三二〇九・三二一〇・三二一一・三二一二・三二一三・三二一四・三二一五・三二一六・三二一七・三二一八・三二一九・三二二〇・三二二一・三二二二・三二二三・三二二四・三二二五・三二二六・三二二七・三二二八・三二二九・三二三〇・三二三一・三二三二・三二三三・三二三四・三二三五・三二三六・三二三七・三二三八・三二三九・三二四〇・三二四一・三二四二・三二四三・三二四四・三二四五・三二四六・三二四七・三二四八・三二四九・三二五〇・三二五一・三二五二・三二五三・三二五四・三二五五・三二五六・三二五七・三二五八・三二五九・三二六〇・三二六一・三二六二・三二六三・三二六四・三二六五・三二六六・三二六七・三二六八・三二六九・三二七〇

ト（ド）

トレー　七一〇・七五六・七五八
とばうも内子　六二〇
とりかへばや　六二三
刀伊の入寇　七一二
富樫泰高　七一四
——政親　六〇四
富田月山城　一五八
富山　四二四
——藥賣　一五〇
戸刈　六一七
戸〆　三六八・三六四・三六五
戸塚靜海　三六八・三五七
土岐氏　五九一
——成賴　八三
——持賴　九七
——康行　二三八・二三九
——與左衛門　七七九
——賴兼　一五七
——賴純　四四三
——賴藝　七六四

土佐派　二三五・三一〇・三七一・五七九
——日記　一九〇
——坊昌俊　二四三
——光起　五七二
——光信　三七一・三七二
土地制度　四三九
——の永代賣買の禁　六〇四
——の分割の制限　六〇八
十組問屋　六〇〇
十津川鄉士　五九三・五九四・五九五
外樣大名　四二
都市牛利　一五五
都氏文集　六二四
都府　八三
渡津料　二七七
杜世忠　五九二
戸田氏　五二三
——氏鐵　七六〇
——氏榮　六九九・七二一
——氏敎　七八五
——忠至　七八五
——忠恕　

——茂睡　五五八・五八六・六〇二
——康光　三八三
鵺並山　二三五
鳥羽　六二四
——上皇　二〇九
——僧正　二三五
ドム・ゼローム　四二〇
土井氏　五九二
——利勝　四八六・四八七
土州藩　七七七・七八四・七八六・七九九・八〇三・八〇四
土肥實平　二三八
度牒　一〇一
問屋　六二八
董一元　四六〇・四六一
洞院公賢　三三一
——實世　三三五
東音譜　五五九
東雅　五四〇
東海寺　六一六
東海道　七四四
——五十三次　五六六
——名所記

東海路
東金　二三四
東關紀行　三〇八
東北堂　三〇九
東宮爭　二二三
東源　二二五
東光寺　四二〇
東西韻會　五九二
東西學問所　四八六・四八七
東寺　五五五
——五重塔　三〇三・三六四
——十二天　四一四
——本堂　一五九
——龍智・龍猛像　二七八・二七九
東照宮緣起　三七
——大權現　四六一
東漸寺襲擊　三六〇
東大寺　一二八・一三〇・二〇五・二九四・三〇〇・三〇六・三〇七
——石獅子　四七九・七八七
——戒壇院四天王　二一〇・二一三
————金堂千手觀音・盧舍那佛・藥師如來　二二五
——僧形八幡像　三〇九
——大佛　一二九
——殿　三九五・四四〇・五八二
——轉害門　二二四
——南大門　三〇八
——仁王　三〇九
——法華堂　二二三
——諸像　二二五
——禮堂　三〇八
東丹國　一四二
東常緣　三六八
東武實錄　五五五
東福寺　三〇三・三六四
東方紀行　四一四
東密　一五九
東路軍　二七八・二七九
陶棺　三七
陶器　四六一
刀劍　三六〇
等持院　四七九・七八七
唐招提寺　二一〇・二一三
————金堂千手觀音・盧舍那佛・藥師如來　二二五
——僧形八幡像　三〇九
——大日如來　一二九

唐人屋敷　五三六
唐船　五一一・五三六・五三七・六二九・六三〇
唐太宗　八五
唐本御影　七八
唐來三和　六八九・六九一
唐律疏義　九四
當世虎之卷　六九一
一一風俗通　六九一
藤堂氏　五九二・五九五
一一高虎　四五〇・四五九・四八三
一一蟬吟　五八五
討幕論　七七七
一一の密勅　八〇三
湯武放伐論　五五四
遠山景元　七一八
一一景晉(左衛門尉)　七六五
桃隣　六〇三
棟梁之臣　五八
銅　三六〇
一錢　三六〇
一座　六二八・六四五・六五七
道化方　五七七
道元　三〇四
道慈　一三〇・一三一・一五七
道昭　一三〇
道邃　一五六
道宣　一三一
道蛇樓麻阿　朋誠堂喜三參照
道中膝栗毛　七三七
道富ハルマ　七二九
道明寺　四八三
道隆(大覺禪師)　三〇三
堂上家　六〇九
同文通考　五五九
量仁親王　二九三・二九四
齊世親王　一四八
德川家定　七六一・七六五・七六七
一一家達(田安龜之助)　七九九
一一家重　六五一・六五二
一一家繼　五六六・五三二・五九〇・六三三
一一家綱　五三一・五二九・五三〇・五四〇
一一家齊　五九一・六六一・七一一・七一二・七一八
一一家宣　五二五・五二七・五三一・五三八・五四三・五四五・五四六・六三三
一一家治　六五二・六六一
一一家光　四八六・四九一・四九三・四九四・五一八・五四〇・五九五
一一家茂(慶福)　五九〇・七六七—七七〇・七七七・七八五・七八六・七八八・七九〇・七九一・七九六・七九七・七九九・八〇〇
一一家基　六六一
一一家康　三八三・三九四・三九七—四〇〇・四〇二・四〇六・四三〇—四三四・四三六・四三七・四四一・四四七・四五〇・四五一・四五五・四六九—四七五・四七七—四八五・四九二・五〇四・五〇六・五〇七・五〇九・五三七・五八八・八〇一・八〇四・八〇五
一一家慶　五九一・七一二・七一八・七六一
一一氏　四二八
一一氏歷代の實記　七二七
一一和子　四九三
一一忠長　五〇〇
一一綱條(水戶)　六三三
一一綱重(甲府)　五二二・五九一
一一綱豐(甲府)　五二五・五二六・五九二
一一綱教(紀伊)　六三三
一一綱吉　五二二・五二三・五二七・五二九—五三二・五三六—五三八・五四〇—五四四・五四八・五九一・六三四
一一齊昭(水戶)　七一八・七三二・七二七・七五八・七六〇・七六一・七六五—七七〇・七七三・七七五・七七七・七八一・七八六
一一信康　四八五
一一治貞(紀伊)　六六一・六六五・六七九
一一治保(水戶)　六六一・七二七
一一秀忠　四四七・四七三・四七八・四八二・四八三・四八六・四九三・四九四・五一〇
一一秀康(越前)　四七三・四八五・四九五
一一光圀(水戶)　五二二・五四七・五五五・五五七・五五八
一一光貞(紀伊)　六三三
一一宗春(尾張)　六六七
一一宗睦(尾張)　六六一
一一茂承(紀伊)　七九九
一一慶篤(水戶)　七七〇・七七二・七七三
一一慶勝(尾張)　七六九・七七〇・七七七・七八三・七八六・七八九・七九四・七九五・七九七
一一慶喜　五九〇・七六七・七七〇・七七二・七七三・七七七・七八三—七八八・七九〇—七九三・七九六・七九七・七九九—八〇五
一一義直(尾張)　四九五・五四七・五五五・五九一
一一吉通(尾張)　五二五・六三三
一一吉宗　五二七・五九〇・六三三—六四〇・六四五—六四七・六四九・六五一・六六二・六八〇
一一賴方　德川吉宗參照
一一賴職(紀伊)　六三三
一一賴宣(紀伊)　四九五・五〇三・五九一・六三三
一一賴房(水戶)　四九五・五九一
德島　六二五
德政　二八四・三五四・七〇〇
一一文言　二八四・三五四
德齊　六五
德大寺公城　六六八・六七〇
一一一公純　七八九
一一一家　二〇二・六〇九
德松(綱吉子)　五二五
德丸原　七一九
德來　六〇
德和歌後萬載集　六八六
篤疾　九八
得長壽院　二〇八
贖銅　一〇二
讀國意考　六八〇
讀史餘論　五五六
床間　三七三
鳥取　六二五
一一城　四〇九
舍人親王　九〇・一二九
帳內日下部使主　五五
殿樣祭　六六四
富小路敬直　七七八・七八四
鞆　六二七
伴緒　二九
伴造　二九
豐城命　二六
豐島豐洲　七〇三
豐鍬入姬命　二一・三九
豐玉姬　一七
豐竹座　五七四・六九三
豐臣鶴松(秀吉子)　四四六・四五〇
一一秀次　四三一・四三二・四三六・四四六
一一秀吉　四〇八—四一〇・四二六—四六七・四六九・四七〇
一一秀賴　四四六・四四七・四七八—四八二・四八四・五八八
鳥居氏　五九二
一一清長　六九六
一一清信　五八一
一一忠耀　七一八・七二〇・七二一・七三二

——元忠　四七四
鳥海柵　一八四
鳥佛師　七五
鳥山檢校　六五四
取退無盡　六五七
噸阿　三六八
呑海　三〇三
曇徵　七三・七五
所拂　六四八

ナ

ナポレオン三世　八〇〇
——————戰爭　七五六
奈胡桃城　四三六
奈良　六二五・六二七
——朝　一〇六
——篦都　一〇七
——人形　五八四
——原喜八郎　七八三
——屋茂左衞門　六二八
——利壽　五八四
奈羅譯語惠明　七二
名子　四七四
名古屋　一八四
———玄醫　七五
———山三郎　六五四
———城　六五七
———城對面所の壁障畫　三六八
———離宮　三〇三
名護屋　七三・七五
名越高家　六四八
——宗教　六二七
——光時　三六八
——持躰　三〇三
名主　八〇〇
名墾　七五六
名和長年　四三六
長束正家　六二五・六二七
鬱津　一〇六
那波活所　一〇七
內安殿　五八四
內管領　七八三
內侍宣　六二八
內大臣　五八四
內藤德庵　一〇〇
——風虎　六二五・六二七
——如安　五六〇・五八六
——露霑　五七五・六〇三
內道場　五八三
直江兼續　五八〇
直毘靈　五八三
直仁親王　四五〇
中井竹山　二九六
——正次　二九五
——履軒　二七〇・二七一
中浦ジュリアン　三二一
中江藤樹　六〇七
中岡愼太郎　八二
中川淸秀　二九六・三二四
——淳庵　四三二・四三七・四七六
——宮　四七
中澤道二　五四八・五五五
中島勘左衞門　一〇八
中先代の亂　二八五
中山道　二九
中務省　一〇四
中天皇　九〇
中臣氏　五六・六三
——烏賊津連　五六
——大島　九二
——勝海　六五
——鎌足　八一・八六・一一〇
——金　八七・九〇
——連　二九
——部　二八
中根元圭　六八三
——東里　六七五
中院家　二〇二・六〇九
——通勝　五五八
——通維　六六八・六七〇
——通村　四九三・四九四
中大兄皇子　八一・八二・八四・八五・八八
中野碩翁　七二二
——柳圃　七二九
中濱萬次郎　七三〇
中原助員　二六五
——親能　二四一・二五二
中御門經之　八〇二・八〇三
——宗行　一三三
中村歌右衞門　四三二
——歌右衞門（三世）　五六・六三
——歌右衞門（四世）　九二
——一氏　六五
——內藏助　八一・八六・一一〇
——七三郎　八七・九〇
——惕齋　二九
——傳九郎　二八
——富十郎　六八三
——富十郎（二世）　六七五
中山忠能　二〇二・六〇九
——愛親　五五八
——物語　六六八・六七〇
仲姬　四九三・四九四
長井雅樂　八一・八二・八四・八五・八八
——長弘　七二二
長生見度記　七二九
長尾景信（昌賢）　七三〇
——景春　二六五
——忠景　二四一・二五二
——爲景　八〇二・八〇三
長岡篦都　一三三
長久手の戰　四三二
長崎　四一六・四一九・四三三・四四一・四六三・五〇六・五一〇・五一一・五一六・五九七・六二四・七六〇・七六二—七六六・七七八・七七九
——圓喜　二八五
——高資　二八五
——新令　五三七
——奉行　五一〇・五一一・七六三・七六四
——砲臺　七六五
——賴綱　二八五
長篠役　四〇三・四一七
——城　四〇二
長島　四〇三・四三三
長髓彥　一九
長門　六二三
——探題　二七七
長野主膳（義言）　七六八・七七二
長濱　四二六・四二八・六三一
長媛　三九
長屋王　二一〇
長與專齋　七二八
長柄豐崎宮　一〇七

長等の山風　七二六
永井直勝　四七七
——尙志(玄蕃頭)　七六五・八〇一・八〇四
永見大藏　五二三
七組の頭　四八二
難波　一九・八二
——藥師　六〇
——三津崎　一一六
——宮　四七
鍋島氏　四五八・四六〇・五九二・五九五
——勝茂　四七三・五一四
——直茂　四三四・四五〇・四五五・四五八・四六〇
鍋松(家繼)　五二五・五二六
生麥の變　七九八・八〇〇
並木五瓶　七四二
——宗輔　六九三
成良親王　三一九・三二一・三二五
鳴海　三九三
南苑　一〇八
南海路　六一七
南學　五四九
南紀黨　七六八
南宮山　四七五
南家　一四三
南閨雜話　六九一
南山巡狩錄　七二六
——律　一二一
南禪寺　三〇三・三六四・三六五・四七九・五八二
——方丈の虎之間　五七八
南總里見八犬傳　七三六
南朝正統論　三三六・三三七
南庭十二堂　一〇八・一三四
南都六宗　一二〇
南島志　五五六
南蠻誓詞　五一五
——船　四一六
——流　五六〇
南部氏　三八二・四三六・四三七
——南山　五四八
南洋　七五五
南鐐二朱判　六二一・六二三・六五六
楠公崇拜　五五七
難升米　四二
難波家　六〇九
——屋十右衛門　六二八
男色大鑑　五六六
七寺彌陀三尊　二三四
流造　一六〇

二

二位尼　二三〇
二階堂行村　二六五
二朱金　六二二
二十四組問屋　六二八
二條昭實　四九二
——家　六〇九
——御所　四一〇
——城　三九六・四〇一・四七九・四九三・七八六・七九〇
———の大廣間　五七八
——尹房　三八五
——爲氏　三一三
——爲世　三一三
——齊敬　七七三・七八九・七九〇・八〇二
——康道　四九三
——良基　三六九
——離宮　五八三

二人比丘尼　五六六
二寶字銀　六二一
爾薩體　一三七
丹羽氏　五九二
——正伯　六四二・六八四
——長秀　四一〇・四二七・四三一
丹生(越前)　五九四
日本永代藏　五六七
——外史　七三三
——紀神代卷　六六八
——舊記　一三〇
——後紀　一五四・七二六
——三代實錄　一五四
——書紀　一一・三九・九〇・一二九
————傳　七二五
——眞言　一五八
——釋名　五五九
——植物圖譜　七三一
——政記　七三三
——誓詞　五一五
——天台　一五六
——府　五〇
——文德實錄　一五四
新潟　七二〇・七六六・七八〇・七九六・八〇一・八〇二
熟蝦夷　八四
饒速日命　一九・五七
西川如見　六八三
——祐信　六九六
——忠次郎　六八三
西澤一鳳　六九三
西洞院時名　六六八・六七〇
西本願寺唐門　四四三
————の鴻之間　五七八
————の書院　四四三
————の飛雲閣　四四三
西山拙齋　七二三
——宗因　五六三・五八五・六〇二
西流　五六〇
諺紫田舍源氏　七三九
日英通商條約　七七〇・七七三
日英約定　七六四
日佛通商條約　七七〇・七七三
日米通商條約　七六六・七七〇・七七三
——和親條約　七五四・七六三
日蘭通商條約　七七〇・七七三
——和親條約　七六四
日蓮　三〇五
——宗　三〇五・三六六・三七七・五六二
日露通商條約　七七〇・七七三
——和親條約　七六四
日光　四八五
——東照宮　四八六・五八二・五八四
——道中　六一六
——門跡　四九四
日親　三六六
日朝　三六六
仁木　三一八
——義長　三三三・三三四
仁田忠常　二五三
新田義顯　三二七
——義興　三三一
——義貞　二九六・二九七・三一六・三一九—三二五・三二七
——義重　三二〇
——義宗　三三一
韮山城　三七九・四三六
仁德天皇　四七・五二

ーーーー陵百舌鳥耳原中陵　三六
仁和寺　一五九
仁明天皇　一四四
忍向　七七三
人蔘座　六二八
人足寄場　七〇一
寧波　四一五
錦戸國衡　二四七
錦之裏　六九一
錦部　六〇

ヌ

渟足　八四
渟名城姫命　三九
渟名底仲媛　五七
奴婢　二六八
奴理使主　六〇
濡烏目貫　三七四

子

ネツセルロオド　七六二
根來・雜賀の一揆　四〇四・四三二
根津神社　六三九
根室　七一〇
年中行事繪卷　二三五

ノ

ノイツ（ビイテル）　五一〇・五一一
ノビシアー　四二〇
ノビスパン（濃毘數般）　四六六・五〇六
能勢騷動　七一四
能褒野　二四
野田城　三九七・四〇〇
野中兼山　五四九
野々口立甫　五六二
野々村仁清　六三一
野間　四二九
野見宿彌　二三
野呂元丈　六八〇・六八四
能樂　三七〇
能面　三七四・五八四
農業全書　五六〇
後鑑　七二七
後飛鳥岡本宮　一〇七
延賣買　六四三・六四四
義良親王　三二〇・三二三・三二六―三二八
蒞戸善政　六六四
鋸挽　六四八

ハ（バ・パ）

ハリス　七六五・七六六・七六九・七七〇・七七九
羽書　六二四
羽倉外記　七二〇
羽黑　四三一
羽柴秀長　四三二・四三五
羽田矢代宿禰　五三
波木井實長　三〇五
波沙寢錦　四五
波多氏　四七
波多野秀治　四〇八・四〇九
波留麻和解　七二八
土師部　二三・二八
長谷川千四　六九三
ーーー平藏　七〇一
ーーー寺　一二〇
ーー部　二八

破風　四四三
葉室光親　二五九・二六一
葉山姫　三九
バタビヤ　五一六
馬韓　四三
馬關事件　七八八
馬入川　六一七
馬場佐十郎　七三〇
婆陀　四九
伴天連　四一八・四一九・四二二―四二四・四六三・四六四・四六六・五〇六・五一〇・五一二・五一五・五三五・五三六・五八七
パアクス　七九六・七九七・八〇〇
パウロ五世　五〇七
パリ　七九三
俳諧　五六二―五六五・六八五・七三四
癈疾　九八
拜借金　六四四
裴世清　七二
廢帝說　七八一
誹風柳樽　六八八・七三四
梅室　七三四
陪臣　五九〇・五九九・七四八
博多　三六〇・四四一・六二四・六二七・六三一
萩　六二五・六三一・七九五
萩原源左衞門　六四一
箔座　六二八
白石先生手簡　六三九
白村江　八五
白地城　四三三
白雄　六八五
幕府政治　二四〇・二四二・二五〇・二九九
幕府滅亡の原因　七四六―七五五
筥崎宮　二七七
箱館　七六三―七六六・七七八
箱根　六一七
橋本左內　七二八・七七一・七七三
ーー宗吉　七二八
支倉常長　五〇七
鰭板　三〇九
秦氏　五四・六〇・六一
秦忌寸　九一
秦部　二九
旗本　五九〇・五九七―五九九・七四八
八月十八日の政變　七八九―七九一
八虐　一〇二
八條女院　二八七
八幡造　一九四
八文字屋自笑　五六八
ーーーー本　五六八・五六九・五八六
蜂須賀氏　四五八・四六〇・五九二・五九五
ーーー家政　四三一
ーーー至鎭　四七二
ーーー齊裕　七六八
ーーー正勝　四三三
撥鏤　一二八
初懷紙（俳書）　五六五
御肇國天皇　二一
八省院　一三四
法堂　三〇八
服部寬齋　五四八
ーー南郭　五五二・六〇二・六七六・六九五
鼻峰高慢男　六八九
鼻繰　三〇八
花曆八笑人　七三八
花吹松　七二六
花園天皇　二九〇・二九一・二九六

花御所　三四一
埴輪　二三・二七
羽田沖　七六一
濱御殿　六三六
濱田彌兵衛　五二一
——藩（松平氏）　七九九
濱邊黑人　六八六
濱松　四〇〇
——中納言　二三七
速吸之門　一九
原城　五一三
原田喜右衛門　四六五・四六六
——孫七郎　四六五
原マルチノ　四二〇
播磨砲臺　七六五
春の日（俳書）　五六五
藩翰譜　五五六
藩校　七四五
藩札　六二四
范鉉　六三七
——文虎　二七八
反正天皇（瑞齒別）　四八・五二・五三
半太夫節　三四一
半知宛行　二三・二七
班田收授　七六一
潘阜　六三六
番入　五二一
番方　七九九
番士　六八六
蠻語箋　四〇〇
蕃玆園　二三七
蕃書取調所　一九
蕃書和解御用　五一三
蕃諸考　四六五・四六六
蕃諸錄　四六五
蕃別　四二〇
萬國新話　七六五
萬國圖說　五五六
播州皿屋敷　七四五
坂東八平氏　六二四
——彥三郎（三世）　二四
——三津五郎（三世）　六三七
塙直之　二七八
伴健岑　四八・五二・五三
——大納言繪卷　二三五
——中庸　一四六
——信友　六八〇・七二五・七二六
——善男　一四五・一四六
秤座　六二八
谷宮門　八〇
走水　二四
畠山氏　三一八・三二九・四〇五
——國清　三三〇・三三三
——重忠　二三三・二三八・二五四
——直宗　三三〇
——政長　三四九・三五〇・三五一・三七六
——滿家　三四三・三四五
——持國　三四九
——義豐　三七六
——義就　三四九・三五〇・三五二
——義統　三八一
服部　二八
塙保己一　七〇四・七二六
——宗安　六〇二
林羅（大學頭）　七六三
——子平　六〇三・六八三・七〇八・七〇九・七五五
——春齋（鷲峰）　五二七・五四八・五五四・五五五
——春常（鳳岡・信篤）　五三八・五四〇・五四八・五五四・六三五・六三九・六四〇・六七五
——逃齋　七〇四・七一五・七二三
——忠英　七二〇
——戶左衛門　五〇三
——信敬　七〇三・七〇四
——信龍　六四二
——羅山（道春）　四八〇・四八一・四九七・五〇九・五三七・五四八・五五三—五五五・五五七・五六一・五六六
英一蝶（多賀潮湖）　五七九
英草紙　六九三
蛤御門　七九二
磔　六四八

ヒ（ピ・ビ）

ヒュウスケン　七七九
ひさご（俳書）　五六五
日吉神社の三座　三七〇
——造　一九四
日子坐王　三三
日高見國　二四
日野有光　七一・七三
——氏光　一五
——勝光　三八・四二
——資朝　四二
——俊基　三三
——富子　五〇七
——法界寺阿彌陀堂　六三三
——康子　五〇・六四
日葉酢姬　五〇三
菱垣廻船　七〇四・七三
被官　四六五・四六六
比企能員　七九七
飛脚　九一
——問屋　二六七
非藏人　二七一・三二九
非人　六四八
——溜　二三
——手下　二六
火消　二二五
肥後藩　六二五
肥前値嘉島　一九四
費西家　七二一
——藩（井伊氏）　七六〇・七七五・七八六・七九二・七九九

ーー屏風　五八〇
彦火々出見尊　一七
久明親王　二八八
久松氏　五九四
菱川師宣　五八〇・五八一・五八五・五八六
土方歳三　七八七
ーー久元（楠左衛門）　七八九
鐚錢　六四五
逼塞　六四八
備中水島　二二六
人見友元　六三九
姫路　六二五
ーー城　五八三
平岩氏　五九二
平假名盛衰記　六九三
平賀源内　六八二・六八四・六九四・六九六
ーー朝雅　二五三・二五四
平澤平格　朋誠堂喜三二一參照
平清（深川）　七一三
平田篤胤　六八〇・七二四・七二五
平手政秀　三九二
平戸　三六〇・四一六・四一八・四二三・四六五・五〇八・五一〇・五一七
平野金華　五五二
ーー次郎　七八九
蛭小島　二一三
廣椽　三七三
廣澤兵助　八〇〇・八〇三
廣島　四四一・六二五・六二七・七三三・七九四・七九九
廣瀬旭莊　七三三
ーー淡窓　七三三
廣橋伊光　七〇六
廣幡家　六〇九
東久世家　二〇二
東山鹿谷　二一八
ーー天皇　五三〇・五三一
瓢塚　三五・三六
左甚五郎　五八四
一橋治濟（穆翁）　六九八・七〇七・七一一・七一二
ーー宗尹　六五一
ーー慶喜　徳川慶喜參照
百姓　六〇三―六〇七
ーー一揆　六六六・七五〇
ーー代　六〇七
ーーの誅求　七四八・七四九
百萬塔　一三〇
百練抄　七二六
白雉元年　八三
兵庫　三六〇・六二四・六二七・七六六・七七二・七八〇・七九六・七九七・八〇一・八〇二
兵部省　九四
評定衆　二六五・三三九
ーー所　二六五・四九〇・六四八・六九四
評判記　五七七
病學通論　七三一
廟建築　五八一―五八五
平等院　一八〇・一九二―一九四
屏風　三六〇
鵯越　二二八

フ（ブ・プ）

フィリップ二世　四二一
ーーーーー三世　五〇七
フイルモオア（ミラアド）　七五九
フェイトン號　七一六
フエルナンデス　四一八
フランシスコ・ゼイモート　四一五

フランス　五〇九・七五六・七五九・七六九・七七〇・七七三・七七九・七八〇・七九三・七九四・七九六・七九七・八〇〇
フロエー　四一九
富嘉川拜見　六九一
富嶽三十六景・同百景　七四四
富士川　六一七
ーーー對陣　二二三
不課口　九八・一〇〇
不空　一五七
不恤緯　七〇八
不輸租田　一六九
普化宗　六〇〇・六一一
封戸　八二
釜山浦　三六二・四五一・四五二
扶桑略記・同校譌　七二六
扶餘族　四三
譜第　一二〇
譜代大名　五九三・五九四・五九九
府中　六二五
府内　四一六・四一八・四二〇
經津主命　一六
風土記　一三〇・五五六
ブルウク（アブラハム・フアン・デン）　五〇八
撫育局　六六五
武鑑　五九七
武經七書　五四七
武家官位裝束考　五三〇
ーー義理物語　五六六
ーー故實　六三七
ーー事記　五五五
ーー政治　二六三・二九九・三一六・三一八・三二五・三三三・三三五・三三九
ーー造　三〇九
ーー傳奏　四九二・六〇八・七八五
ーー名目抄　七二六
武藝王　一一五
武士階級　五九〇―六〇三・六一三
ーーの窮乏　七四七―七四九
ーーの興起　一六七
武將黨　四七三
武德大成記　五五四
武道傳來記　五六六
武烈天皇　五五
奉行　四九〇
部曲　八二
プチアチン　七六二―七六四
プロシア　七八〇
風信帖　一五五
深見天漪　五三八
ーー有隣　六四二
福井　六二五
福内鬼外　平賀源内參照
福岡　六二五
ーー藩（黑田氏）　七六二・七九五
福濟寺　五八二
福澤諭吉　七二八
福島氏　三九七・五九二
ーー正則　四二九・四五〇・四七〇・四七二・四七四・四七六・五〇〇
福原越後　七九一・七九二・七九五
ーー遷都　二二一
福山　六二五
伏見　六二四・六二七・七九二・七九七
ーー院流　三一〇
ーー城　四四三・四四四・四七〇・五七五
ーー天皇　二八八―二九一・三一一
藤井右門　六〇三・六七二

蘆花——一一二—二四一
蘆雁——一一四—一一五
蘆葉——一一五—一一六
蘆荻——一一六—一一七
蘆笛——一一七—一一八
蘆刈——一一八—一一九
蘆火——一一九—一二〇
蘆原——一二〇—一二一
蘆分——一二一—一二二
蘆間——一二二—一二三
蘆辺——一二三—一二四
蘆舟——一二四—一二五
蘆船——一二五—一二六
蘆屋——一二六—一二七
蘆屋釜——一二七—一二八
蘆屋焼——一二八—一二九
蘆屋道具——一二九—一三〇
蘆屋茶碗——一三〇—一三一
蘆屋灯籠——一三一—一三二
蘆屋風炉——一三二—一三三
蘆屋釜——一三三—一三四
蘆屋釜師——一三四—一三五
蘆屋釜の図——一三五—一三六
蘆屋釜の鑑定——一三六—一三七
蘆屋釜の種類——一三七—一三八
蘆屋釜の模様——一三八—一三九
蘆屋釜の由来——一三九—一四〇
蘆屋釜の歴史——一四〇—一四一
蘆屋釜の鑑賞——一四一—一四二
蘆屋釜の鑑賞法——一四二—一四三
蘆屋釜の鑑賞法(土佐派)——一四三—一四四
蘆屋釜の鑑賞法(信貴派)——一四四—一四五
蘆屋釜の鑑賞法(長隆派)——一四五—一四六
蘆屋釜の鑑賞法(春日派)——一四六—一四七
蘆屋釜の鑑賞法(永手派)——一四七—一四八
蘆屋釜の鑑賞法(宝住派)——一四八—一四九
蘆屋釜の鑑賞法(成親派)——一四九—一五〇
蘆屋釜の鑑賞法(成経派)——一五〇—一五一
蘆屋釜の鑑賞法(信貴派)——一五一—一五二
蘆屋釜の鑑賞法(土佐派)——一五二—一五三
蘆屋釜の鑑賞法(信長)——一五三—一五四
蘆屋釜の鑑賞法(信輝)——一五四—一五五
蘆屋釜の鑑賞法(秀郷)——一五五—一五六
蘆屋釜の鑑賞法(秀明)——一五六—一五七
蘆屋釜の鑑賞法(敬通)——一五七—一五八
蘆屋釜の鑑賞法(信輝)——一五八—一五九
蘆屋釜の鑑賞法(基経)——一五九—一六〇
蘆屋釜の鑑賞法(基後)——一六〇—一六一
蘆屋釜の鑑賞法(基房)——一六一—一六二
蘆屋釜の鑑賞法(基通)——一六二—一六三

常嗣——一六三
恒利——一六三
定子——一六三
悳子——一六三
時平——一六四
仲成——一六四
俊成——一六四
得分——一六四
師匠——一六四
師房——一六四
師光——一六四
師輔——一六四
師実——一六四
師通——一六五
師長——一六五
師道——一六五
師隆——一六五
師忠——一六五
師平——一六五
師基——一六五
師経——一六五
師後——一六五
師房——一六五
師明——一六五
武智麻呂——一六五
光真——一六五
光友——一六五
冬嗣——一六五
不比等——一六五
房前——一六五
房嗣——一六五
秀康——一六五
秀郷——一六五
秀明——一六五
敬通——一六五
信輝——一六五
信貴(土佐派)——一六五
信長——一六五
成経——一六五
成親——一六五
宝住——一六五
永手——一六五
長隆(春日派)——一六五
長実——一六五
仲麻呂——一六五
俊成——一六五
得分——一六五
師匠——一六五
師房——一六五
師光——一六五
師輔——一六五
師実——一六五
師通——一六五
師長——一六五
師道——一六五
師隆——一六五
師忠——一六五
師平——一六五
師基——一六五
師経——一六五
師後——一六五
師房——一六五
師明——一六五
武智麻呂——一六五
光真——一六五
光友——一六五
冬嗣——一六五
不比等——一六五
房前——一六五
房嗣——一六五
秀康——一六五

基通——一六五
基房——一六五
基後——一六五
基経——一六五
基実——一六五
明子——一六五
理忠——一六五
顕忠——一六五
道隆——一六五
道長——一六五
通憲——一六五
道長——一六五
光真——一六五
武智麻呂——一六五
光友——一六五
冬嗣——一六五
不比等——一六五
房前——一六五
房嗣——一六五
秀康——一六五

彰子——一六五
実頼——一六五
実資——一六五
公成(四條)——一六五
公任——一六五
清衡——一六五
清盛——一六五
清河——一六五
京子——一六五
薬子——一六五
宮——一六五
能子(卿局)——一六五
高子——一六五
境——一六五
小黒麻呂——一六五
子高——一六五
惟方——一六五
維綱——一六五
伊尹——一六五
伊周——一六五
定家——一六五
実家——一六五
実頼——一六五
実資——一六五
公成(四條)——一六五
公任——一六五
清衡——一六五
清盛——一六五
清河——一六五
京子——一六五
薬子——一六五
宮——一六五
能子(卿局)——一六五
高子——一六五
境——一六五
小黒麻呂——一六五
子高——一六五
惟方——一六五
維綱——一六五
伊尹——一六五
伊周——一六五
定家——一六五

不案物語　一四二・一四三
不足　一四〇・一四一
不治の亂　一一一
不動尊　一一一
不明門　一四一
不滅宗　一四一
(宗次郎)　一四〇・一四一・一四二
仏像　一一一
仏所護念　一四一
仏説阿弥陀経　一四二
仏説観無量寿経　一四二
仏説無量寿経　一四二
仏頭　一四一
仏法僧　一四一
(宗次郎)　一四〇・一四一・一四二
文机　一四一
文殊菩薩　一四一
文殊菩薩問疾品　一四一
文章経国大業　一四一
文選　一四一
平安城　一四一
平家物語　一四一
平治の乱　一四一
平治物語　一四一
平城京　一四一
平清盛　一四一
平等院　一四一
平等院鳳凰堂　一四一
平等大会　一四一
平等大慧　一四一
平等大慧経　一四一
平等大慧経変相　一四一
平等大慧経変相図　一四一
平等大慧経変相図会　一四一
平等大慧経変相図会一巻　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部　一四一
平等大慧経変相図会一巻一軸一幅一対一双一具一揃一組一箱一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒一通一部一冊一巻一枚一面一基一体一口一振一本一領一着一脚一隻一艘一頭一匹一羽一人一軒

——五重塔　七六
——講堂藥師如來　一九六
——金堂　七六
——金堂釋迦佛天蓋天人圖　七五
——金堂橘夫人念持佛彌陀三尊銅像　一二五
——金堂內壁畫　一二六
——金銅藥師如來　七五
——西院　一二四
——西院東大門　一二四
——釋迦三尊　七五
——聖靈院　三〇八
——中門　七六
——東院夢殿　一二三
——歩廊　七六
——夢殿救世觀音　七五
烽火台　二八二
方角火消　六二七
方廣寺　四四〇
——大佛像　四四〇
——殿　四八〇
方形墳　三五・三六
方丈　三〇八
伯耆大山　二〇五
保建大記　五五七・六六八
保元の亂　二一〇・二一一
——平治物語扇面散屏風　五八〇
——物語　三一三
保字金　六二〇
——銀　六二一
豐光寺承兌　四七二
豐國神社の唐門　四四三
——臨時祭圖屏風　五八〇
豐璋　八五
豐樂寺釋迦佛・彌陀佛　二三四
——藥師堂　二三三
——藥師如來　二三四
奉書船　五一一
峰定寺吉祥天　一九六
——千手觀音　二三四
北條氏　四三五・五九二
——氏綱　三七九
——氏長　六〇二
——氏直　四三〇・四三六・四三七
——氏政　三九九・四〇六・四三六・四三七
——氏康　三八〇・三九八・三九九
——貞時　二八五
——實政　二七七・二七九
——早雲　三七九
——高時　二八五・二九七
——經時　二七〇
——時興　三二一
——時直　二九七
——時房　二六〇・二六三・二六四
——時宗　二七四・二七八—二八一・二八六・三〇四
——時政　二二二・二四四・二五二—二五四
——時益　二九六
——時行　三二一
——時賴　二七〇・二七一・三〇四
——朝時　二六〇
——仲時　二九六
——長時　二七二
——英時　二九七
——政村　二六四・二七二
——宗賴　二七七
——泰時　二六〇・二六一・二六三—二六六・二六九・二七〇
——義時　五三・二五二・二五四—二五七・二六〇・二六四

——流軍學　六〇二
朋誠堂喜三三　六八九・六九一
放伐論　七五一
蓬萊山人歸橋　六九一
貿易開始（幕末）　七七八
——船　三六〇・四一六
坊城俊逸　六六八・六七〇
坊津　三六〇・四一六
坊門忠信　二五九・二六一
——信清の女　二五五・二五八
北海路　六一八
北家　一四三
北槎聞略　六八二
北齋漫畫　七四四
北面武士　二〇二
北陸宮　二二六
星川皇子　五四
細井廣澤　五三一
——平洲　六六四・六七六
細川氏　三一八・三三九・三八七・五九二・五九五
——興秋　四八二
——ガラシヤ　四七四
——勝元　三四九—三五二
——清氏　三三三・三三四
——重賢　六六二・六六三・六六五
——澄元　三七六・三七七
——澄之　三七六・三七七
——高國　三七六・三七七
——忠興　四一〇・四五六・四七二
——宣紀　六六三
——信良　三七七
——晴元　三七七
——政國　三五二
——政元　三七六
——滿元　三四三
——宗孝　六六三
——持之　三四七
——幽齋　四七四・五五八・五六二
——賴之　三三四・三三五・三四〇
細田彌三郎時富　鳥文齋榮之參照
法起寺　七三・七六
——三重塔　七六
法華寺　一一八・一二〇
——經　七四
——宗　三〇五・三六三・三六六
——堂仁王四天王　一二五
——堂執金剛神日光月光菩薩　一二五
——堂不空羂索觀世音　一二五
——堂梵天帝釋天　一二五
——滅罪寺　一一八
法相宗　一二〇
——六祖像　三〇九
法曹類林　二三八
堀田正敦　六九九
——正俊　五二二・五二三・五二六—五二八
——正篤　七一八
——正盛　五四二
——正睦　七六五—七六八・七七〇・七八六
澂海國　一一五
——入貢　一一五・一四二
——路　一一六
堀勝名　六六三
——杏庵　五四八
——監物　四七一
——忠俊　五〇〇
——親審　七一八・七二〇

索引（姓名）
索引（事項）
前野良澤
前橋
松浦公
松浦信
松浦氏
松浦静山
町奉行
町火消
町火消組
町火消人足
町野氏
町屋
松代
松下之綱
松崎慊堂
松平氏
松田沿澗
松平定信
松平乗寛
松平康英
松平康任
松平康英
松前
松前藩
松前藩士
松前藩主
松前藩邸
松前屋
松前屋五郎八
松前屋五郎八
松前屋五郎八

——昌親　五九四
——光長　五二三・五九三
——康俊　五九四
——康直　七八〇
——康英　七一六
——康元　五九四
——慶永(越前)　七六八・六六九・七七七・七八三—七八五・七八七・七九〇・八〇一
——頼重　五九四
松永尺五　五四八・五八七・六〇二
——貞德　五五八・五六二・五八五・六〇二
——久秀　三七七・三九五・四〇五・四一九
松原郡太夫　六七二
松前崇廣　七九六
松村月溪　吳春參照
松本　六二三
——幸四郎(五世)　七四一
——秀持　六五二・六五九・六六二・六九九
松山　六二五
末金鏤　一二八
末期養子　四九九・五三二
末多王　五六
末羅　四七
間部詮勝　七七一—七七三・七八六
——詮房　五二六—五二八・五九二・六三四
眉輪王　五三・五八
丸塚　三五・三六
丸根　三九三・三九四
丸橋忠彌　五〇三
丸彫　四四四
丸物　六三七
丸屋治兵衛　六四二
丸山(長崎)　六二七
圓山應擧　六九六
萬延金　六二〇
——二朱金　六二〇
——二分金　六二〇
萬載狂歌集　六八六
萬壽寺　三六四
萬葉考　六七八
萬葉集　一二八
——古義　七二五
——代匠記　五五八
——略解　七二五
萬福寺　五四〇・五八二
政所　二四一・三三九
枕草子　一九〇

ミ

ミラン　四二一
三井寺　四〇〇
三浦按針　五〇八
——胤義　二五九
——光村　二七一
——泰村　二七一
——義同(道寸)　三七九
——義澄　二二三・二五二
——義村　二五二・二五五・二五六・二六〇・二六四・二六五
三笠附　六三七
三方原役　四〇〇
三河武士　三八三・四六九
三木城　四〇八・四〇九
三國大學　七七一・七七三
三毛入野命　一七
三努王　一一一
三原山　六六〇

三宅觀瀾　五三八・五四〇・五四八・五五五・五五七・五八六
——尙齋　五四〇・五四九・五五四・六〇二・六七五
——石庵　六七七
三好氏　三八七・三九七・四〇〇
——三人衆　三九五
——長逸　三九五
——長慶　三七七・三九五・四一九
——政康　三九五
——元長　三七七
——康長　四一〇
——義次　三九五・四〇二
三善清行　一四九・一五〇・一五五
——爲康　二三八
——康信　二二二・二四一・二五二・二六四
三輪執齋　六七五
身輕折助　山東京傳參照
御子代　二八・八二
御宿正友　四八二・四八三
御名代　二八
御間城入彥　四四
御諸別王　二六
美豆良　三三
美地の蠣殼　六九一
美濃三人衆　三九四
美濃風(支考)　五六五
美濃不破　一〇〇
屯田　三〇
屯倉　八二
箕作阮甫　七二八—七三〇
——秋坪　七三〇
水戸　五九三・六二三・六二五
——學　七五二・八〇四
——藩　七六九・七七一—七七七・七七九・七八一・七九三
——烈公　德川齊昭參照
壬生家　六一〇
——忠岑　一八八
味麻之　七五
水鏡　二三七・三一四
水城　八六・二七六
水木辰之助　五七七
水野氏　五九二
——勝成　四八三
——忠邦　六六二・七一八—七二一・七五八
——忠成　七一一・七一二・七二〇
——忠友　六五二
——忠之　六三四・六四〇・六四一・六四三
道臣命　五七
道師　九一
道康親王　一四四
密陀繪　七五
皆川淇園　六七六
南村梅軒　五四九
任那　四四・四五・四八—五〇・六五・七一
耳梨　一〇七
宮川長春　六九六
宮古路豐後掾(國太夫)　五七四
宮崎安貞　五六〇
宮簀姬　二四
明　四四八・四五一・四五三・四五八
明兆(兆殿司)　三七一
民部省　九四
宰人　一一四
禊祓　三九
南淵漢人請安　七二
都座　五七六
都太夫一中　五七四

都之錦　五八五・六〇二
都良香　一五五
明雲　二二一
明惠上人(高辨)　三〇五
明正天皇　六七
明珍　三一一
明法博士　九三
妙覺寺　四一〇
妙心寺法堂　五七八・五八二
ーーー方丈　五八三
妙葩　三六四
妙法院大書院　五八三
冥加金　六五六
名主　六〇〇
源顯房　二〇一
ー有仁　二〇四
ー有雅　二五九・二六一
ー實朝　二五三ー二五六・三二二
ー順　一八七・一八八
ー高明　一五一
ー爲朝　二〇七・二一〇・二一一
ー爲憲　一八七
ー爲義　二〇七・二一〇・二一一
ー經信　二三六
ー經基　一七二・一七三
ー連　一五一
ー俊房　二〇一
ー俊賴　二三六
ー融　一四七・一四八
ー知　一八一
ー仲章　二五六
ー範賴　二二七・二二九
ー雅實　二〇一
ー信　一四五
ー護　一七一
ー通親　二四八・二四九
ー滿仲　一五一
ー光行　一六一
ー師房　二〇一
ー行家　二二〇・二二四・二二五
ー行綱　二二八
ー義明　二〇七
ー義家　一八四・二〇五・二〇六
ー義國　二〇七
ー義高　二二四
ー義忠　二〇七
ー義親　二〇七
ー義綱　二〇六・二〇七
ー義經　二二六・二二七・二二九・二三〇・二四三・二四四・二四六・二四七
ー義朝　二一〇ー二一三
ー義平　二一三
ー義光　二〇六
ー義宗　二〇七
ー義康　二一一
ー賴家　二五二・二五三
ー賴賢　二一〇・二一一
ー賴朝　二一三・二二二・二二三・二二六・二三一・二四〇ー二四九・四七七・八〇五
ー賴信　一八二
ー賴政　二一一・二二〇・二二一
ー賴光　一八二
ー賴義　一八二ー一八四

ム

ムラビエフ　七七九・七八〇

無關　三〇三
無城　五九四
無錢芳志　六八六
無量壽院　二三三
武藏武芝　一七三
ーー七黨　一六八
ーー判　六一九
武者所　三一六
夢窓　三六三・三六四・三七四
夢中山人　六九一
牟良叔舍　四一五
牟婁　四九
向井元升　五八七
ーー滄洲　五四八
向原寺　六四
笞打　六四七
宗像の三女神　一四
宗尊親王　二七一・二七二
宗良親王(尊澄法親王)　二九三ー二九五・三二五・三二七・三三一・三六八
棟持柱　三二
村井貞勝　三九五
村岡　七七一・七七三
村上大學　七一〇
ーー天皇　一五〇・一五一
ーー英俊　七三〇
ーー義清　三八〇
村田春海　六五五・六七八・六八五・七三三
村山座　五七六
ーー又三郎　五七六
叢雲劍　一五・二四
室　六二七
室生寺金堂・五重塔　一六〇
室鳩巢　五二七・五三八・五四〇・五四八・五五三・五五八・五六一・六三五・六三七・六四〇・六四七・六七五・七〇三
室町邸　三五二・三八八・三九五
室町幕府　三三九
嫡妻　二七
昔語稻妻表紙　七三五
向唐門　四四三
連　二九・九一
紫式部　一八九・一九一
ーーー日記　一九〇

メ

メキシコ戰爭　七六四
目附　四八九
目貫　三七四
目安箱　六四九
名家　六〇九
明經道　一五三
明治天皇　七五九・八〇一
明倫館　六七七
明倫堂　六七七
冥途の飛脚　五七三
伽羅先代萩　六九四
鍍金　二二七

モ

モーチノル和蘭文典　七二九
モリソン號　七一七・七五七
モンロオ主義　七五六
最上氏　三八二・四三六・四三七・五九二
ーー郡　一一三
ーー德内　七一五

柳河
柳川調信（陰兎）　一五五
山形　一五五・一六〇
山県周南　一五五
山口　一一一
山口小太郎　一五五
山口水軍城　一一一
山崎　一一一
山城　一五五
山田宗偏　一五五
山鹿元隣　一五五・一六〇
山鹿素行　一五五・一五六・一五七・一五八・一六〇
山鹿流陣法　一五五・一六〇
山崎闇斎　一五五・一五六・一五七・一五八
山城　一一一
山本勘助　一一一
山本金太夫　一五五
弥生式土器　一
弥生町　一一一
弥陀ヶ原　一一一
弥勒寺　一一一
弥勒菩薩半跏思惟像　一一一
弥勒菩薩半跏像　一一一
弥勒菩薩立像　一一一
弥勒菩薩坐像　一一一
弥勒菩薩三尊像　一一一
弥勒菩薩三尊及四天王像　一一一
弥勒菩薩及四天王像　一一一
弥勒菩薩及四天王像　一一一
弥勒菩薩

山前　八九
山下京右衛門　五七七
——幸內　六〇三・六四九・六五〇
山科家　六〇九
——言繼　三八九
——陵　八七
山背大兄王　八〇
山城恭仁　一〇八・一一一
山田　六二五・六二七
——方谷　七二三
山田屋大助　七一四
山路彌左衛門　六八三
山名氏　三三九・三八五・三九六
——氏清　三四〇
——宗全（持豐）　三四七・三四九—三五二
——時氏　三三二・三三四
——豐國　四〇九
山中城　四三六
——平九郎　五七七
——幸盛（鹿之助）　四〇七・四〇八
山上憶良　一二九
山內氏　五九二・五九四・五九五
——上杉　上杉氏參照
——豐信　七六八・七六九・七七三・七七五・七八七・七九〇・八〇一・八〇三・八〇四
——豐範　七八四・七八五
山幸　三五
山手白人　六八六
山邊赤人　一二九
——公　二九
山伏　六一〇・六一一
山村座　五七六・五七八
山本西武　五六二
——北山　六七六・七〇三・七二三・七三三
山脇東洋　六八三
大和直　二九
——繪　三一〇
——行幸發令　七八八・七八九
——本草　五六〇
——民族　五
——物語　一八九
日本武尊　二四・二五・五七
八雷神　一三
櫓門　三〇九
柳澤吉里　六三八
——吉保（保明）　五二三—五二五・五二七・五二八・五三一・五四七・五九二
柳原光綱　六六九
和氏　六〇
倭漢直福因　七二
——忌寸　九一
倭鑑　五五五
倭畫師　六〇
倭武天皇　二五
倭彥王　五六
——命　二二
倭姬命　二三・二四・三九・八九・九〇
東漢直駒　六六
——直掬　五四

ユ

由井正雪　五〇三
木綿　三三
湯熊炙庵　後藤艮山參照
湯島の聖堂　五八三
弓削道鏡　一一二・一二一

弓削部　二八
弓月君　六・四七・六〇
弓弭調　二一
遊佐長直　三四九
輸地子田　九九
唯一神道　三六七
維摩經　七四
結城氏朝　三四五
——親朝　三二九
——朝光　二五二
——秀康　德川秀康參照
——宗廣　三二三・三二六・三二七
夕霧狂言の伊左衛門　五七七
遊子方言　六九一
遊女　六六一・六二七
融通金　六五八
友禪染　六三一
祐天　五四一
雄略天皇（大泊瀨稚武）　四八・五三・五四
夢物語　七一七

ヨ（ヤウ）

與謝蕪村（谷口參照）　六九五
依網　七一
世繼曾我　五七一
世直大明神　六六一
黃泉國　一三
——醜女　一三
——平坂　一三
四方側　七三四
——赤良　太田蜀山人參照
夜半の茶漬　六九一
夜半の寢覺　二三七
庸　八三・九九
洋學所　七三〇
洋式兵制　七八六
洋書取調所　七三〇
甕棺　三七
幼君奉仕五箇條　六九九
幼帝の始　一四五
楊鎬　四五八—四六〇
——元　四五九
——方亨　四五七
用捨箱　七四〇
用部屋　四八八
用明天皇　六四・六五
陽成天皇　一四六
陽明學　五五〇
遙任　一六五
養老律令　九三
橫穴　三五・三六
橫井小楠　七二三
——也有　六八五
橫谷宗珉　五八四
橫濱　七六三・七七八・七七九
——鎖港談判　七九〇・七九三
吉雄幸作　六八四
吉岡（銅山）　六三〇
吉川維足　五二三・五六一・五八六
吉崎道場　三六五
吉田　六二三
——兼俱　三六七
——久馬助　六〇一
——玄蕃　六七二
——篁墩　七二四
——定房　二九一・二九三・二九四

一一修理　六〇一
一一松陰　七三三・七三三・七七一・七七三
一一東洋　七八四
一一山　三六七
吉野　二九五・三六六・三三九・三三五
吉原(江戸)　六二七・六五五
一一楊枝　六九一
吉益東洞　六八三
吉見の百穴　三六
吉村秋陽　七三三
芳澤あやめ　五七七
義經千本櫻　六九三
良成親王　三三五
良岑安世　一五四
菅棟造　三一
淀川(俳書)　五六二
淀君　四三七・四四五・四七〇・四七八—四八〇・四八二・四八四
一一黨　四七三
淀屋辰五郎　六二八
菅親・菅子　三九〇
米澤　六三五・六三一
米田監物　四八二
讀本　七三五

ラ

ラックスマン　七〇九・七一〇・七五六
來迎圖　一九六
賴山陽　二三三
一春水　七二三
賴助　七三四
賴三樹三郎　七七一・七七三
賴瑜　三〇五
洛中洛外圖　五七九
落葉集　四六四
樂浪　四三
蘭學　五五九・五六〇・六八〇—六八二
一一階梯　七二八
蘭更　六八五
嵐雪　五六五
嵐蘭　五八五

リ

リイフデ號　五〇七
リスボン　四二一
リンナ　七三一
李舜臣　四五二・四五九・四六一
一如松　四五四・四五五
一成桂　三六一
一世勳　八五
一宗城　四五七
利生塔　三三三
履仲天皇(去來穗別)　四八・五二
里長　八三・九五
六議　一〇二
六軍十六衛　九四
六國史　一五四
六韜三略　五四七
六部　九四
六諭衍義・同大意　六三七
陸軍總裁　八〇一
陸上交通　六一六・六一七
律師　一〇〇
律宗　一二〇
律令格式　九三
一一政治　二九九
立正安國論　三〇五

呂佑吉　五〇四
臨海　四五二
臨濟宗　三〇三・三〇四・三六三・三六四
臨屯　四三
流求　六八
琉球　三六二・七五五・七六〇・七六三
一一征伐　五〇五・五〇六
一一の開國　七五九・七六三
隆光　五四一・五四二
柳子新論　六七一
柳亭種彥　七一九・七三九・七四〇
劉仁軌　八五
一仁願　八五
一綎　四六〇・四六一
一復亨　二七五・二七六
龍造寺隆信　三八七・四〇七・四三四
龍腦座　六五七
瀧亭鯉丈　七三八
龍安寺の庭　三七四
凌雲集　一五四
良寬　七三三
良源　一九二
良敏　一二一
良辨　一二一
良民　九七
令義解　一五三・七六六
一の婚姻法　一〇二
一の四等官表　九五・九六
一の親族・相續法　一〇二
了行(僧)　二七一
了也　五四一
領家　一七〇・三九〇
領主　一七〇・三九〇
亮賢　五四一
陵戸　九七
楞嚴院　一九一
靈山　三六六
蓼太　六八五
涼菟　五六五
遼東城　八五
兩巴危言　六九一
兩番頭　五二八
療病院　七一・七三

ル

流罪　一〇一・二六七
留守居　四八九・五二八・五九七
呂宋　四四八・四六五・四六六・七五五
一一征伐　五一二
類聚紅毛語譯　七二九
一一國史　一五四
一一三代格　九四・一五三
一一日本紀　五五五
類族調　五三六

レ

レザノフ　五七六・七一五
鈴契　八三
鈴法寺　六一一
靈元上皇　五六六・五三三
冷泉家　六〇九
一一爲相　三二三
一一天皇　一五一
曆象全書　六八三
連歌　三六九

連座　六四七
蓮華王院二十八部衆　三一〇
――本堂（三十三間堂）　三〇七
蓮如　三六五

ロ

ロオマ法皇　五〇七・五〇九
ロシア　六五九・七〇九・七一五・七五五・七五六・七六二―七六五・七八〇・七九三・七九九―八一一
ロツシュ　八〇〇・八〇一
ロドリゴ（デ・ビベロ）　五〇六
魯西亞志　六八三
――本紀　六八三
廬生郡鄴夢裏圖　七四三
露梁　四六一
蔦繩　一二八
浪士　七四九
浪人　一三九
老中　四八八・七九六・八〇一
牢人　五〇一・五〇三・五三三・五九〇・六〇〇―六〇三・七四九・七五一・七七一・七九三・七九五・七七七
――拂　五〇三
――歌舞伎　五七五・五七六
若建吉備津彦命　二三
若年寄　四八九・八〇一
若原右京　四八二
按上　七一
脇坂安宅　七八三
――安治　四五〇・四五九・四七五
脇屋義助　三三三・三三七
鷲尾勘助　七一四
鷲津　三九三
渡邊崋山　七一七・七三二・七四三
――數馬　五三九
――糺　四八二
渡島　八四
度會延佳　五六一
割符　六三〇

ワシントン　四一
ワリニヤニ　六三一
和歌　一二九・一六二・一六三・一八七―一八九・二三六・三二二・三六八・五五八・六八四・六八五
和歌山　五七七
和學講談所　五七七
和漢朗詠集　一五五
和氣清麻呂　一一二・一三一
――廣世　一五三
和國の敎主　七八
和珥　七一
和田惟政　四一九
――胤義・義重・義直　二五四
――義盛　二四一・二五二―二五五
和唐珍開　六九一
和銅改元　一〇九
和同開珎　一〇九
和人參　六四三
和樣（佛寺建築）　三〇七・三七三
倭寇　三五六―三六二・四一五
倭國王師升　四一
倭奴國王　四一
輪島塗　六三一
王仁　六〇・六一
若江　四八三
――城　四〇三
若女方　五七七
若衆方　五七七

正誤表

頁	行	誤	正
緒一	九	中朝事實	武家事記
一七	一三	玉依姬	玉依姬
二一	一四	手末（たなすゑ）	手末（たなすゑ）
二七	一	上代	上古
二九	五	見出に「姓」を入れる	
四六	七	應仁	應神
六一	一割註	論說	論語
六八	一三	色	名
		名	色
八三	一二	黑	黑
九八	三	廢殘疾	殘疾
九九	二	二石	三石
一〇九	一四	和銅	和同
一二六	一四	醍醐寺	醍醐寺
一七五	八	「抄」を六號にする	
一八八	九	殆なくなり	稀になり、且
		「三句切」の前に「短歌は」を加ふ。	

頁	行	誤	正
一九七	二	重じ	重んじ
二〇二	一	久世・東久世・土御門・中院・北畠	土御門・中院・北畠・六條・千種・岩倉
二〇七	九	但馬	因幡
二三二	一一	「進んで」の次に「眞忍の融通念佛宗を生じ、」を加ふ。	
二六二	五	土上皇	上皇
三〇八	一三	「現存するものは」の次四十五文字を削り、「一度關東大震災で潰れ、その後復興せられた鎌倉圓覺寺の舍利殿唯一つに過ぎない。」と改める。	
三一七	六	矢筈	矢數
三三二	一四	正統紀	正統記
三三五	七	交捗	交涉
三三七	三	崇光	後光嚴
三四七	四	五ヶ箇	五箇國
三五四	一	近江	近江の
三六八	四	双壁	双壁

頁	行	誤	正
三八四	一一	鎌食	鎌倉
四一五	一三	差を	差と
	欄外	Francisco	Francisco
四二〇	欄外	do mancio	Dom Mancio
		Martino	Dom Martino
		Julian	Dom Julian
圖十七	四	ヲベヂラ	ヲベヂウ
	五	順數	順敬
		（以上卷上）	
四八四	三	臣細書	巨細書
五二九	七	擅那	檀那
五四八	三	唱首	稱首
五五六	一〇	軍記考	軍器考
五九三	六	普譜	普請
五九八	九・一〇・一一	小普譜	小普請
六二一	一一	六年	元年
六三七	一〇	睹博	賭博
六六五	二	傳國の辭	讓國の詞
六八一	五	和譯	話譯
六八五	一四	噺され	囃され

頁	行	誤	正
六九〇	七	子時	于時
六九六	六	黒摺	墨摺
七一二	九	三分の二	四分の三弱
七四二	欄外	文晃	文晁
七四三	一〇	文晃	文晁
附二・一四	三	册數に「三十一」を入れる。	
一八	一二	一（册數）	二
二三	五	四十三	四十四
二六	一五	面村	西村
二六	一六・一七	三十三、四十四	二十八
二八	四	四十九	四十四・四十八・五十
	五・六	對照に「四十八・五十」を加へる	
二九	一〇	十一（年次）	十一—
三〇	一四	晁淵	晃淵
三七	七	昭二	大十五
四六	一二	四、八	四十八
六六	一〇	を同	と同
圖二十七	四	長矩	長友
三十二	四	記す	示す
		（以上卷下）	

○附言　本書三版に於て訂正せる分は本表中に加へない。

□□□　昭和三年三月五日印刷
□□□　昭和三年四月廿四日發行

綜合日本史概說卷下

著作者　栗田元次
發行者　中村時之助　東京市牛込區甲良町卅九番地
印刷者　柴山則常　東京市本郷區駒込林町一七二
印刷所　合資會社杏林舍　東京市本郷區駒込林町一七二

教科摘要
定價金二圓八十錢

□□□　發行所　東京市牛込區市ヶ谷甲良町卅九番地
中文館書店
電話牛込三三二五番
電話神田一〇三二番
振替東京三八四二七番
□□□